

平成24年度

名古屋市立大学大学院薬学研究科

自己点検・評価報告書

2012

目 次

- 1 平成24年度博士(薬学)学位取得者
- 2 平成24年度薬学修士学位取得者
- 3 平成24年度薬学部でなされた講演会、研究会、シンポジウム
- 4 研究業績目録(2012年1月から2012年12月)
- 5 科学研究費等補助金
- 6 学外との共同研究等
- 7 新聞報道等
- 8 進路および就職状況
- 9 薬学部在籍者名簿

1 平成24年度博士(薬学)学位取得者

学位（甲）授与者

薬博第 286 号 平成 24 年 9 月 30 日

大波 壮一郎

脊髄後角における C-線維誘発性集合電位の長期増強を指標とした慢性疼痛のメカニズム解析

（主査）今泉 祐治 教授

（副査）小野 秀樹 教授（副査）服部 光治 教授

（副査）田中 正彦 准教授（副査）田辺 光男（他大学）

薬博第 287 号 平成 25 年 3 月 25 日

安部 賀央里

炭素-炭素結合切断を含む触媒的ドミノ反応の研究

（主査）中村 精一 教授

（副査）池田 慎一 准教授（副査）樋口 恒彦 教授（副査）中川 秀彦 准教授

薬博第 288 号 平成 25 年 3 月 25 日

白 帆

Investigation on the antihypertensive effect of shichimotsukokato and its active compounds

（主査）今泉 祐治 教授

（副査）水上 元 教授（副査）藤井 聡 教授（副査）木村 和哲 教授

薬博第 289 号 平成 25 年 3 月 25 日

今村 優希

フォルダマーを用いた生理活性分子の創製

（主査）中村 精一 教授

（副査）樋口 恒彦 教授（副査）中川 秀彦 准教授（副査）服部 光治 教授

薬博第 290 号 平成 25 年 3 月 25 日

尾上 耕一

細胞質ポリアデニル化因子 CPEB を介したポリ(A)鎖の分解・伸長による遺伝子発現の転写後調節機構の解析

(主査) 林 秀敏 教授

(副査) 星野 真一 教授 (副査) 藤井 聡 教授 (副査) 長田 茂宏 准教授

薬博第 291 号 平成 25 年 3 月 31 日

尾形 哲夫

プロピペリン塩酸塩の苦味マスキング製剤開発

(主査) 湯浅 博昭 教授

(副査) 尾関 哲也 教授 (副査) 山中 淳平 教授 (副査) 松永 民秀 教授

薬博第 292 号 平成 25 年 3 月 31 日

藤井 将人

改変遺伝子導入培養細胞系を用いたイオンチャネル標的創薬における新規高効率スクリーニング用細胞の開発とその応用

(主査) 湯浅 博昭 教授

(副査) 今泉 祐治 教授 (副査) 頭金 正博 教授 (副査) 田中 正彦 准教授

薬博第 293 号 平成 25 年 3 月 31 日

鈴木 良明

カベオリン／カベオラによる BK チャネル機能の修飾

(主査) 平嶋 尚英 教授

(副査) 今泉 祐治 教授 (副査) 服部 光治 教授 (副査) 大澤 匡弘 准教授

薬博第 294 号 平成 25 年 3 月 31 日

古宮 舞

PCFT の機能及び発現変動要因の解析

(主査) 林 秀敏 教授

(副査) 湯浅 博昭 教授 (副査) 頭金 正博 教授 (副査) 牧野 利明 准教授

学位（乙）授与者

薬博第 187 号 平成 24 年 10 月 1 日

灘岡 勲

Cimicifuga racemosa の抗ストレス作用とその作用機序に関する研究

（主査）藤井 聡 教授

（副査）水上 元 教授（副査）頭金 正博 教授（副査）小野 秀樹 教授

薬博第 188 号 平成 24 年 10 月 1 日

櫛田 郁雄

医薬品開発における薬物の固体形態，並びにその特性評価と最適化に関する物理化学的研究

（主査）尾関 哲也 教授

（副査）湯浅 博昭 教授（副査）平嶋 尚英 教授（副査）奥菌 透 准教授

薬博第 189 号 平成 24 年 10 月 1 日

太田 欣哉

腎尿細管上皮細胞刷子縁膜の有機カチオン性薬物排出トランスポーターMATE の同定及び機能解析

（主査）林 秀敏 教授

（副査）湯浅 博昭 教授（副査）今泉 祐治 教授（副査）牧野 利明 准教授

薬博第 190 号 平成 25 年 3 月 25 日

山本 昇平

脊髄前根発射活動に着目した痛覚評価および神経障害性疼痛におけるその変化

（主査）今泉 祐治 教授

（副査）小野 秀樹 教授（副査）服部 光治 教授（副査）大澤 匡弘 准教授

2 平成24年度薬学修士学位取得者

會澤 和之 (薬化学)

N-Hydroxybenzenesulfonamide を母核とした HNO 放出化合物の開発とその機能評価

小笠原 大介 (薬化学)

標的酵素への直接的ドラッグデリバリーに基づいた LSD1 不活性化薬の創製

川合 洸大 (薬化学)

細胞内の HNO 検出を目指した新規蛍光プローブの開発

後藤 仰 (薬化学)

トリアゾールライブラリーのスクリーニングによる HDAC9 選択的阻害薬の同定

稲垣 秀樹 (精密有機反応学)

高度に立体的に遮蔽された金属ポルフィリンの効率的合成とその酸化触媒能に関する研究

白川 慶典 (精密有機反応学)

シトクロム P450 機能におけるチオラート軸配位子効果に関する化学モデル研究

坂崎 美香 (薬品合成化学)

ニッケル触媒によるエノン、アルキン、ビニルシクロプロパンのドミノカップリング反応の開発

亀川 沙知 (生体超分子システム解析学)

メラノサイトからケラチノサイトへのメラニン移行における SNARE 蛋白質の機能解析及び移行機構の可視化解析への展開

堀江 侑季 (生体超分子システム解析学)

小脳プルキンエ細胞の樹状突起形成に関与するカルシウムシグナリング分子の探索

村門 愛 (コロイド・高分子物性学)

量子ドット修飾ポリスチレン粒子の合成とコロイド結晶化

大川 慶祐 (生命分子構造学)

プロテアソームを構成するサブユニットとその集合因子 Ump1p の相互作用解析

有江 瑞洋 (分子生物薬学)

ヒストンバリエント H2A. Z. 2 のプロモーター解析

加藤 大輝 (分子生物薬学)

がん細胞の浸潤における脂肪細胞分化促進因子 fad104 の機能解析

伊藤 竜也 (薬物送達学)

抗結核作用を示す糖化合物 OCT313 の経肺投与型 DDS 製剤の開発

水迫 英己 (薬物送達学)

腫瘍細胞をターゲティングする葉酸修飾-b-シクロデキストリン/ドキソルビシン結合体の調製と評価

浅田 圭祐 (生薬学)

ニチニチソウにおける secologanin 生合成に関与する配糖化酵素の機能解析

春日谷 友英 (生薬学)

スペインカンゾウ由来 MATE 型輸送体の Glycyrrhizinic Acid 輸送活性の解析

高 勝莉 (生薬学)

人参成分ギンセノシド類の Na 依存性グルコーストランスポーター-SGLT1 への作用

吉田 貴光 (生薬学)

天然食品添加物の品質評価への定量 NMR 法の応用

足達 実季 (生体防御機能学)

関節リウマチ患者由来滑膜細胞におけるタバコ煙抽出物による IL-1 β 産生誘導機構に関する研究
長谷川 倫宏 (生体防御機能学)

2-acetamide-2-deoxy- β -D-glucopyranosyl N,N-dimethyldithiocarbamate (OCT313) の作用点解析
杉山 遥 (遺伝情報学)

PAM2 モチーフ含有タンパク質 Ataxin-2, USP10 による mRNA 代謝制御

田中 麻記子 (遺伝情報学)

テロメラーゼ RNA の成熟化機構の解析

伊奈山 宗典 (細胞分子薬効解析学)

軟骨細胞モデルにおける Ca²⁺透過チャネルの分子実体とその機能

清田 恵子 (細胞分子薬効解析学)

松果体細胞における過分極活性化陽イオンチャネル発現とその機能

高橋 瀬奈 (細胞分子薬効解析学)

ストレプトゾトシン誘発性糖尿病モデルラットにおける膀胱機能と酸化ストレス関連因子の経時的変化

亀井 友美子 (病態生化学)

難読症関連因子 mKIAA0319 の機能解析

～脳神経系での時空間的局在と神経細胞における形態制御機能～

鄧 夢妍 (病態生化学)

脳形成における、リーリンシグナルの強弱により調節される現象の解明

中村 晃太 (病態生化学)

リーリン C 末端領域欠損マウスを利用した小脳形成機構の解析

竹原 一成 (薬物動態制御学)

化学発光を利用したトランスポーター機能の迅速評価法の開発

古川 純士 (薬物動態制御学)

核酸塩基輸送における ENBT1 と核酸代謝酵素の機能的協奏効果

加藤 直樹 (医薬品代謝解析学)

小胞体ストレス誘導性タンパク質 TRB3 の細胞内局在と機能との関連

鈴木 悠馬 (中枢神経機能薬理学)

NおよびL型カルシウムチャネル阻害薬 cilnidipine の神経障害性疼痛に対する作用

那須 徹也 (病院薬剤学)

UPLC/MS/MS によるメチルマロン酸血症及びプロピオン酸血症診断のための酵素活性測定法の確立

3 平成24年度薬学部でなされた 講演会、研究会、シンポジウム

開催日：平成24年5月30日
講演会名：日本薬学会東海支部特別講演会
講師名：石原 雄二 博士
所属：武田薬品工業株式会社
演題：医療の現場で必要なくすりを創る：製薬企業トップの立場から
世話分野：薬化学分野

開催日：平成24年7月12日
講演会名：日本薬学会東海支部特別講演会
講師名：広川 貴次 博士
所属：産業技術総合研究所 生命情報工学研究センター
演題：コンピュータを用いた創薬分子設計-GPCR 標的からタンパク質-タンパク質相互作用
標的まで
世話分野：薬化学分野

開催日：平成24年5月31日
講演会名：創薬生命科学特別講義Ⅰ
講師名：落合 正仁 先生
所属：徳島大学大学院薬学研究科
演題：未踏研究領域超原子価臭素化合物のケミストリー
世話人：樋口 恒彦, 梅澤 直樹

開催日：平成24年6月8日
講演会名：生命薬科学演習
講師名：合田 幸広 先生
所属：国立衛生研究所 生薬部長
世話人：樋口 恒彦

開催日：平成24年6月29日
講演会名：生命薬科学演習
講師名：小室 正勝 先生
所属：杏林製薬 研究開発本部長 兼 医薬開発センター長
世話人：樋口 恒彦

開催日：平成24年7月19日
講演会名：生命薬科学演習
講師名：松永 伸之 先生
所属：武田薬品工業 代謝疾患創薬ユニット主席研究員
演題：製薬企業の研究職ってどんなもの？
世話人：樋口 恒彦

開催日：平成24年11月16,17日
場所：名古屋市立大学病院 中央診療棟3階 大ホール
講演会名：第45回酸化反応討論会
主催：有機合成化学協会
共催：日本化学会、触媒学会、日本薬学会、日本生化学会、日本農芸化学会
世話分野：精密有機反応学分野（実行委員長 樋口 恒彦）

開催日：平成24年3月2日
講演会名：日本薬学会東海支部特別講演会
講師名：Dr. Gautam Panda
所属：Central Drug Research Institute, CSIR
演題：Amino Acids and Syn-2,3-dihydroxy esters derived Natural Products and designed diversity:
Quest for Anticancer Agents
場所：名古屋市立大学大学院薬学研究科研究棟2階会議室
世話分野：生命分子構造学分野

開催日：平成24年3月2日
講演会名：日本薬学会東海支部特別講演会
講師名：Dr. G.Narahari Sastry
所属：Indian Institute of Chemical Technology
演題：Rational Drug Design : Selectivity and Efficacy
場所：名古屋市立大学大学院薬学研究科研究棟2階会議室
世話分野：生命分子構造学分野

開催日：平成24年3月5日
講演会名：分子研 オープンセミナー
講師名：寺内一姫 先生
所属：立命館大学 生命科学部 准教授
演題：時計タンパク質が刻む24時間
場所：分子科学研究所 山手3号館9階東 セミナー室
世話人：加藤晃一

開催日：平成24年4月26日
講演会名：日本薬学会東海支部特別講演会
講師名：浅沼浩之教授
所属：名古屋大学大学院工学研究科 物質制御工学専攻 有機材料設計講座
演題：診断薬および核酸医薬への応用を目指した機能性人工核酸の設計
場所：名古屋市立大学大学院薬学研究科 水野メモリアルホール
世話分野：生命分子構造学分野

開催日：平成24年10月5日
講演会名：日本薬学会東海支部特別講演会
講師名：Prof. Robert K. Yu
所属：Institute of Molecular Medicine and Genetics, Georgia Health Sciences University
演題：Glycobiology of Neural Stem Cells
場所：名古屋市立大学大学院薬学研究科 研究棟2階会議室
世話分野：生命分子構造学分野

開催日：平成24年10月11日
講演会名：分子研オープンセミナー
講師名：Prof. R. Andrew Byrd
所属：Structural Biophysics Laboratory, Center for Cancer Research, National Cancer Institute
演題：Allostery and Recruitment in the E3 Ligase gp78: Combined Structural and Molecular Biology
場所：分子科学研究所 山手3号館2階 共通セミナー室
世話人：加藤晃一

開催日：平成24年12月13日
講演会名：日本薬学会東海支部特別講演会
講師名：武田 穰 先生
所属：名古屋大学 産学官連携推進本部 連携推進部長・教授
NPO バイオものづくり中部 理事・運営委員
演題：バイオ分野の知的財産権の特色
場所：名古屋市立大学大学院薬学研究科 講義室4(共同利用研究施設2階)
世話分野：生命分子構造学分野

開催日：平成24年5月24日
講演会名：特別講演会(兼大学院講義「創薬生命科学」)
講師名：土井 健史 教授
所属：大阪大学大学院薬学研究科
演題：核内受容体と創薬
世話分野：分子生物薬学分野

開催日：平成24年6月19日
講演会名：日本薬学会東海支部特別講演会
講師名：湯本 史明 博士
所属：Department of Biochemistry and Biophysics,
University of California, San Francisco, USA
演題：ヒト転写因子複合体のPSI: Biology
-LRH-1の β カテニンによる活性化機構の構造基盤-
世話分野：分子生物薬学分野

開催日：平成24年6月20-22日
講演会名：第49回薬剤学懇談会研究会「科学と医療をつなぐ薬剤学」
場所：南淡路ロイヤルホテル 兵庫県あわじ市
世話分野：薬物送達学分野（薬剤学懇談会研究会実行委員：尾関 哲也）

開催日：平成24年7月19-20日
講演会名：日本薬剤学会第37回製剤セミナー 高齢社会を支える創剤・包装技術
場所：ヤマハリゾートつま恋, 静岡県掛川市満水2000
世話分野：薬物送達学分野（製剤セミナー実行委員：尾関 哲也）

開催日：平成24年8月30,31日
講演会名：平成24年度中部談話会 研究・技術交流会- 日本の粉体産業を支える研究・技術 -
場所：お宿信田 岐阜県高山市山口町961番地
世話分野：薬物送達学分野（粉体工学会中部談話会世話人：尾関 哲也）

開催日：平成24年9月28日
講演会名：創剤フォーラム 第18回シンポジウム「有機分子集合体のサイエンス」
場所：タワーホール船堀 東京都江戸川区船堀4-1-1
世話分野：薬物送達学分野（創剤フォーラム世話人：尾関 哲也）

開催日：平成24年11月16日
講演会名：第4回粉末吸入剤研究会 「DPIと医療ニーズ」
場所：ANAクラウンプラザホテル富山
世話分野：薬物送達学分野（粉末吸入剤研究会世話人：尾関 哲也）

開催日：平成24年12月4日
講演会名：第6回私の粉論「こな・つぶを通して見えたこの世の不思議」
講師名：椿 淳一郎 教授
所属：(株)JHGS こな椿ラボ所長, 名古屋大学名誉教授
場所：名古屋大学東山キャンパス内, グリーンサロン東山
世話分野：薬物送達学分野（粉体工学会中部談話会世話人：尾関 哲也）

開催日：平成24年6月13日
講演会名：第129回薬学談話会
講師名：菊嶋 孝太郎 先生
所属：名古屋市立大学大学院薬学研究科
演題：遷移金属触媒を用いた酸化反応系および第四級不斉炭素構築反応の開発
世話人：寺坂和祥

開催日：平成24年10月12日
講演会名：第132回薬学談話会
講師名：山下 弘高 先生
所属：岐阜薬科大学薬学部
演題：留学体験 & アレルギー疾患の治療における Histamine releasing factor
世話人：牧野利明

開催日：平成24年11月6日
講演会名：生薬学分野 特別セミナー
講師名：平岡 昇 先生
所属：新潟薬科大学
演題：食卓の薬用植物・有毒植物
連絡先：水上 元

開催日：平成24年9月20日
講演会名：日本薬学会東海支部特別講演会
講師名：Professor Vadivel Ganapathy
所属：Georgia Health Sciences University
演題：SLC5A8 and GPR109A: molecular mediators of the beneficial effects of colonic bacteria on the host
世話分野：薬物動態制御学分野

開催日：平成24年6月7日
講演会名：アジア太平洋血栓止血学会-日本血栓止血学会ジョイントシンポジウム
講師名：Tong Yin 他
所属：General Hospital of People's Liberation Army 他
演題：Comparative performance of warfarin pharmacogenetic algorithms in patients under low intensity anticoagulation 他
場所：東京
世話人：病態解析学

開催日：平成24年6月8日
講演会名：日本血管生物医学学会-日本血栓止血学会ジョイントシンポジウム
講師名：吉田 雅幸 他
所属：東京医科歯科大学 他
演題：血液と血管のインターフェイス 他
場所：東京
世話人：病態解析学

開催日：平成24年9月22日
講演会名：第35回日本高血圧学会コメディカル・メディカル合同ワークショップ
講師名：土橋 卓也 他
所属：国立病院機構九州医療センター 他
演題：治療アドヒアランス向上と服薬指導 他
場所：名古屋
世話人：病態解析学

開催日：平成24年10月29日
講演会名：第7回アジア太平洋血栓止血学会シンポジウム 4 Cerebrovascular Disease.
講師名：Bernhardt Niesvandt
所属：Würzburg University, Germany
演題：The intrinsic coagulation pathway in ischaemic stroke
場所：メルボルン
世話人：病態解析学

開催日：平成24年10月29日
講演会名：第7回アジア太平洋血栓止血学会シンポジウム4 Cerebrovascular Disease.
講師名：Chris Bladin
所属：Monash University, Australia
演題：Thrombolysis in stroke
場所：メルボルン
世話人：病態解析学

開催日：平成24年12月14日
講演会名：日本薬学会東海支部特別講演会
講師名：Michael Z. Wincor, PharmD
所属：University of Southern California School of Pharmacy
演題：臨床薬学のための疾病解析と症例解析
Drug, disease and case studies in clinical pharmacy
世話分野：病態解析学分野

開催日：平成24年3月2日
講演会名：日本薬学会東海支部特別講演会
講師名：内藤幹彦 博士
所属：国立医薬品食品衛生研究所機能性科学部 部長
演題：プロテインノックダウン法の開発と創薬の可能性
世話分野：医薬品代謝解析学分野

開催日：平成24年3月9日
講演会名：日本薬学会東海支部特別講演会
講師名：前田真吾 博士
所属：鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 医療関節材料開発講座 特任准教授
演題：骨芽細胞と軟骨細胞の分化選別と成熟制御機構
世話分野：医薬品代謝解析学分野

開催日：平成24年2月2日
講演会名：日本薬学会東海支部特別講演会（第4回名古屋市立大学大学院薬学研究科レギュラ
トリーサイエンスセミナー）
講師名：渡邊 裕司 教授
所属：浜松医科大学医学部臨床薬理学・臨床薬理内科附属病院臨床研究管理センター
演題：医学の進歩と臨床薬理学の役割
世話分野：医薬品安全性評価学分野

開催日：平成24年7月5日
講演会名：日本薬学会東海支部特別講演会
講師名：根岸 正彦 博士
所属：米国 NIH/NIEHS
演題：Cell signal-mediated activation of CAR and Toxicology
世話分野：臨床薬学分野、医薬品安全性評価学分野

開催日：平成24年3月16日
場所：大塚製薬工場名古屋支店
講演会名：大塚製薬工場 臨床勉強会
講師名：木村 和哲 教授
所属：名古屋市立大学大学院薬学研究科病院薬剤学
演題：これから名古屋市立大学薬剤部の進む道
世話人：大塚製薬工場名古屋支店

開催日：平成24年4月2日
場所：名古屋市立大学病院
講演会名：平成24年度新規採用者研修
講師名：木村 和哲 教授
所属：名古屋市立大学大学院薬学研究科病院薬剤学
演題：医薬品の安全管理について
世話人：名古屋市立大学病院

開催日：平成24年5月25日
場所：ポートメッセなごや
講演会名：第15回国際福祉健康産業展 ウェルフェア2012
講師名：木村 和哲 教授
所属：名古屋市立大学大学院薬学研究科病院薬剤学
演題：知って欲しい・くすりの飲み合わせ
世話人：名古屋国際見本市委員会

開催日：平成24年6月22日
場所：名古屋市立大学桜山キャンパス
講演会名：健康科学講座 オープンカレッジ2012
講師名：木村 和哲 教授
所属：名古屋市立大学大学院薬学研究科病院薬剤学
演題：くすりの安全性 -飲み方次第で薬にも毒にもなる-
世話人：名古屋市立大学

開催日：平成24年7月6日
場所：大手町サンスカイルーム
講演会名：第4回シトルリン研究懇談会
講師名：木村 和哲 教授
所属：名古屋市立大学大学院薬学研究科病院薬剤学
演題：性機能障害に対するシトルリンの有効性
世話人：シトルリン研究会

開催日：平成24年8月23日
場所：ホテルアソシア豊橋
講演会名：愛知県病院薬剤師会東三河支部学術講演会
講師名：木村 和哲 教授
所属：名古屋市立大学大学院薬学研究科病院薬剤学
演題：下部尿路疾患・性機能障害におよぼす $\alpha 1$ 遮断薬の最近の知見
世話人：愛知県病院薬剤師会東三河支部

開催日：平成24年9月15日
場所：鈴鹿医療科学大学 白子キャンパス
講演会名：日本社会薬学会第31年会 市民公開講座
講師名：木村 和哲 教授
所属：名古屋市立大学大学院薬学研究科病院薬剤学
演題：患者のためのジェネリック医薬品
世話人：日本社会薬学会

開催日：平成24年11月29日
場所：名古屋市立大学薬学部
講演会名：名古屋市立大学薬学部生対象企業研究セミナー
講師名：木村 和哲 教授
所属：名古屋市立大学大学院薬学研究科病院薬剤学
演題：名古屋市立大学病院薬剤部
世話人：名古屋市立大学薬学部

開催日：平成24年12月10日
場所：名古屋市立大学医学部研究棟11階 講義室A
講演会名：平成23年度 名古屋市立大学「医・薬・看の連携研究の推進」助成事業
【共同開催】 名古屋市
講師名：木村 和哲 教授
所属：名古屋市立大学大学院薬学研究科病院薬剤学
演題：MRSAに対する抗菌薬・消毒薬の知識と実践
世話人：名古屋市立大学

開催日：平成24年1月29日
講演会名：愛知県薬剤師会学術発表会<特別シンポジウム>
講師名：堀美智子、和久修、鍋谷伸子、横井正之
所属：㈱エス・アイ・シー、大阪西淀川区薬剤師会、はるか薬局、パスカル薬局
演題：「6年制薬学部新時代に向けて」新時代にふさわしい薬局業務を考える
主催：愛知県薬剤師会（連携）名古屋市立大学薬学部（世話人責任者 鈴木匡）

開催日：平成24年11月24日
講演会名：市民公開講座
講師名：中村克徳
所属：名古屋市立大学大学院薬学研究科臨床薬学分野
演題：薬を飲むときに注意すべき食品
世話人：中村 精一

開催日：平成24年5月31日
場所：名古屋市立大学医学部
講演会名：第1回糖尿病イブニングセミナー
講師名：菊池美並
所属：刈谷豊田総合病院
演題：カーボカウントを用いた1型糖尿病の栄養指導
講師名：加藤大也

所 属：豊田厚生病院 内分泌代謝科病棟部長

演 題：CSII（持続皮下インスリン注入）療法の有用性と糖尿病チーム医療～当院での実臨床結果を踏まえて～

主 催：糖尿病イブニングセミナー（世話人；菊池千草 講師，他）

開 催 日：平成 24 年 11 月 1 日

場 所：名古屋市立大学医学部

講演会名：第 2 回糖尿病イブニングセミナー

講 師 名：後藤慎一

所 属：春日井市民病院 医療情報センター

演 題：POC 対応血糖装置の運用と課題

講 師 名：加藤岳史

所 属：名古屋市立大学大学院 消化器・代謝内科学

演 題：名古屋市立西部医療センターにおけるカルテ連動型 POCT の現状

主 催：糖尿病イブニングセミナー（世話人；菊池千草 講師，他）

4 研究業績目録

(2012年1月から2012年12月)

【薬化学分野】

(原報)

Takayoshi Suzuki, Yosuke Ota, Masaki Ri, Masashige Bando, Aogu Gotoh, Yukihiro Itoh, Hiroki Tsumoto, Prima R. Tatum, Tamio Mizukami, Hidehiko Nakagawa, Shinsuke Iida, Ryuzo Ueda, Katsuhiko Shirahige, and Naoki Miyata.

Rapid Discovery of Highly Potent and Selective Inhibitors of Histone Deacetylase 8 Using Click Chemistry to Generate Candidate Libraries

J. Med. Chem., **55**, 9562-9575, (2012).

Kazuya Matsuo, Hidehiko Nakagawa, Yusuke Adachi, Eri Kameda, Kazuyuki Aizawa, Hiroki Tsumoto, Takayoshi Suzuki, and Naoki Miyata.

Photoinduced Upregulation of Calcitonin Gene-Related Peptide in A549 Cells through HNO Release from a Hydrophilic Photocontrollable HNO Donor

Chem. Pharm. Bull., **60**, 1055-1062 (2012).

Valerie Cortez, Monica Mann, Seshidhar Tekmal, Takayoshi Suzuki, Naoki Miyata, Cristian Rodriguez-Aguayo, Gabriel Lopez-Berestein, Anil K Sood, and Ratna K Vadlamudi.

Targeting PELP1-KDM1 axis as a potential therapeutic strategy for breast cancer

Breast Cancer Res., **14**, R108 (2012).

Takayoshi Suzuki, Mohammed Naseer Ahmed Khan, Hideyuki Sawada, Erika Imai, Yukihiro Itoh, Katsura Yamatsuta, Natsuko Tokuda, Jun Takeuchi, Takuya Seko, Hidehiko Nakagawa, and Naoki Miyata.

Design, Synthesis, and Biological Activity of a Novel Series of Human Sirtuin-2-Selective Inhibitors

J. Med. Chem., **55**, 5760-5773 (2012).

Masato Takeuchi, Akira Hirasawa, Takafumi Hara, Ikuo Kimura, Tatsuya Hirano, Takayoshi Suzuki, Naoki Miyata, Takeo Awaji, Masaji Ishiguro, and Gozoh Tsujimoto.

FFA1-selective agonistic activity based on docking simulation using FFA1 and GPR120 homology models

Br. J. Pharmacol., **168**, 1570-1583 (2012).

Masahide Fukada, Atsuko Hanai, Atsuo Nakayama, Takayoshi Suzuki, Naoki Miyata, Ramona M. Rodriguez, Williams C. Wetsel, Tso-Pang Yao, and Yoshiharu Kawaguchi.

Loss of deacetylation activity of hdac6 affects emotional behavior in mice

PLoS One, **7**, e30924 (2012).

Mamiko Ikeda, Hidehiko Nakagawa, Takayoshi Suzuki, and Naoki Miyata.

Novel bisbenzimidazole-nitroxides for nuclear redox imaging in living cells

Bioorg. Med. Chem. Lett., **22**, 1949-1952 (2012).

Naoya Ieda, Hidehiko Nakagawa, Tao Peng, Dan Yang, Takayoshi Suzuki, and Naoki Miyata.
Photocontrollable Peroxynitrite Generator Based on N-Methyl-N-nitrosoaminophenol for Cellular Application

J. Am. Chem. Soc., **134**, 2563-2568 (2012).

(総説・著書・総合論文など)

中川秀彦

光作動型ドナー開発による活性酸素・一酸化窒素供与の時空間制御

実験医学, **30**, 2879-2883 (2012).

中川秀彦

活性酸素の機能を探る有機小分子ツール 光制御型ドナー化合物の開発

ファルマシア, **48**, 15-19 (2012).

中川秀彦

NO・活性酸素ドナー化合物の最前線

細胞工学, **31**, 194-195 (2012).

(特許申請)

申請日：平成 24 年 2 月 23 日

出願番号：特願 2012-037082

名称：新規アミド化合物及びその用途

発明者：宮田直樹，鈴木孝禎，粕谷侑輝

申請日：平成 24 年 2 月 24 日

出願番号：特願 2012-038977

名称：新規ヒドロキサム酸誘導体及びその用途

発明者：宮田直樹，鈴木孝禎，小笹弘貴

申請日：平成 24 年 11 月 28 日

出願番号：特願 2012-260222

名称：リシン構造を有する LSD1 選択的阻害薬

発明者：宮田直樹

(学会発表)

池田麻美子

オルガネラ局在性スピンプローブを用いた生細胞内微小環境における酸化ストレス解析

第 28 回臨床フリーラジカル会議, 2012 年 1 月 20-21 日, 京都, 若手 09.

Takayoshi Suzuki, Yosuke Ota, Yuki Kasuya, Hidehiko Nakagawa, Naoki Miyata

Discovery of isozyme-selective histone deacetylase inhibitors by click chemistry

243rd ACS National Meeting, 25 Mar.-29 Mar. 2012, San Diego, MEDI39.

Daisuke Ogasawara, Takayoshi Suzuki, Rie Ueda, Mohammed Naseer Ahmed Khan, Takuya

Matsubara, Koshiki Mino, Hidehiko Nakagawa, Tamio Mizukami, Naoki Miyata

Design, synthesis, and biological evaluation of cyclopropylamine-based LSD1 inhibitors
243rd ACS National Meeting, 25 Mar.-29 Mar. 2012, San Diego, MEDI46.

Hiroki Ozasa, Takayoshi Suzuki, Shohei Hamada, Koshiki Mino, Hidehiko Nakagawa, Tamio Mizukami, Naoki Miyata

Design, synthesis, and biological activity of JMJD2 histone demethylase inhibitors
243rd ACS National Meeting, 25 Mar.-29 Mar. 2012, San Diego, MEDI47.

Hideyuki Sawada, Takayoshi Suzuki, Erica Imai, Mohammed Naseer Ahmed Khan, Hidehiko Nakagawa, Naoki Miyata

Discovery of SIRT2-selective inhibitors
243rd ACS National Meeting, 25 Mar.-29 Mar. 2012, San Diego, MEDI190.

池田麻美子, 中川秀彦, 鈴木孝禎, 宮田直樹【学生優秀発表賞】

生細胞核内レドックス状態の可視化を目指した新規 bisbenzimidazole-nitroxide の開発
日本薬学会第 132 年会, 2012 年 3 月 28-31 日, 札幌, 29E09-pm07S.

河合翔太, 中川秀彦, 鈴木孝禎, 宮田直樹

NO 放出時に蛍光増大を伴うクマリン型新規光誘起 NO ドナーの開発
日本薬学会第 132 年会, 2012 年 3 月 28-31 日, 札幌, 30P2-pm064.

粕谷侑輝, 鈴木孝禎, 太田庸介, 津元裕樹, 中川秀彦, 宮田直樹

Click chemistry を用いた HDAC3 選択的阻害薬の探索
日本薬学会第 132 年会, 2012 年 3 月 28-31 日, 札幌, 30P2-pm087.

菱川和宏, 中川秀彦, 古田寿昭, 喜多村佳委, 福原潔, 鈴木孝禎, 宮田直樹

二光子励起作用型一酸化窒素供与剤のリンカー部位の検討
日本薬学会第 132 年会, 2012 年 3 月 28-31 日, 札幌, 31E11-am02S.

田中裕子, 中川秀彦, 鈴木孝禎, 宮田直樹

細胞内部位特異的な一重項酸素検出を目指した TMP 誘導体の開発
日本薬学会第 132 年会, 2012 年 3 月 28-31 日, 札幌, 31E11-pm03S.

家田直弥, 中川秀彦, Tao Peng, Dan Yang, 鈴木孝禎, 宮田直樹

N-nitrosoaminophenol 構造を有する光制御型 ONOO⁻ドナーの合成と評価
日本薬学会第 132 年会, 2012 年 3 月 28-31 日, 札幌, 31E11-pm04S.

家田直弥, 中川秀彦, Tao Peng, Dan Yang, 鈴木孝禎, 宮田直樹

生体応用を志向した光制御パーオキシナイトライト供与剤の開発と評価
第 10 回次世代を担う有機化学シンポジウム, 2012 年 5 月 11-12 日, 大阪, 2-10.

中川秀彦【招待講演】

活性酸素・NO の投与を光で制御できるケージド化合物
学際バイオワークショップ, 2012 年 5 月 19 日 (つくば)

家田直弥, 中川秀彦, Tao Peng, Dan Yang, 鈴木孝禎, 宮田直樹

細胞系で制御可能な光応答性 ONOO⁻供与剤の開発

第 65 回日本酸化ストレス学会学術集会, 2012 年 6 月 7-8 日, 徳島, P56.

福島直樹, 中川秀彦, 鈴木孝禎, 宮田直樹

Benzophenone 型光解除性保護基を導入した光応答性 H₂S 供与化合物の開発

第 65 回日本酸化ストレス学会学術集会, 2012 年 6 月 7-8 日, 徳島, O-24.

鈴木孝禎, 小笹弘貴, 三野光識, 中川秀彦, 水上民夫, 宮田直樹

ヒストン脱メチル化酵素 PHF8 選択的阻害薬の創製

日本ケミカルバイオロジー学会 第 7 回年会, 2012 年 6 月 7-9 日, 京都, O-09.

小笠原大介, 鈴木孝禎, 上田理恵, 三野光識, 中川秀彦, 水上民夫, 宮田直樹

LSD1 選択的阻害薬 NCL1 の光学活性体の合成、絶対構造の決定および生物活性評価

日本ケミカルバイオロジー学会 第 7 回年会, 2012 年 6 月 7-9 日, 京都, P-004.

澤田英之, 鈴木孝禎, 今井英里佳, Mohammed Naseer Ahmed Khan, 中川秀彦, 宮田直樹

新規 SIRT2 選択的阻害薬の創製

日本ケミカルバイオロジー学会 第 7 回年会, 2012 年 6 月 7-9 日, 京都, P-006.

会沢和之, 中川秀彦, 鈴木孝禎, 宮田直樹

Piloty' s acid 誘導体の合成および HNO, NO 放出能評価

日本ケミカルバイオロジー学会 第 7 回年会, 2012 年 6 月 7-9 日, 京都, P-012.

福島直樹, 中川秀彦, 鈴木孝禎, 宮田直樹

ケトプロフェン型光解除性保護基を導入した光応答性 H₂S 供与化合物の創製

日本ケミカルバイオロジー学会 第 7 回年会, 2012 年 6 月 7-9 日, 京都, P-036.

川合洸大, 中川秀彦, 家田直弥, 鈴木孝禎, 宮田直樹

クマリン骨格を有する HNO 検出薬の合成と検出能評価

第 58 回日本薬学会東海支部 総会・大会, 2012 年 7 月 7 日, 静岡, E1400.

中川秀彦【招待講演】

活性酸素・NO のケージド化合物

フリーラジカルスクール in 館山, 2012 年 8 月 7-9 日, 館山

Naoya Ieda, Hidehiko Nakagawa, Tao Peng, Dan yang, Takayoshi Suzuki, Naoki Miyata

Development of photocontrollable peroxy nitrite generator based on N-methyl-N-nitrosoaminophenol

SFRR 2012: 16th Biennial Meeting, 6th-9th, Sept, 2012, London, P1.32.

Kazuyuki Aizawa, Hidehiko Nakagawa, Takayoshi Suzuki, Naoki Miyata 【Informa Healthcare Prestigious Poster Award】

Synthesis of piloty's acid derivatives and evaluation of their HNO and NO releasing activities

SFRR 2012: 16th Biennial Meeting, 6th-9th, Sept, 2012, London, P1.35.

Naoki Fukushima, Hidehiko Nakagawa, Takayoshi Suzuki, Naoki Miyata 【Young Investigator Award】

A controllable hydrogen sulfide (H₂S) donor with ketoprofenate photolabile protecting group

SFRR 2012: 16th Biennial Meeting, 6th-9th, Sept, 2012, London, P3.100.

中川秀彦, 池田麻美子, 家田直弥, 宮田直樹

環境酸化ストレスの細胞影響評価を志向したニトロキシド-蛍光プローブ

フォーラム 2012 衛生薬学・環境トキシコロジー, 2012 年 10 月 25-26 日, 名古屋, P-037.

後藤仰, 鈴木孝禎, 粕谷 侑輝, 中川秀彦, 宮田直樹

クリックケミストリーを用いた HDAC 阻害薬用トリアゾール化合物ライブラリーの構築

第 4 2 回複素環化学討論会, 2012 年 10 月 11-13 日, 京都, 2P-052.

中川秀彦【招待講演】

オルガネラ局在性 TEMPO スピンプローブによる核内の酸化ストレス計測

第 51 回電子スピンサイエンス学会年会 (SEST2012), 2012 年 11 月 1-3 日, 札幌, 3S-05.

家田直弥, 中川秀彦, Tao Peng, Dan Yang, 鈴木孝禎, 宮田直樹

新規光応答型 ONOO⁻-ドナーの合成と細胞における放出制御

第 4 5 回酸化反応討論会, 2012 年 11 月 16-17 日, 名古屋, P-04.

会沢和之, 中川秀彦, 家田直弥, 鈴木孝禎, 宮田直樹

新規 Piloty's acid 誘導体の合成および HNO 放出活性評価

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部 合同学術大会
2012, 2012 年 11 月 18 日, 岐阜, B-06.

川合洸大, 家田直弥, 中川秀彦, 宮田直樹

ホスフィン型発蛍光性 HNO 検出試薬の創製

第 3 0 回メディシナルケミストリーシンポジウム, 2012 年 11 月 28-30 日, 東京, 1P-40.

後藤仰, 鈴木孝禎, 粕谷侑輝, 中川秀彦, 宮田直樹

クリックケミストリーを用いた HDAC3 選択的阻害薬の迅速探索

第 3 0 回メディシナルケミストリーシンポジウム, 2012 年 11 月 28-30 日, 東京, 1P-55.

小笠原大介, 鈴木孝禎, Mohammed Naseer Ahmed Khan, 上田理恵, 三野光織, 中川秀彦,
水上民夫, 宮田直樹

N-アルキル化フェニルシクロプロピルアミン誘導体の LSD1 阻害活性評価

第 3 0 回メディシナルケミストリーシンポジウム, 2012 年 11 月 28-30 日, 東京, 1P-69.

家田直弥, 中川秀彦, Tao Peng, Dan Yang, 鈴木孝禎, 宮田直樹

光制御可能なパーオキシナイトライト発生剤の開発

第 2 9 回臨床フリーラジカル会議, 2012 年 12 月 7-8 日, 京都, 若手 1.

【精密有機反応学分野】

(総説・著書・総合論文など)

樋口恒彦

シトクロム P450 の酸化活性種が解明!?

化学, 67(1), 70-71 (2012).

(学会発表)

鈴木潤, 白川慶典, 倉橋拓也, 梅澤直樹, 加藤信樹, 藤井浩, 樋口恒彦

チオラート配位子を有するシトクロム P450 モデル錯体の酸化還元特性の解析

日本薬学会第 132 年会. 2012 年 3 月 30 日 (札幌) ; 30P2-pm073.

梅澤直樹, 樋口恒彦【依頼講演】

γ -セクレターゼを阻害するフォルダマー：開発と展開

日本薬学会第 132 年会. 2012 年 3 月 30 日 (札幌) ; S18-6.

今村優希, 大沢智子, 梅澤直樹, 富田泰輔, 岩坪威, 加藤信樹, 樋口恒彦

ガンマセクレターゼ阻害フォルダマーの構造活性相関研究

日本薬学会第 132 年会. 2012 年 3 月 31 日 (札幌) ; 31E10-am12S.

樋口恒彦, 小林由布子, 藪名香宏介, 加藤信樹, 梅澤直樹

ヘム親和性分子の高い抗クロロキン耐性マラリア活性

日本薬学会第 132 年会. 2012 年 3 月 31 日 (札幌) ; 31E11-pm08.

樋口恒彦【招待講演】

ヘム酵素に関連した精密設計錯体によるケミカルバイオロジー・医薬化学

メディシナルケミストリー特論 I 講義. 2012 年 5 月 14 日 (長崎)

鬼頭茜, 浜口雄, 加藤信樹, 梅澤直樹, 樋口恒彦

Efficient cytochrome P450-mimetic oxidations catalyzed by ruthenium porphyrin

第 22 回金属の関与する生体関連反応シンポジウム. 2012 年 6 月 1 日 (金沢) ; O-16.

Tsunehiko Higuchi【招待講演】

Selective Alkane Oxidation Catalyzed by Ruthenium Porphyrins

International Conference on Porphyrins and Phthalocyanines (ICPP).

2012 年 7 月 1 日 (Jeju, Korea)

白川慶典, 鈴木潤, 倉橋拓也, 梅澤直樹, 加藤信樹, 藤井浩, 樋口恒彦

チオラート配位子を有するシトクロム P450 モデル錯体における高酸化状態の解析

第 58 回日本薬学会東海支部 総会・大会. 2012 年 7 月 7 日 (静岡) ; E1510.

渡辺二規, 加藤信樹, 梅澤直樹, 樋口恒彦

分子内酸化的カップリング反応を用いた scholarisine A の合成研究

第 58 回日本薬学会東海支部 総会・大会. 2012 年 7 月 7 日 (静岡) ; E1520.

梅澤直樹, 吉川祐子, 今村優希, 神戸俊夫, 加藤信樹, 吉川研一, 今中忠行, 樋口恒彦
キラルなポリアミン類の効率的合成と DNA 凝縮に及ぼす効果
第 6 回バイオ関連化学シンポジウム. 2012 年 9 月 6 日 (札幌) ; 1C-13.

則武幸延, 渡部頼忠, 南波あずさ, 加藤信樹, 梅澤直樹, 樋口恒彦
反応補助基を分子内に導入したマンガンサレン分子の触媒的活性酸素消去能
第 6 回バイオ関連化学シンポジウム. 2012 年 9 月 6 日 (札幌) ; 3A-06.

Tsunehiko Higuchi

Robust Catalytic Oxidizing System : Ruthenium Porphyrin / Heteroaromatic N-Oxide.
第 6 回武田科学振興財団薬科学シンポジウム. 2012 年 9 月 13 日 (吹田) ; P080.

今村優希, 大沢智子, 梅澤直樹, 富田泰輔, 岩坪威, 加藤信樹, 樋口恒彦
Foldamer as γ -Secretase Inhibitor: Effect of Side Chain Structure.
第 6 回武田科学振興財団薬科学シンポジウム. 2012 年 9 月 13 日 (吹田) ; P081.

Naoki Umezawa, Yuka Noro, Kazuhiro Ukai, Nobuki Kato, Tsunehiko Higuchi
Cyclic Caged Peptides : Design and Function.
第 6 回武田科学振興財団薬科学シンポジウム. 2012 年 9 月 13 日 (吹田) ; P082.

Tsugunori Watanabe, Nobuki Kato, Naoki Umezawa, Tsunehiko Higuchi
Synthetic Study of Scholarisine A.
第 6 回武田科学振興財団薬科学シンポジウム. 2012 年 9 月 13 日 (吹田) ; P084.

樋口恒彦【依頼講演】

シトクロム P450 の精密な化学モデルによる酵素機能へのアプローチ
第 110 回触媒討論会. 2012 年 9 月 24 日 (福岡) ; 1I13.

樋口恒彦

ヘム及び関連錯体を用いたケミカルバイオロジー・医薬化学
第 43 回 中部化学関係学協会支部連合秋季大会. 2012 年 11 月 11 日 (名古屋) ; 1B07.

白川慶典, 鈴木潤, 倉橋拓也, 梅澤直樹, 加藤信樹, 藤井浩, 樋口恒彦
チオラート配位子を有するシトクロム P450 モデル錯体における高酸化状態の解析
第 45 回酸化反応討論会. 2012 年 11 月 17 日 (名古屋) ; P-10.

今村優希, 梅澤直樹, 大沢智子, 岩坪威, 加藤信樹, 富田泰輔, 樋口恒彦
ガンマセクレターゼ阻害活性を持つフォルダマーの開発と阻害機構の解析
日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会 2012. 2012 年 11 月 18 日
(岐阜) ; B-13.

Yoshinori Shirakawa, Hiroshi Suzuki, Takuya Kurahashi, Naoki Umezawa, Nobuki Kato, Hiroshi Hujii, and Tsunehiko Higuchi
Significance of the NH-S Hydrogen Bond in Redox Chemistry of Heme Thiolate: Relevance to Cytochrome P450 Catalysis.
シトクロム P450 発見 50 周年記念シンポジウム. 2012 年 12 月 2-3 日 (福岡) ; P-53.

Tsunehiko Higuchi

Inevitable Cytochrome P450 Coordination Structure for Enzyme Function.

チトクロム P450 発見 50 周年記念シンポジウム. 2012 年 12 月 2-3 日 (福岡) ; P-54.

【薬品合成化学分野】

(原報)

Kosuke Kakita, Toshifumi Tsuda, Noritoshi Suzuki, Seiichi Nakamura, Hisanori Nambu, and Shunichi Hashimoto.

A Stereocontrolled Construction of 2-Azido-2-deoxy-1,2-*cis*- α -galactosidic Linkages Utilizing 2-Azido-4,6-*O*-benzylidene-2-deoxygalactopyranosyl Diphenyl Phosphates: Stereoselective Synthesis of Mucin Core 5 and Core 7 Structures.

Tetrahedron, **68**, 5005–5017 (2012).

Yukihito Sugano, Fumiaki Kikuchi, Akinori Toita, Seiichi Nakamura, and Shunichi Hashimoto.
Total Syntheses of (+)-Polygalolide A and (+)-Polygalolide B: Establishment of the Absolute Stereochemistry and Biogenetic Implications.

Chem. Eur. J., **18**, 9682–9690 (2012).

(学会発表)

赤堀禎紘, 橋本俊一, 中村精一 【学生優秀発表賞】

抗腫瘍性サポニン・シラシロシド E-1 の合成研究—CDE 環部の立体選択的な構築—

第 132 年会 日本薬学会 2012 年 3 月 29 日 (札幌) ; 29E08-am07S.

戸井田明憲, 橋本俊一, 中村精一 【学生優秀発表賞】

アセチルコリン受容体拮抗剤スピロリド D の合成研究

第 132 年会 日本薬学会 2012 年 3 月 29 日 (札幌) ; 29E07-am03S.

戸井田明憲, 猪狩俊博, 橋本俊一, 中村精一

アセチルコリン受容体拮抗剤スピロリド類の合成研究

第 29 回有機合成化学セミナー 2012 年 9 月 6 日 (静岡) ; P-85.

戸井田明憲, 猪狩俊博, 橋本俊一, 中村精一

アセチルコリン受容体拮抗剤スピロリド D の合成研究

第 38 回反応と合成の進歩シンポジウム 2012 年 11 月 5 日 (東京) ; 1P-52.

【機能分子構造学分野】

(学会発表)

坂崎美香, 白井直洋, 池田慎一

ニッケル触媒によるエノン, アルキン, ビニルシクロプロパンのドミノカップリング反応の開発

第 133 年会 日本薬学会 2012 年 3 月 30 日 (横浜) ; 30amA-640.

森田有香, 白井直洋, 池田慎一

ニッケル/亜鉛触媒によるエノン・アルキン・アリルアルコール類のヘック型ドミノ反応

第 133 年会 日本薬学会 2012 年 3 月 30 日 (横浜) ; 30amA-641.

【生体超分子システム解析学分野】

(原報)

Kohei Tahara, Satoshi Tadokoro, Hiroaki Yamamoto, Yoshiaki Kawashima, and Naohide Hirashima

The suppression of IgE-mediated histamine release from mast cells following exocytotic exclusion of biodegradable polymeric nanoparticles.

Biomaterials, **33**, 343-351 (2012).

Yoko Nishimura, Satoshi Tadokoro, Masahiko Tanaka, and Naohide Hirashima

Detection of asymmetric distribution of phospholipids by fluorescence resonance energy transfer.

Biochem. Biophys. Res. Commun., **420**, 926-930 (2012).

Kohei Tahara, Satoshi Tadokoro, Yoshiaki Kawashima, and Naohide Hirashima

Endocytosis-like uptake of surface-modified drug nano-carriers into giant unilamellar vesicles.

Langmuir, **28**, 7114-7118 (2012).

Marie Takekawa, Tadahide Furuno, Naohide Hirashima, and Mamoru Nakanishi

Mitochondria take up Ca^{2+} in two steps dependently on store-operated Ca^{2+} entry in mast cells.

Biol. Pharm. Bull., **35**, 1354-1360 (2012).

Tadahide Furuno, Man Hagiwara, Miho Sekimura, Keisuke Okamoto, Ryo Suzuki, Akihiko Ito, Naohide Hirashima, and Mamoru Nakanishi

Cell adhesion molecule 1 (CADM1) on mast cells promotes interaction with dorsal root ganglion neurites by heterophilic binding to nectin-3.

J. Neuroimmunol., **250**, 50-58 (2012).

(著書)

Masahiko Tanaka

Single-cell electroporation of small interfering RNA in primary neuronal cultures.

In: *Controlled Genetic Manipulations, Neuromethods Vol. 65*, Springer, New York, pp. 129-139 (2012).

(学会発表)

大橋 令, 坂田真一, 平嶋尚英, 田中正彦

小脳プルキンエ細胞樹状突起形成におけるリアノジン受容体の機能解析

日本薬学会第 132 年会. 2012 年 3 月 29 日 (札幌); 29E06-am03.

田所 哲, 森田陽介, 北本 大, 平嶋尚英

バイオサーファクタント MELs は、SNARE や MAP キナーゼのリン酸化を抑制することで、マスト細胞からの炎症性メディエーターの分泌を抑制する

日本薬学会第 132 年会. 2012 年 3 月 30 日 (札幌); 30P2-042.

山之上潔, 田所 哲, 平嶋尚英

マスト細胞におけるカルシウムチャンネル Orai2 の機能解析

日本薬学会第 132 年会. 2012 年 3 月 30 日 (札幌); 30P2-086.

伊納義和, 古野忠秀, 平嶋尚英, 北本 大, 中西 守

バイオサーファクタント含有正電荷リポソームによる迅速な siRNA 細胞導入

日本薬学会第 132 年会. 2012 年 3 月 30 日 (札幌); 30P2-088.

田中正彦, 大橋 令, 平嶋尚英

小脳プルキンエ細胞の樹状突起形成はプルキンエ細胞だけでなく顆粒細胞が発現するリアノジン受容体によっても促進される

第 35 回日本神経科学大会. 2012 年 9 月 21 日 (名古屋); P4-c05.

堀江侑季, 平嶋尚英, 田中正彦

小脳プルキンエ細胞の樹状突起形成に關与するカルシウムシグナリング分子の探索

第 35 回日本神経科学大会. 2012 年 9 月 21 日 (名古屋); P4-c13.

古野忠秀, 関村美穂, 岡本恵介, 萩山 満, 伊藤彰彦, 鈴木 亮, 平嶋尚英, 中西 守

マスト細胞と後根神経節初代培養細胞の相互作用における接着分子の研究

第 50 回日本生物物理学会年会. 2012 年 9 月 22 日 (名古屋); 1PT206.

田原耕平, 田所 哲, 川島嘉明, 平嶋尚英

表面修飾ナノ粒子の巨大リポソームへのエンドサイトーシス様取込み

第 50 回日本生物物理学会年会. 2012 年 9 月 24 日 (名古屋); 3PT139.

Yoshikazu Inoh, Tadahide Furuno, Naohide Hirashima, Dai Kitamoto, Mamoru Nakanishi

Promotion of DNA delivery into nucleus dramatically enhances the transfection efficiency mediated by biosurfactant containing liposomes.

第 50 回日本生物物理学会年会. 2012 年 9 月 24 日 (名古屋); 3PT176.

田所 哲, 永井弓子, 崎山裕紀, 平嶋尚英

マスト細胞の開口放出様の膜融合におけるカルシウムの役割

第 50 回日本生物物理学会年会. 2012 年 9 月 24 日 (名古屋); 3PT177.

Masahiko Tanaka, Ryo Ohashi, Shin-ichi Sakata, Naohide Hirashima

Dendrite formation of cerebellar Purkinje cells is promoted by ryanodine receptors expressed by Purkinje and granule cells.

The 42nd Annual Meeting of the Society for Neuroscience. 2012 年 11 月 16 日 (New Orleans, USA); 614.1.

亀川沙知, 日下部美帆, 田所 哲, 田中正彦, 井上 悠, 長谷川靖司, 水谷 宏, 中田 悟, 平嶋尚英

メラノサイトからケラチノサイトへのメラニン移行における SNARE 蛋白質の関与

第 35 回日本分子生物学会年会. 2012 年 12 月 12 日 (福岡); 2P-0321.

堀江侑季, 平嶋尚英, 田中正彦

小脳プルキンエ細胞の樹状突起形成への Ca^{2+} /カルモジュリン依存性蛋白質リン酸化酵素の関与

第 35 回日本分子生物学会年会. 2012 年 12 月 14 日 (福岡) ; 4P-0493.

田原耕平, 田所 哲, 川島嘉明, 平嶋尚英

マスト細胞からの IgE 依存性ヒスタミン分泌に対するナノ粒子の影響

第 85 回日本生化学会大会. 2012 年 12 月 16 日 (福岡) ; 3P-476.

Satoshi Tadokoro, Yumiko Nagai, Hiroki Sakiyama, Naohide Hirashima

Enhancement effect of synaptotagmin II on SNARE mediated membrane fusion requires Ca^{2+} and phosphatidylserine.

2012 The American Society for Cell Biology Annual Meeting. 2012 年 12 月 16 日 (San Francisco) ;

B1022.

【コロイド・高分子物性学分野】

(原報)

Yuki Nakamura, Tohru Okuzono, Akiko Toyotama, and Junpei Yamanaka.

Two-dimensional Brownian Motions of Polyacrylamide-modified Colloidal Particles.

Chem. Lett., **41**, 1145-1147 (2012).

Yukihiro Sugao, Koki Yoshizawa, Akiko Toyotama, Tohru Okuzono, and Junpei Yamanaka.
Striation Pattern of Impurity Particles in Charged Colloidal Crystals Formed by Stepwise Thermally Induced Crystallization.

Chem. Lett., **41**, 1163-1165 (2012).

Koki Yoshizawa, Sachiko Onda, Tsutomu Sawada, and Junpei Yamanaka.

Formation of Stripe Patterns in Charged Colloids during Unidirectional Crystallization in the Presence of Impurity Particles.

Chem. Lett., **41**, 322-324 (2012).

Masako Murai, Tohru Okuzono, Masaaki Yamamoto, Akiko Toyotama, and Junpei Yamanaka.

Gravitational compression dynamics of charged colloidal crystals.

J. Colloid Interface Sci., **370**, 39-45 (2012).

Koki Yoshizawa, Nao Wakabayashi, Masakatsu Yonese, Junpei Yamanaka, and C. Patrick Royall.

Phase separation in binary colloids with charge asymmetry.

Soft Matter, **8**, 11732-11736 (2012).

(総説・著書・総合論文など)

山中淳平, 奥藺 透

第10章 レオロジー

製剤への物理化学 第2版, 斎藤博幸, 田中秀治編, 廣川書店 pp201-221 (2012).

(学会発表)

Junpei Yamanaka, Koki Yoshizawa, Tohru Okuzono, and Akiko Toyotama.

Exclusion of impurity particles during crystallization and grain growth in charged colloids.

14th International Association of Colloid and Interface Scientists, Conference (IACIS2012)

2012年5月18日 (Sendai); S2F98.

Tohru Okuzono, Masako Murai, Tomohiro Taniji, Akiko Toyotama, and Junpei Yamanaka.

Numerical study of dynamics of charged colloidal crystals with a coarse-grained continuum model.

14th International Association of Colloid and Interface Scientists, Conference (IACIS2012)
2012年5月18日 (Sendai); S2F99.

Yuki Nakamura, Tohru Okuzono, Akiko Toyotama, and Junpei Yamanaka.

Two-dimensional diffusion and self-assembly of colloidal particles on solid-liquid interfaces.

14th International Association of Colloid and Interface Scientists, Conference (IACIS2012)
2012年5月15日 (Sendai); S2P15-22.

Akiko Toyotama, Tohru Okuzono, and Junpei Yamanaka.

In situ microscopic observation of gel-immobilization process of the charged colloidal crystals.

14th International Association of Colloid and Interface Scientists, Conference (IACIS2012)
2012年5月15日 (Sendai); S2P15-26.

Ai Murakado, Masami Ito, Kazuki Komori, Akiko Toyotama, Tohru Okuzono, and Junpei Yamanaka.

Preparation of polystyrene particles modified with quantum dots.

14th International Association of Colloid and Interface Scientists, Conference (IACIS2012)
2012年5月15日 (Sendai); S2P15-27.

Yukihiro Sugao, Koki Yoshizawa, Akiko Toyotama, Tohru Okuzono, and Junpei Yamanaka.

Exclusion of the Impurity Particles during Thermally Induced Unidirectional Crystallization of Charged Colloidal Silica.

14th International Association of Colloid and Interface Scientists, Conference (IACIS2012)
2012年5月15日 (Sendai); S2P15-39.

Junpei Yamanaka, Masaaki Yamamoto, Akiko Toyotama, Yuki Nakamura, Shota Okituka, Tohru Okuzono, Fumio Uchida.

Thermally induced crystallization of charged colloids in the coexistence of ionic surfactants.

第61回高分子討論会 2012年9月20日 (名古屋); 2ESA16.

豊玉彰子, 山本政彰, 中村友紀, 沖塚翔太, 内田文生, 奥蘭透, 山中淳平.

界面活性剤添加荷電コロイドの温度誘起結晶化.

第61回高分子討論会 2012年9月20日 (名古屋); 2Pb038.

沖塚翔太, 山中淳平, 奥蘭透, 豊玉彰子, 中村友紀.

イオン性界面活性剤の吸着による荷電コロイド粒子の電荷数制御.

第61回高分子討論会 2012年9月20日 (名古屋); 2Pa039.

菅生行紘, 豊玉彰子, 奥蘭透, 山中淳平.

荷電コロイド結晶のゾーンリファインニング.

第61回高分子討論会 2012年9月20日 (名古屋); 2Pb040.

村門愛, 豊玉彰子, 奥蘭透, 山中淳平.

量子ドット修飾ポリスチレンの合成と結晶化.

第 61 回高分子討論会 2012 年 9 月 20 日 (名古屋) ; 2Pa041.

奥蘭透, 豊玉彰子, 谷地知大, 山中淳平.

塩基拡散による荷電コロイド結晶歪みのモデル化.

第 2 回ソフトマター研究会 2012 年 9 月 25 日 (福岡) ; P-10.

Junpei Yamanaka and Akiko Toyotama

Unidirectional Crystallization of Charged Colloids

57th DAE Solid State Physics Symposium (Bombay, India) 2012 年 12 月 5 日 IT-23.

Akiko Toyotama, Kazuki Komori, Ai Murakado, Tohru Okuzono, and Junpei Yamanaka

In situ microscopic observation of charged colloidal crystals

57th DAE Solid State Physics Symposium (Bombay, India) 2012 年 12 月 3 日 B-118.

Yuki Nakamura, Masaaki Yamamoto, Shota Okitsuka, Akiko Toyotama, Tohru Okuzono, and Junpei Yamanaka

Thermally induced crystallization of charged colloids in the coexistence of ionic surfactants

57th DAE Solid State Physics Symposium (Bombay, India) 2012 年 12 月 3 日 B-108.

Junpei Yamanaka

Colloidal Crystallization

International Crystals Growth School (Sendai) 2012 年 7 月 26 日

【生命分子構造学分野】

(原報)

Laura Mauri, Riccardo Casellato, Maria G. Ciampa, Yoshinori Uekusa, Koichi Kato, Ken-ichi Kaida, Mayumi Motoyama, Susumu Kusunoki, and Sandro Sonnino

Anti-GM1/GD1a complex antibodies in GBS sera recognize the hybrid dimer of GM1-GD1a

Glycobiology, **22**, 352-360 (2012).

Daishi Fujita, Kosuke Suzuki, Sota Sato, Maho Yagi-Utsumi, Eiji Kurimoto, Yoshiki Yamaguchi, Koichi Kato, and Makoto Fujita

Synthesis of a bridging ligand with a non-denaturated protein pendant: Toward protein encapsulation in a coordination cage

Chem. Lett., **41**, 313-315 (2012).

Kenji Takagi, Sangwoo Kim, Haruka Yukii, Mika Ueno, Ryo Morishita, Yaeta Endo, Koichi Kato, Keiji Tanaka, Yasushi Saeki, and Tanehiro Mizushima

Structural basis for specific recognition of Rpt1, an ATPase subunit of the 26 S proteasome, by the proteasome-dedicated chaperone Hsm3

J. Biol. Chem., **287**, 12172-12182 (2012).

Sayoko Yamamoto, Ying Zhang, Takumi Yamaguchi, Tomoshi Kameda, and Koichi Kato

Lanthanide-assisted NMR evaluation of a dynamic ensemble of oligosaccharide conformations

Chem. Commun., **48**, 4752-4754 (2012).

Yukiko Kamiya, Yoshinori Uekusa, Akira Sumiyoshi, Hiroaki Sasakawa, Takeshi Hirao, Tadashi Suzuki, and Koichi Kato

NMR characterization of the interaction between the PUB domain of peptide:N-glycanase and ubiquitin-like domain of HR23

FEBS Lett., **586**, 1141-1146 (2012).

Sangwoo Kim, Akira Nishide, Yasushi Saeki, Kenji Takagi, Keiji Tanaka, Koichi Kato, and Tanehiro Mizushima

New crystal structure of the proteasome-dedicated chaperone Rpn14 at 1.6 Å resolution

Acta Cryst., **F68**, 517-521 (2012).

Hirokazu Yagi, Kazuhiro Ishimoto, Takeshi Hiromoto, Hiroaki Fijita, Tsunehiro Mizushima, Yoshinori Uekusa, Maho Yagi-Utsumi, Eiji Kurimoto, Masanori Noda, Susumu Uchiyama, Fuminori Tokunaga, Kazuhiro Iwai, and Koichi Kato

A non-canonical UBA-UBL interaction forms the linear-ubiquitin-chain assembly complex

EMBO reports, **13**, 462-468 (2012).

Hirokazu Yagi, Shinya Watanabe, Takashi Suzuki, Tadanobu Takahashi, Yasuo Suzuki, and Koichi Kato

Comparative analyses of N-glycosylation profiles of influenza A viruses grown in different host cells

Open Glycoscience, **5**, 2-12 (2012).

Nongluk Sriwilajaroen, Sachiko Kondo, Hirokazu Yagi, Hiroaki Hiramatsu, Shin-ichi Nakakita, Keita Yamada, Hiromi Ito, Jun Hirabayashi, Hisashi Narimatsu, Koichi Kato, and Yasuo Suzuki

Bovine milk whey for preparation of natural *N*-glycans: structural and quantitative analysis

Open Glycoscience, **5**, 41-50 (2012).

Ying Zhang, Sayoko Yamamoto, Takumi Yamaguchi, and Koichi Kato

Application of paramagnetic NMR-validated molecular dynamics simulation to the analysis of a conformational ensemble of a branched oligosaccharide

Molecules, **17**, 6658-6671 (2012).

Hirokazu Yagi, Takuya Saito, Makoto Yanagisawa, Robert K. Yu, and Koichi Kato

Lewis X-carrying *N*-glycans regulate the proliferation of mouse embryonic neural stem cells via the Notch signaling pathway

J. Biol. Chem., **287**, 24356-24364 (2012).

Yoshinori Uekusa, Syunsuke Mimura, Hiroaki Sasakawa, Eiji Kurimoto, Eri Sakata, Serve Olivier, Hirokazu Yagi, Fuminori Tokunaga, Kazuhiro Iwai, and Koichi Kato

Backbone and side chain ¹H, ¹³C, and ¹⁵N assignments of the ubiquitin-like domain of human HOIL-1L, an essential component of linear ubiquitin chain assembly complex

Biomol. NMR Assign., **6**, 177-180 (2012).

Sachiko Kondo, Hirokazu Yagi, Yukiko Kamiya, Akihiko Ito, Motoki Kuhara, Ayako Kudoh, Noriko Takahashi, and Koichi Kato

N-Glycosylation profiles of chicken immunoglobulin Y glycoproteins expressed by different production vehicles

J. Glycomics Lipidomics, S5:002. doi:10.4172/2153-0637.S5-002 (2012)

Maho Yagi-Utsumi, Sumi Yoshikawa, Yoshiki Yamaguchi, Yohei Nishi, Eiji Kurimoto, Yoshihito Ishida, Takayuki Homma, Jun Hoseki, Yoshimi Nishikawa, Takaki Koide, Kazuhiro Nagata, and Koichi Kato

NMR and mutational identification of the collagen-binding site of the chaperone Hsp47

PLoS ONE, **7**, e45930 (2012).

Daishi Fujita, Kosuke Suzuki, Sota Sato, Maho Yagi-Utsumi, Yoshiki Yamaguchi, Nobuhiro Mizuno, Takashi Kumasaka, Masaki Takata, Masanori Noda, Susumu Uchiyama, Koichi Kato, and Makoto Fujita

Protein encapsulation within synthetic molecular hosts

Nature Commun., **3**, 1093 (2012).

Taiga Fujii, Masaaki Urushihara, Hiromu Kashida, Hiroshi Ito, Xingguo Liang, Maho Yagi-Utsumi, Koichi Kato, and Hiroyuki Asanuma

Reversed assembling of dyes in an RNA duplex compared with those in DNA

Chem. Euro. J., **18**, 13304-13313 (2012).

Maho Yagi-Utsumi

Expression and purification of isotopically labeled amyloid β as ubiquitin-fused protein in *E. coli*.

Protein Science Society of Japan Archives, **5**, e065 (2012).

(総説・著書・総合論文など)

Koichi Kato and Yoshiki Yamaguchi

Glycoproteins and antibodies: Solution NMR studies

Encyclopedia of Magnetic Resonance (R.K.Harris and R.E.Wasylishen), John Wiley (Chichester),
Vol.3, 1779-1790 (2012).

柳澤勝彦, 松崎勝巳, 加藤晃一

アミロイド蓄積開始機構の解明と治療薬開発への展開

最新医学, **67**, 138-158 (2012).

佐藤匡史, 山口芳樹

糖鎖を目印とするタンパク質の品質管理の仕組みを解く

生物物理, **52(1)**,032-033 (2012).

加藤晃一

タンパク質の翻訳後修飾の構造生物学研究

薬学雑誌, **132**, 563-573 (2012).

加藤晃一

研究戦略 YAKU 学—研究現場から臨床へ—No.38 創薬ターゲットとしての糖鎖

薬事日報, 第 11133 号(8) (2012).

Yukiko Kamiya, Tadashi Satoh, and Koichi Kato

Molecular and structural basis for *N*-glycan-dependent determination of glycoprotein fates in cells

Biochim. Biophys. Acta—General Subjects, **1820**,1327-1337 (2012).

Tadashi Satoh, Eri Sakata, Sayoko Yamamoto, Yoshiki Yamaguchi, Akira Sumiyoshi, Soichi Wakatsuki, and Koichi Kato

Structural study of K48-linked tetraubiquitin

Photon Factory Activity Report 2010 "Users' Report", **28** Part B, pp243 (2012).

Tadashi Satoh and Yoshiki Yamaguchi

Structural basis of sugar recognition of misfolded glycoproteins by OS-9 MRH domain in ER-associated degradation

Photon Factory Activity Report 2010 "Highlights", **28** Part A, pp50-51 (2012).

加藤晃一, 矢木宏和

バイオ/抗体医薬品における構造解析

バイオ/抗体医薬品の開発・製造プロセス, 情報機構, pp173-183 (2012).

加藤晃一, 矢木宏和

X線とNMRによる抗体解析

新機能抗体開発ハンドブック(浜窪隆雄監修), エヌ・ティー・エス, pp65-69 (2012).

加藤明文, 矢木宏和, 加藤晃一, 飯田 茂, 中村和靖
糖鎖制御による抗体医薬品の差別化

次世代医薬開発に向けた抗体工学の最前線 (熊谷 泉監修),
シーエムシー出版, pp144-149 (2012).

加藤晃一, 矢木宏和
NMR 法による抗体の高次構造

次世代医薬開発に向けた抗体工学の最前線 (熊谷 泉監修),
シーエムシー出版, pp.275-283 (2012).

加藤晃一

分子動力学計算と常磁性 NMR 法による糖鎖立体構造の揺らぎの検証
「揺らぎと生体機能」 ニュースレター, No. 42, 1 (2012).

加藤晃一

糖タンパク質の分解に関わるタンパク質間相互作用の構造基盤
「揺らぎと生体機能」 ニュースレター, No. 42, 2 (2012).

加藤晃一

分岐型糖鎖のコンフォメーション揺らぎの評価
「揺らぎと生体機能」 ニュースレター, No. 43, 1 (2012).

加藤晃一

人工カプセルでタンパク質の生け捕りに成功
「揺らぎと生体機能」 ニュースレター, No. 49, 1 (2012).

(学会発表)

Ying Zhang, Takumi Yamaguchi, Sayoko Yamamoto, and Koichi Kato

Conformational dynamics of ganglioside GM3 as studied by NMR spectroscopy

The 5th International Symposium, Molecular Science of Fluctuations toward Biological Functions
2012 年 1 月 7 日 (Nara) ; P011.

Kentaro Kumoi, Tadashi Satoh, Hirokazu Yagi, Takeshi Hiromoto, Tsunehiro Mizushima,
Susumu Uchiyama, Masanori Noda, Hazuyoshi Murata, Yukiko Kamiya, and Koichi Kato
Structural basis for the mechanisms underlying proteasomal activation by archaeal PbaB
homotetramer

The 5th International Symposium, Molecular Science of Fluctuations toward Biological Functions
2012 年 1 月 7 日 (Nara) ; P013.

Soichiro Kitazawa, Maho Yagi-Utsumi, Akemi Ido, Makoto Urushitani, Kenji Sugase, Koichi
Kato, and Ryo Kitahara

Structure, dynamics and function of high-energy state mutant of ubiquitin

The 5th International Symposium, Molecular Science of Fluctuations toward Biological Functions
2012 年 1 月 7 日 (Nara) ; P019.

Koichi Kato 【招待講演】

Conformational dynamics of sugar-protein interaction systems as potential therapeutic targets
The 5th International Symposium, Molecular Science of Fluctuations toward Biological Functions
2012年1月8日 (Nara) ; P010.

Keisuke Okawa, Maho Yagi-Utsumi, Kenji Takagi, Takeshi Hiromoto, Hirokazu Yagi, Tsunehiro Mizushima, Tadashi Satoh, and Koichi Kato

Structural and functional analyses of yeast Ump1p, an intrinsically disordered protein operating as proteasome assembly chaperone
The 5th International Symposium, Molecular Science of Fluctuations toward Biological Functions
2012年1月8日 (Nara) ; P012.

Koichi Kato 【招待講演】

Protein dynamics in the ubiquitin-proteasome system
4th Japan-Korea Seminar on Biomolecular Science: Experiments and Simulations
2012年1月9日 (奈良) ; Session 5.

Maho Yagi-Utsumi, Pornthip Boonsri, Yoshiki Yamaguchi, and Koichi Kato 【招待講演】

Spectroscopic characterization of conformational transitions of membrane-binding peptides upon their specific interactions with glycolipids
4th Japan-Korea Seminar on Biomolecular Science: Experiments and Simulations
2012年1月10日 (奈良) ; Session 9.

Ying Zhang, Takumi Yamaguchi, Sayoko Yamamoto, and Koichi Kato

Application of lanthanide ions for NMR characterization of oligosaccharides
SOKENDAI Asian Winter School "Basics and Frontiers in Molecular Science"
2012年1月11日 (岡崎) ; P27.

Hirokazu Yagi and Koichi Kato

Identification of specific N-glycans expressed on the nervous systems by HPLC mapping method
GCOE International Symposium 2012年1月11日 (名古屋)

矢木真穂 【招待講演】

920MHz NMR で探る神経変性疾患の分子メカニズム
コア SSH 教員研修「NMR の原理と応用」 2012年2月4日 (岡崎)

Koichi Kato 【招待講演】

Structural Basis for Improved Efficacy of Therapeutic Antibodies by Engineering of their Fc Glycans
Antibodies Asia 2012 2012年2月22日 (Shanghai)

神谷由紀子

糖タンパク質の細胞内運命決定メカニズム
JST-CREST ナノ界面技術の基盤構築「自己組織化有限ナノ界面の化学」
藤田研加藤(晃)研合同セミナー 2012年3月1日 (東京)

山本さよこ

常磁性 NMR と分子動力学計算を用いた糖鎖の動的立体構造解析

JST-CREST ナノ界面技術の基盤構築「自己組織化有限ナノ界面の化学」
藤田研加藤(晃)研合同セミナー 2012年3月1日(東京)

矢木真穂

GM1 クラスターを舞台とするアミロイド β の重合開始機構の解明

JST-CREST ナノ界面技術の基盤構築「自己組織化有限ナノ界面の化学」
藤田研加藤(晃)研合同セミナー 2012年3月1日(東京)

佐藤匡史

プロテアソームの超分子複合体形成に関わるタンパク質の構造と機能

JST-CREST ナノ界面技術の基盤構築「自己組織化有限ナノ界面の化学」
藤田研加藤(晃)研合同セミナー 2012年3月1日(東京)

稲垣宏弥, 神谷由紀子, 植草義徳, 加藤晃一

プロテインジスルフィドイソメラーゼの活性部位のミクロ変化とドメイン間相互作用の連関
2011年度生物物理学会中部支部講演会 2011年3月19日(名古屋); T5.

雲井健太郎, 佐藤匡史, 矢木宏和, 廣本武史, 水島恒裕, 内山 進, 野田勝紀, 村田和義,
神谷由紀子, 加藤晃一

古細菌タンパク質 PbaB によるプロテアソーム活性化機構の構造基盤

2011年度生物物理学会中部支部講演会 2011年3月19日(名古屋); T6.

吉正 泰, 藤田大士, 佐藤宗太, 矢木真穂, 加藤晃一, 藤田 誠

セラミド鎖を切断したガングリオシド GM1 の自己組織化による精密クラスター形成

日本化学会 第92春季年会 2012年3月25日(横浜); 1M2-27.

藤田大士, 鈴木康介, 佐藤宗太, 矢木真穂, 佐藤匡史, 栗本英治, 山口芳樹, 加藤晃一, 藤
田 誠

自己組織化球状錯体へのタンパク質の内包

日本化学会 第92春季年会 2012年3月25日(横浜); 1M4-31.

山口拓実, 山本さよこ, Erdélyi Máté, Griesinger Christian, 加藤晃一【講演賞】

常磁性効果を応用した糖鎖の NMR 立体構造解析法の開発

日本化学会 第92春季年会 2012年3月26日(横浜); 2D3-08.

Zhang Ying, 山本さよこ, 山口拓実, 加藤晃一

NMR によるダイナミクス解析のためのガングリオシド糖鎖の常磁性タグ修飾

日本化学会 第92春季年会 2012年3月26日(横浜); 2D3-10.

植草義徳, 加藤晃一

NMR を用いたガングリオシドの糖鎖間相互作用解析

日本化学会 第92春季年会 2012年3月26日(横浜); 2D3-18.

宇野 剛, 矢木真穂, 山口拓実, 加藤晃一

糖脂質含有バイセルを用いたガングリオシドと α -シヌクレインとの NMR 相互作用解析

日本化学会 第92春季年会 2012年3月26日(横浜); 2D3-19.

神谷由紀子, 住吉 晃, 植草義徳, 鈴木 匡, 加藤晃一

小胞体関連分解に関わる脱糖鎖酵素は PUB ドメインを介してユビキチンおよびユビキチン様ドメインと結合する

日本薬学会 第 132 年会 2012 年 3 月 29 日 (札幌); 29E22-am02.

矢木宏和, 齋藤拓也, 柳澤 亮, Robert YU, 加藤晃一

神経幹細胞に発現している LewisX 型糖鎖は Notch シグナル経路を介して幹細胞性の維持に関与している

日本薬学会 第 132 年会 2012 年 3 月 29 日 (札幌); 29E20-am04.

矢木真穂, Pornthip Boonsri, 山口芳樹, 加藤晃一

安定同位体 NMR 法を用いたザルコトキシシン IA とリポド A との相互作用解析

日本薬学会 第 132 年会 2012 年 3 月 29 日 (札幌); 29E21-am01.

廣本武史, 矢木真穂, 植草義徳, 佐藤匡史, 水島恒裕, 佐伯 泰, 田中啓二, 加藤晃一

プロテアソームの 19S 複合体基底部の形成を介助するシャペロン分子 Nas2 の構造生物学研究

日本薬学会 第 132 年会 2012 年 3 月 30 日 (札幌); 30E10-pm19.

佐藤匡史, 雲井健太郎, 矢木宏和, 廣本武史, 水島恒裕, 内山 進, 野田勝紀, 村田和義, 神谷由紀子, 加藤晃一

新規プロテアソーム活性化因子 PbaB の構造生物学研究

日本薬学会 第 132 年会 2012 年 3 月 30 日 (札幌); 30E10-pm20.

栗本英治, 遠田 宙, 神谷由紀子, 野田勝紀, 内山 進, 小林祐次, 加藤晃一

酵母輸送タンパク質 Emp46p/47p のコイルドコイル領域を介した多量体形成・解離機構の解明

日本薬学会 第 132 年会 2012 年 3 月 30 日 (札幌); 30P2-am077.

大澤宏祐, 吉田将人, 高木基樹, 広川貴次, 植草義徳, 加藤晃一, 新家一男, 夏目 徹, 土井隆行

Thielocin B1 による 20S プロテアソーム形成促進因子 PAC3 ホモダイマー形成阻害機構の解明研究

日本薬学会 第 132 年会 2012 年 3 月 31 日 (札幌); 31E04-pm10S.

植草義徳, Sandro Sonnino, 加藤晃一

920MHz NMR を用いたガングリオシド糖鎖間相互作用の解析

文部科学省 先端研究施設共用イノベーション創出事業ナノテクノロジー・ネットワーク
中部地区ナノテク総合支援：ナノ材料創製加工と先端機器分析「平成 23 年度成果報告会」

2012 年 3 月 31 日 (岡崎); P24.

佐藤匡史【依頼講演】

創薬と構造生物学

名古屋市立大学薬友会特別講演会 2012 年 4 月 21 日 (名古屋)

Koichi Kato【依頼講演】

A molecular science approach for elucidating biological functions of sugar chains

糖鎖機能解明への分子科学的アプローチ

雲井健太郎, 佐藤匡史, 廣本武史, 水島恒裕, 神谷由紀子, 野田勝紀, 内山 進, 村田和義, 矢木宏和, 加藤晃一

古細菌タンパク質 PbaB による ATP 非依存的プロテアソーム活性化機構の構造基盤

第76回 日本生化学会 中部支部例会・シンポジウム 2012年5月26日(岡崎); P23.

中倉真之, 堺谷祐太, 大海雄介, 近藤裕史, 西尾洋介, 増田達也, 矢木宏和, 加藤晃一, 古川鋼一, 岡島徹也

マウス O-GlcNAc 転移酵素遺伝子 Eogt のクローニングと遺伝子欠損マウスの作成

第76回 日本生化学会 中部支部例会・シンポジウム 2012年5月26日(岡崎); P32.

齋藤拓也, 矢木宏和, 柳澤 亮, Robert K. Yu, 加藤晃一

神経幹細胞における Lewis X 型糖鎖の Notch 経路を介した幹細胞性の維持

第76回 日本生化学会 中部支部例会・シンポジウム 2012年5月26日(岡崎); P45.

矢木宏和, 石本和大, 廣本武史, 藤田宏明, 水島恒裕, 植草義徳, 矢木真穂, 栗本英治, 野田勝紀, 内山 進, 徳永文稔, 岩井一宏, 加藤晃一

非典型的な UBA-UBL 相互作用が介在する直鎖状ポリユビキチン鎖を生成する E3 リガーゼ複合体

第76回 日本生化学会 中部支部例会・シンポジウム 2012年5月26日(岡崎); P61.

Takeshi Yoshimura, Mai Narumi, Hirokazu Yagi, Kunio Kitamura, Jan Sedzik, Koichi Kato, and Kazuhiro Ikenaka

Analysis of N-glycans on mouse myelin protein zero

第76回 日本生化学会 中部支部例会・シンポジウム 2012年5月26日(岡崎); P65.

山口拓実, Zhang Ying, 山本さよこ, 加藤晃一

常磁性 NMR 分光法と分子動力学計算を組み合わせた糖鎖の動的立体構造解析

第39回 生体分子科学討論会 2012年6月9日(仙台); 口頭 22.

加藤晃一, 矢木宏和, 神谷由紀子, 佐藤匡史【ワークショップ】【招待講演】

タンパク質の機能拡張子としての糖鎖を観る

Structural observations on sugar chains as protein extensions for functional promotion

第12回 日本蛋白質科学会年会 2012年6月20日(名古屋); 1WB-1.

蜷川 暁, 住友嘉樹, 堀本 賢, 神谷由紀子, 岡田徹也, 武田俊一, 加藤晃一, 森 和俊

【ワークショップ】

ERAD 因子 EDEMs は、小胞体におけるメジャーなマンノシダーゼである ~ニワトリ DT40 細胞を用いた EDEM1/2/3 トリプル KO 細胞の解析~

Triple KO of the ERAD components EDEM1/2/3 in chicken cells identifies EDEMs as major a-mannosidases in the ER.

第12回 日本蛋白質科学会年会 2012年6月21日(名古屋); 2WG-5.

高木賢治, 金 相佑, 加藤晃一, 田中啓二, 佐伯 泰, 水島恒裕【ポスター賞】

プロテアソーム 19S 制御因子複合体形成シャペロン Hsm3 の構造解析

Structural analysis of Hsm3, a proteasome dedicated chaperone for the assembly of 19S regulatory particle

第 12 回 日本蛋白質科学会年会 2012 年 6 月 20 日 (名古屋); 1P-011.

雲井健太郎, 佐藤匡史, 矢木宏和, 廣本武史, 水島恒裕, 内山 進, 野田勝紀, 村田和義,
神谷由紀子, 加藤晃一【ポスター賞】

新規プロテアソーム活性化因子 PbaB の構造と機能

Structure and function of a novel proteasome activator PbaB

第 12 回 日本蛋白質科学会年会 2012 年 6 月 20 日 (名古屋); 1P-013.

矢木宏和, 石本和大, 廣本武史, 藤田宏明, 水島恒裕, 植草義徳, 矢木真穂, 栗本英治, 野
田勝紀, 内山 進, 徳永文稔, 岩井一宏, 加藤晃一

直鎖状ポリユビキチン鎖形成を担う E3 リガーゼ複合体における非典型的な UBA-UBL 相互
作用

Non-canonical UBA-UBL interaction mediates formation of linear ubiquitin chain assembly complex

第 12 回 日本蛋白質科学会年会 2012 年 6 月 20 日 (名古屋); 1P-036.

矢木宏和

異なる細胞で発現させた IgY の糖鎖プロファイリング

平成 24 年度 比較グライコーム研究会 2012 年 6 月 23 日 (名古屋); S7.

Koichi Kato【招待講演】

Structural glycomics approaches for characterization of biotherapeutics and their application to atomic
anatomy of antibodies

BioChina 2012 2012 年 6 月 27 日 (Shanghai)

山口拓実【依頼講演】

NMR を用いた糖鎖の動的立体構造解析

分子研若手の会 2012 年 7 月 6 日 (岡崎)

加藤晃一, 杉山正明

重水素化標識を用いたタンパク質複合体の 4 次構造ダイナミクスの研究

J-PARC プロジェクト課題「生体高分子の構造-ダイナミクス相関の解析」キックオフ会議

2012 年 7 月 19 日 (東海村)

Ying Zhang, Takumi Yamaguchi, Sayoko Yamamoto, and Koichi Kato

Oligosaccharide conformational dynamics analyses by using PCS in conjunction with MD simulation

The 26th International Carbohydrate Symposium (ICS2012) 2012 年 7 月 23 日 (Madrid); #F40.

Yoshinori Uekusa, Sandro Sonnino, and Koichi Kato

NMR analysis of specific carbohydrate-carbohydrate interaction between gangliosides

The 26th International Carbohydrate Symposium (ICS2012) 2012 年 7 月 25 日 (Madrid); #O108.

矢木宏和

神経系におけるキシロース含有 N 型糖鎖の高次機能およびその分子基盤の解明

新学術領域研究「統合的神経機能の制御を標的とした糖鎖の作動原理解明」

第 3 回 非公開領域班会議 2012 年 7 月 25 日 (仙台)

Koichi Kato【招待講演】

Structural views of carbohydrate-protein interaction systems as potential therapeutic targets
The 26th International Carbohydrate Symposium (ICS2012)
2012年7月26日 (Madrid) ; #INV53.

矢木宏和, 齋藤拓也, 加藤晃一

多次元 HPLC マップ法の神経系における糖鎖プロファイリングへの応用
包括型脳科学研究推進支援ネットワーク 夏のワークショップ
2012年7月26日 (仙台) ; 門松-09(A25).

加藤晃一【依頼講演】

NMR を利用したタンパク質・複合糖質の揺らぎの検出とその機能関連の探査
新学術領域「揺らぎと生体機能」平成24年度合同会議 2012年7月30日 (作並)

Soichiro Kitazawa, Tomoshi Kameda, Maho Yagi-Utsumi, Kenji Sugase, Koichi Kato, and Ryo Kitahara

NOE-derived solution structure of the high-energy open conformer N₂ of ubiquitin
XXVth ICMRBS 2012年8月19-24日 (Lyon)

Ryo Kitahara, Soichiro Kitazawa, Maho Yagi-Utsumi, Nicky Baxter, Mike Williamson, and Koichi Kato

Conformational fluctuation of ubiquitin probed by perturbation with pressure and mutation
XXVth ICMRBS 2012年8月19-24日 (Lyon)

矢木宏和, 齋藤拓也, Robert K. Yu, 加藤晃一

神経幹細胞における N 型糖鎖による幹細胞性維持機構の解明
糖鎖科学中部拠点 第10回「若手の力」フォーラム 2012年9月6日 (静岡) ; O-5(B).

中倉真之, 堺谷祐太, 大海雄介, 近藤裕史, 西尾洋介, 増田達也, 矢木宏和, 加藤晃一, 古川鋼一, 岡島徹也

マウス O-GlcNAc 転移酵素遺伝子 Eogt1 のクローニングと遺伝子欠損マウスの作製
糖鎖科学中部拠点 第10回「若手の力」フォーラム 2012年9月6日 (静岡) ; P-4.

植草義徳, 加藤晃一

NMR を利用したガングリオシド糖鎖間相互作用の観測
糖鎖科学中部拠点 第10回「若手の力」フォーラム. 2012年9月6日 (静岡) ; P-18

Koichi Kato【招待講演】

High Resolution Analysis of Protein Glycosylation
日本製薬工業協会 バイオ医薬品委員会 2012年9月7日 (東京)

加藤晃一【招待講演】

ATP 非依存性シャペロンの構造ダイナミクスと機能発現メカニズム
新学術領域「揺らぎと生体機能」「水和と ATP」合同公開シンポジウム.
「ゆらぎと水-生命のエネルギーと分子機構を探る」 2012年9月14日 (大阪) ; L06.

山口拓実, Zhang Ying, 山本さよこ, 亀田倫史, 加藤晃一

分子動力学計算と常磁性 NMR 法による糖鎖の立体構造揺らぎの評価

新学術領域「揺らぎと生体機能」「水和と ATP」合同公開シンポジウム.
「ゆらぎと水-生命のエネルギーと分子機構を探る」 2012年9月14日(大阪); P03.

北原 亮, 北沢創一郎, 亀田倫史, 矢木-内海真穂, 菅瀬謙治, Nicky Baxtar, Michael P. Williamson, 加藤晃一

蛋白質の高エネルギー構造の合理的設計と立体構造解析: ユビキチン

新学術領域「揺らぎと生体機能」「水和と ATP」合同公開シンポジウム.
「ゆらぎと水-生命のエネルギーと分子機構を探る」 2012年9月14日(大阪); P08.

佐藤匡史【奨励賞受賞者講演】

糖タンパク質の輸送と分解に関わる細胞内レクチンの構造生物学研究

第31回 日本糖質学会年会 2012年9月19日(鹿児島)

岡島徹也, 中倉真之, 堺谷祐太, 大海雄介, 近藤裕史, 西尾洋介, 増田達也, 矢木宏和, 加藤晃一, 古川鋼一

新規 O-GlcNAc 転移酵素遺伝子 Eogt のクローニングと機能解析

第31回 日本糖質学会年会 2012年9月20日(鹿児島); A4-10.

柳 浩太郎, 神谷由紀子, 千葉靖典, 喜多島敏彦, 地神芳文, 加藤晃一

超高磁場 NMR 法を用いた高マンノース型糖鎖の構造解析

第31回 日本糖質学会年会 2012年9月18日(鹿児島); P-093.

植草義徳, 加藤晃一

NMR 法を用いたガングリオ複合体における特異的な糖質間相互作用の解析

第31回 日本糖質学会年会 2012年9月19日(鹿児島); P-094.

山口拓実, Zhang Ying, 山本さよこ, 亀田倫史, Erdélyi Máté, Griesinger Christian, 加藤晃一【ポスター賞】

常磁性 NMR 法による糖鎖の動的立体構造解析

第31回 日本糖質学会年会 2012年9月18日(鹿児島); P-095.

近藤幸子, 矢木宏和, 神谷由紀子, 伊藤彰彦, 久原基樹, 工藤綾子, 高橋禮子, 加藤晃一
異なる産生細胞により発現させたニワトリ IgY の N 型糖鎖プロファイル

第31回 日本糖質学会年会 2012年9月18日(鹿児島); P-099.

矢木宏和, 齋藤拓也, Robert K. Yu, 加藤晃一【ポスター賞】

神経幹細胞の幹細胞性維持における N 型糖鎖の機能解明

第31回 日本糖質学会年会 2012年9月18日(鹿児島); P-103.

矢木真穂, Pornthip Boonsri, 山口芳樹, 加藤晃一

NMR 法を用いたザルコトキシニン IA とリピド A との相互作用解析

第31回 日本糖質学会年会 2012年9月18日(鹿児島); P-105.

Kouya Inagaki, Yoshinori Uekusa, Yukiko Kamiya, Tadashi Satoh, and Koichi Kato

酸化還元状態に依存してプロテインジスルフィドイソメラーゼの基質結合部位ドメインの空間配置が変化する仕組み

Molecular mechanism of redox-dependent domain rearrangement of the substrate-binding region of

protein disulfide isomerase

第 50 回 日本生物物理学会年会 2012 年 9 月 22 日 (名古屋) ; 1B1436.

Mahesh Chandak, Takashi Nakamura, Koki Makabe, Toshio Takenaka, Jin Chen, Koichi Kato, and Kunihiro Kuwajima

HD-exchange motion of free heptameric GroES studied by the use of TROSY and DMSO quenching followed by 2D NMR

第 50 回 日本生物物理学会年会 2012 年 9 月 22 日 (名古屋) ; 1B1412.

Soichiro Kitazawa, Tomoshi Kameda, Maho Yagi, Kenji Sugase, Nicky Baxter, Koichi Kato, Michael P. Williamson, and Ryo Kitahara

Solution structure of the alternatively folded state of ubiquitin

第 50 回 日本生物物理学会年会 2012 年 9 月 22 日 (名古屋) ; 1PT112.

加藤晃一【招待講演】

糖鎖改変による抗体医薬の機能向上の構造基盤

第 4 回 糖鎖科学中部拠点研究会 2012 年 10 月 2 日 (名古屋)

矢木真穂【招待講演】

アミロイドβの構造転移と分子間相互作用

大阪大学蛋白質研究所セミナー・包括脳ネットワーク研究会
「第 3 回神経科学と構造生物学の融合研究会」 2012 年 10 月 5 日 (大阪) ; O-12.

Koichi Kato【招待講演】

Structural biology of post-translational modifications of proteins

Seminar in Department of Biochemistry Yonsei University 2012 年 10 月 10 日 (Yonsei)

Koichi Kato【招待講演】

NMR of glycoproteins

Pharmaceutical NMR Lecture Series in Osaka 2012 年 10 月 25 日 (大阪)

Maho Yagi-Utsumi, Pornthip Boonsri, Yoshiki Yamaguchi, and Koichi Kato

NMR analyses of the conformational transition of the antibacterial peptide sarcotoxin IA interacting with lipid A

4th Asian Communications of Glycobiology and Glycotechnology (ACGG 2012 Conference)
2012 年 10 月 29 日 (Jeju) ; pp-4.

Ying Zhang, Takumi Yamaguchi, Sayoko Yamamoto, Yoshinori Uekusa, and Koichi Kato

Paramagnetic-assisted NMR analyses of conformational dynamics of gangliosides

4th Asian Communications of Glycobiology and Glycotechnology (ACGG 2012 Conference)
2012 年 10 月 29 日 (Jeju) ; pp-9.

Kotaro Yanagi, Yukiko Kamiya, Toshihiko Kitajima, Takumi Yamaguchi, Yasunori Chiba, and Koichi Kato

Comparative conformational analysis of high-mannose-type oligosaccharides using high-field NMR spectroscopy combined with ¹³C-labeling technique

4th Asian Communications of Glycobiology and Glycotechnology (ACGG 2012 Conference)

2012年10月29日 (Jeju) ; pp-68.

Ryosuke Takeuchi, Sota Sato, Maho Yagi, Yoshiki Yamaguchi, Koichi Kato, and Makoto Fujita

Induction of residual dipolar coupling by aggregates of magnetically aligning self-assembled complexes

第51回 NMR 討論会 2012年11月8日 (名古屋) ; L5.

北沢創一郎, 亀田倫史, 矢木真穂, 菅瀬謙治, Nicky Baxter, 加藤晃一, Williamson Michael P, 北原 亮

ユビキチンの高エネルギー状態 N2 の立体構造解明

Solution structure of the alternatively folded state of ubiquitin

第51回 NMR 討論会 2012年11月8日 (名古屋) ; P20.

佐藤宗太, 吉正 泰, 藤田大士, 矢木真穂, 加藤晃一, 藤田 誠

GM-1 ガングリオシドがクラスター化したナノ表面の自己組織化

Self-Assembly of Nano-Surface Decolored with Ganglioside GM-1 Clusters

第51回 NMR 討論会 2012年11月10日 (名古屋) ; P55.

山口拓実, Zhang Ying, 山本さよこ, 亀田倫史, 加藤晃一

常磁性効果を応用した糖鎖の動的立体構造解析

Paramagnetic-tagging approaches for exploring conformational dynamics of oligosaccharides

第51回 NMR 討論会 2012年11月10日 (名古屋) ; P59.

矢木真穂, 山口拓実, 植草義徳, 加藤晃一

NMR 法による神経変性疾患関連タンパク質とガングリオシドクラスターとの相互作用解析

第34回 生体膜と薬物の相互作用シンポジウム 2012年11月16日 (京都) ; B19.

Takumi Yamaguchi, Ying Zhang, and Koichi Kato

NMR spectroscopic approaches to the conformational dynamics of oligosaccharides by paramagnetic tagging

The First International Symposium on Biofunctional Chemistry (ISBC2012)

2012年11月28-29日 (東京) ; P51.

Koichi Kato 【招待講演】

Conformational dynamics and interactions of glycoconjugates of therapeutic interest

Commemorative Symposium on the 20th Anniversary of the Mizutani Foundation for Glycoscience

2012年11月29日 (東京)

加藤晃一 【招待講演】

複合糖質の構造生物学：創薬標的としての糖鎖

第40回 構造活性相関シンポジウム 2012年11月30日 (岡崎) ; KI02.

矢木宏和 【招待講演】

HPLCによる糖鎖の構造解析およびバリデーションの方法

技術情報協会セミナー「バイオ/抗体医薬品の各種分析手法とバリデーション」

2012年11月30日 (東京)

Koichi Kato 【招待講演】

High Resolution Analysis of Protein Glycosylation

CASSS CMC Strategy Forum Japan 2012 2012年12月4日 (東京)

佐藤匡史 【依頼講演】

糖タンパク質の運命を決める細胞内レクチンの糖鎖認識メカニズムを“見る”

糖鎖科学中部拠点「糖鎖科学講義」 2012年12月4日 (名古屋)

Koichi Kato 【招待講演】

NMR characterization of conformational fluctuations of oligosaccharides and glycoconjugates

The 6th International Symposium, Molecular Science of Fluctuations toward Biological Functions

2012年12月5日 (京都) ; L02.

Soichirou Kitazawa, Tomoshi Kameda, Maho Yagi, Kenji Sugase, Nicky Baxter, Koichi Kato, Williamson Michael P., and Ryo Kitahara

Solution structure of the alternatively folded state of ubiquitin

The 6th International Symposium, Molecular Science of Fluctuations toward Biological Functions

2012年12月5日 (京都) ; P015.

Tomoko Kuniyama, Maho Yagi-Utsumi, Takashi Nakamura, Kunihiro Kuwajima, and Koichi Kato

Multiple binding models in molecular recognition process of GroEL as studied by NMR spectroscopy

The 6th International Symposium, Molecular Science of Fluctuations toward Biological Functions

2012年12月5日 (京都) ; P017.

Kouya Inagaki, Yoshinori Uekusa, Yukiko Kamiya, Tadashi Satoh, and Koichi Kato

Redox-dependent conformational dynamics of protein disulfide isomerase coupled with exposure of its substrate binding region

The 6th International Symposium, Molecular Science of Fluctuations toward Biological Functions

2012年12月6日 (京都) ; P012.

Yoshinori Uekusa, Ying Zhang, Kotaro Yanagi, Takumi Yamaguchi, and Koichi Kato

Conformations, dynamics, and interactions of sugar chains as studied by NMR spectroscopy

The 6th International Symposium, Molecular Science of Fluctuations toward Biological Functions

2012年12月6日 (京都) ; P016.

Mahesh S. Chandak, Takashi Nakamura, Koki Makabe, Toshio Takenaka, Jin Chen, Koichi Kato, and Kunihiro Kuwajima

Hydrogen-deuterium (H/D) exchange studies on free GroES and the GroEL-SR1-ADP chaperonin complex

The 6th International Symposium, Molecular Science of Fluctuations toward Biological Functions

2012年12月6日 (京都) ; P084.

Ying Zhang, Takumi Yamaguchi, Sayoko Yamamoto, and Koichi Kato

Characterization of conformational dynamics of branched oligosaccharides by using paramagnetic NMR techniques

9th SOKENDAI Student Seminar (Life Science Retreat 2012) 2012 年 12 月 6 日 (静岡) ; B28.

加藤晃一【招待講演】

生体分子の自己組織化プロセスの精密構造解析

CREST「ナノ界面技術の基盤構築」研究領域第2回公開シンポジウム
「ナノ界面が生み出す次世代機能」. 2012 年 12 月 10 日 (東京)

佐藤匡史【依頼講演】

糖タンパク質の運命を決定する細胞内レクチンの糖鎖認識メカニズムの構造基盤

第 134 回 薬学談話会 2012 年 12 月 12 日 (名古屋)

矢木宏和, 斉藤拓也, Yu K. Robert, 加藤晃一【依頼講演】

LewisX 構造を有する N 型糖鎖は Notch シグナル経路を介して神経幹細胞の増殖を制御している

第 35 回 日本分子生物学会年会 2012 年 12 月 13 日 (福岡) ; 3W9I-3.

加藤晃一【招待講演】

複合糖質の立体構造・ダイナミクス・相互作用

第 85 回 日本生化学会大会 2012 年 12 月 14 日 (福岡) ; 1S01.

【分子生物薬学分野】

(原報)

Masae Ohno, Mayu Fujita, Makoto Nishizuka, Shigehiro Osada, and Masayoshi Imagawa.
Interactions of thyroid hormone receptor with Ku proteins and interleukin enhancer-binding factor 3 modulate the promoter activity of thyroid-stimulating hormone alpha.

Biol. Pharm. Bull., **35**, 380-384 (2012).

Shigehiro Osada, Kiyoto Kageyama, Yuji Ohnishi, Jun-ich Nishikawa, Tsutomu Nishihara, and Masayoshi Imagawa.

Inositol phosphate kinase Vip1p interacts with histone chaperone Asf1p in *Saccharomyces cerevisiae*.

Mol. Biol. Rep., **39**, 4989-4996 (2012).

(総説・著書・総合論文など)

今川正良

アミノ酸とタンパク質の構造と機能、およびタンパク質解析の基礎技術

「ベーシック薬学教科書シリーズ8 生化学」中西義信編, 化学同人 pp45-70, (2012).

今川正良

脂肪細胞と肥満

「新しい薬学辞典」笠原忠、木津純子、諏訪俊男編, 朝倉書店 pp88-91, (2012).

長田茂宏

がんと転写因子

「がん増殖と悪性化の分子機構」宮澤恵二・伊東進編, 化学同人 pp93-102, (2012).

(学会発表)

岸本圭史, 加藤愛友美, 長田茂宏, 西塚誠, 今川正良

脂肪細胞分化に重要な *fad104* の骨形成における役割

第 132 年会 日本薬学会 2012 年 3 月 29 日 (札幌) ; 29E19-am12S.

新海大智, 小松浩大, 今川正良, 長田茂宏

肝化学発がん過程で発現上昇するヒストンバリエント H2A.Z のプロモーター解析

第 132 年会 日本薬学会 2012 年 3 月 29 日 (札幌) ; 29E13-pm12S.

加藤大輝, 西塚誠, 岸本圭史, 長田茂宏, 今川正良

新規遺伝子 *fad104* が癌細胞の移動および浸潤能に与える影響の解析

第 132 年会 日本薬学会 2012 年 3 月 30 日 (札幌) ; 30E19-am05S.

落合なつき, 桐村拓也, 長田茂宏, 西塚誠, 今川正良

脂肪細胞分化制御因子 *fad24* がマウスの胚発生において担う機能の解析

第 132 年会 日本薬学会 2012 年 3 月 30 日 (札幌) ; 30E03-am14S.

今川正良【依頼講演】

肥満のサイエンス～脂肪は善玉か悪玉か～

第21回千葉大学大学院薬学研究院・薬友会生涯教育セミナー「くすりと健康」
千葉大学薬学部120周年記念講堂 2012年7月21日（千葉）

今川正良【依頼講演】

肥満のサイエンス～脂肪は善玉か悪玉か～

名古屋中小企業振興会青年経営研究会講演会 2012年9月14日（名古屋）

加藤大輝, 西塚誠, 岸本圭史, 長田茂宏, 今川正良

癌細胞の移動・浸潤における新規遺伝子 fad104 の役割

第11回次世代を担う若手ファーマ・バイオフィォーラム 2012年9月15日（福岡）; B14.

今川正良【依頼講演】

肥満のサイエンス～脂肪は善玉か悪玉か～

刈谷高等学校平成24年度大学模擬授業 2012年9月28日（名古屋）

今川正良【依頼講演】

肥満のサイエンス～脂肪は善玉か悪玉か～

名古屋市立大学薬学部 第62回薬学祭 2012年10月28日（名古屋）

桐村拓也, 落合なつき, 長田茂宏, 西塚誠, 今川正良

FAD24 の細胞内局在の検討

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会 2012
2012年11月18日（岐阜）; D-04.

山田博久, 長田茂宏, 西塚誠, 今川正良

ノックアウトマウスを用いた TCL/TC10βL の機能解析

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会 2012
2012年11月18日（岐阜）; D-05.

若林まい, 浅野真美, 長田茂宏, 西塚誠, 今川正良

脂肪細胞分化過程における KCNK2 の機能解析

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会 2012
2012年11月18日（岐阜）; D-06.

新海大智, 小松浩大, 今川正良, 長田茂宏

ラット肝がん細胞株を用いたヒストンバリエント H2A.Z のプロモーター解析

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会 2012
2012年11月18日（岐阜）; D-07.

落合なつき, 桐村拓也, 長田茂宏, 西塚誠, 今川正良

脂肪細胞分化制御因子 fad24 はマウスの胚発生に必須である

第85回 日本生化学会大会 2012年12月16日（福岡）; 3T02-04, 3P-662.

Keishi Kishimoto, Makoto Nishizuka, Daiki Katoh, Shigehiro Osada, and Masayoshi Imagawa
The role of *fad104*, a regulator of adipogenesis, in calvarial bone formation through BMP/Smad signaling.

2012 American Society Cell Biology (ASCB) Annual Meeting
2012年12月16日 (San Francisco) ; B1221.

Daiki Katoh, Makoto Nishizuka, Keishi Kishimoto, Shigehiro Osada, and Masayoshi Imagawa
The role of novel gene *fad104* in migration and invasion of cancer cells.

2012 American Society Cell Biology (ASCB) Annual Meeting
2012年12月18日 (San Francisco) ; B1405.

【薬物送達学分野】

(原報)

Tetsuya Ozeki, Yusuke Akiyama, Norimitsu Takahashi, Tatsuaki Tagami, Toshiyuki Tanaka, Masashi Fujii, and Hiroaki Okada.

Development of Novel and Customizable Two-Solution Mixing Type Nozzle for One-step Preparation of Nanoparticle-containing Microparticles.

Biol. Pharm. Bull., **35**(11), 1926-1931(2012).

Tetsuo Ogata, Atsuo Koide, Masahiro Kinoshita, and Tetsuya Ozeki.

Taste masking of propiverine hydrochloride by conversion to its free base.

Chem. Pharm. Bull., **60**(8), 976-984 (2012).

Tetsuya Ozeki¹, Yoshihito Kano, Norimitsu Takahashi, Tatsuaki Tagami, and Hiroaki Okada.

Improved bioavailability of a water-insoluble drug by inhalation of drug-containing maltosyl- β -cyclodextrin microspheres using a four-fluid nozzle spray drier.

AAPS PharmSciTech, **13**(4), December 1130-1137(2012).

Yukiko Nishino, Takanori Kanazawa, Yuuki Takashima, Tetsuya Ozeki, and Hiroaki Okada.

Improved intestinal absorption of a poorly water-soluble oral drug using mannitol microparticles containing a nano-solid drug dispersion.

J. Pharm. Sci., **101**(11), 4191-4200(2012).

Tetsuya Ozeki, Daiki Kaneko, Kosuke Hashizawa, Yoshihiro Imai, Tatsuaki Tagami, and Hiroaki Okada.

Combination therapy of surgical tumor resection with implantation of a hydrogel containing camptothecin-loaded PLGA microspheres in a C6 rat glioma model.

Biol. Pharm. Bull., **35**(4), 545-550(2012).

Tetsuya Ozeki, Daiki Kaneko, Kosuke Hashizawa, Yoshihiro Imai, Tatsuaki Tagami, and Hiroaki Okada.

Improvement of survival in C6 rat glioma model by a sustained drug release from localized PLGA microspheres in a thermoreversible hydrogel.

Int. J. Pharm., **427**, 299-304(2012).

(総説・著書・総合論文など)

Reza Oliyai, Marcus E. Brewster, Tetsuya Ozeki, Roger A. Rajewski and William Charman
Professor Valentino J. Stella: Scientist, mentor, entrepreneur, family man, and giant in pharmaceutical chemistry

J. Pharm. Sci., **101**(9), 2989-2995(2012).

田上辰秋、尾関哲也

多機能型温度感受性リポソームによる癌の個別化治療を目指した新規治療様式の開発

製剤機械技術学会誌, **21**(2), 5-11(2012).

田上辰秋、尾関哲也

リポソーム技術の進歩と温熱感受性リポソームに関する最近のトピック—長期血中滞留型リポソームと EPR 効果に打ち勝つための戦略—

製剤機械技術学会誌, **21**(1), 5-12(2012).

尾関哲也

経肺投与製剤フォーカスグループの活動について

薬剤学, **72**(5), 270-272(2012).

尾関哲也

アジア アーデン カンファレンス (Asian Arden Conference)

薬剤学, **72**(4), 245-246(2012).

尾関哲也

明日にかける —名古屋市立大学大学院薬学研究科 薬物送達学分野—

製剤機械技術学会誌, **21**(1), 54-58(2012).

林 正弘、尾関哲也、乾 賢一 総編集

最新薬剤学第 10 版, 廣川書店 (2012).

尾関哲也

Chap.2-4 界面とコロイド分散系

製剤学改訂第 6 版, 四ツ柳 智久、檀上 和美、山本 昌編, 南江堂 pp37-54, (2012).

Takemasa Takii, Tasuhiro Horita, Ryuji Kuroishi, Taku Chiba, Mashami Mori, Tomohiro Hasegawa, Tatsuya Ito, Tatsuaki Tagami, Tetsuya Ozeki, Saotomo Ito, and Kikuso Onozaki
Chap.11 The potential Therapeutic Usage of Dithiocarbamate Sugar Derivatives for Multi-Drug Resistant Tuberculosis

Understanding Tuberculosis - New Approaches to Fighting Against Drug Resistance,
Pere-Joan Cardona Ed., INTECH pp263-272, (2012).

(学会発表)

Tetsuya Ozeki 【Invited Lecture】 .

Functional Engineered Nano-sized Particles and Their Pharmaceutical Applications.

The 10th France-Japan DDS symposium 2012 年 10 月 11 日 (Bordeaux, France)

Tetsuya Ozeki 【Invited Lecture】 .

Nano-crystalline drug production and a novel HDL-like gold nanoparticles formulation with anti-inflammatory effect on vascular endothelial cells.

APSTJ Global Education Seminar East 2012-01 2012 年 10 月 5 日 (Mitaka, Tokyo)

尾関哲也 【招待講演】

ナノテクノロジーを利用した薬物ナノ粒子の設計と経ロデリバリー

第 28 回日本 DDS 学会学術集会 2012 年 7 月 4 日 (札幌)

尾関哲也【特別講演】

創薬を支える薬物送達システム技術

愛知県病院薬剤師会知多支部 第 147 回知多支部研修会 2012 年 6 月 6 日 (知多)

野田剛弘, 田上辰秋, 山本浩充, 川島嘉明, 尾関哲也

siRNA 含有 E-セレクトイン修飾 PLGA ナノキャリアの調製と慢性骨髄性白血病細胞株へのターゲティング

日本薬学会第 132 年会 2012 年 3 月 31 日 (札幌)

福重 香, 田上辰秋, 尾関哲也

siRNA 封入脂質ナノ粒子のヒアルロン酸被覆による細胞毒性軽減効果の検討

日本薬学会第 132 年会 2012 年 3 月 31 日 (札幌)

柳井浩志, 伊藤涼平, 田上辰秋, 尾関哲也

PEG 修飾カチオニックリポソームによるマラリア感染赤血球モデルに対するターゲティング能力の評価

日本薬学会第 132 年会 2012 年 3 月 30 日 (札幌)

田上辰秋, 羽原正秋, 安食菜穂子, 平岡正光, 池崎秀和, 尾関哲也

名古屋市立大学薬学部の製剤学実習における味覚センサー導入の試み

日本薬学会第 132 年会 2012 年 3 月 30 日 (札幌)

田上辰秋, Mark J Ernsting, Shyh-Dar Li, 尾関哲也

siRNA 封入脂質ナノ粒子のヒアルロン酸被覆による細胞毒性軽減効果の検討

日本薬学会第 132 年会 2012 年 3 月 31 日 (札幌)

新津加奈子, 西野友規子, 高島由季, 金沢貴憲, 尾関哲也, 田中俊幸, 藤井正嗣, 瀬田康生, 岡田弘晃

固溶体ナノ粒子含有マイクロスフェアによるアトルバスタチンカルシウムの溶解性と消化管吸収の促進

日本薬剤学会第 27 年会 2012 年 5 月 24 日 (神戸)

新津加奈子, 西野友規子, 高島由季, 金沢貴憲, 尾関哲也, 田中俊幸, 藤井正嗣, 瀬田康生, 岡田弘晃

固溶体ナノ粒子含有マイクロスフェアによるアトルバスタチンカルシウムの溶解性と消化管吸収の促進

日本薬剤学会第 27 年会 2012 年 5 月 24 日 (神戸)

田上辰秋, Mark J Ernsting, Shyh-Dar Li, 尾関哲也

多機能性温熱感受性リポソームによる腫瘍内薬物分布の MRI モニタリング

日本薬剤学会第 27 年会 2012 年 5 月 26 日 (神戸)

亀谷晋央, 深水啓朗, 田上辰秋, 鈴木豊史, 伴野和夫, 尾関哲也

スプレードライヤーによるアセトアミノフェン cocrystal マイクロ粒子の調製

日本薬剤学会第 27 年会 2012 年 5 月 24 日 (神戸)

高橋朋弘, 田上辰秋, 岩城壮一郎, 藤井 聡, 尾関哲也

金ナノ粒子を核とした人口 HDL ナノ粒子の調製と物性評価

日本薬剤学会第 27 年会 2012 年 5 月 24 日 (神戸)

柳井浩志, 伊藤涼平, 田上辰秋, 尾関哲也

マラリア感染赤血球モデルに対するホスファチジルセリン特異的ペプチド修飾リポソームの
ターゲティング

第 28 回日本 DDS 学会学術集会 2012 年 7 月 4 日 (札幌)

高橋朋弘, 田上辰秋, 岩城壮一郎, 藤井 聡, 尾関哲也

S1P/APOA1 搭載金ナノ粒子による血管内皮細胞に対する抗炎症効果の検討

第 28 回日本 DDS 学会学術集会 2012 年 7 月 4 日 (札幌)

田上辰秋, Shyh-Dar Li, Mark Ernsting, 尾関哲也

温熱感受性リポソーム (HaT) より腫瘍組織中に放出された治療薬物/MRI プローブの分布お
よび定量解析

第 28 回日本 DDS 学会学術集会 2012 年 7 月 5 日 (札幌)

羽倉丈史, 田上辰秋, 尾関哲也

イマチニブのリポソーム製剤化と in vitro 条件下における骨芽細胞への影響

第 57 回日本薬学会東海支部総会大会 2012 年 7 月 7 日 (静岡)

今尾ゆき乃, 田上辰秋, 尾関哲也

フェムト秒レーザーアブレーションによるクルクミンナノ粒子の調製と脳腫瘍細胞株に対す
る殺細胞効果の検討

第 57 回日本薬学会東海支部総会大会 2012 年 7 月 7 日 (静岡)

高橋朋弘, 田上辰秋, 岩城壮一郎, 藤井 聡, 尾関哲也

炎症性動脈硬化を治療標的とした抗炎症効果を示す金ナノ粒子の調製

粉体工学会 第 4 回中部談話会 2012 年 8 月 31 日 (高山)

亀谷晋央, 深水啓朗, 田上辰秋, 鈴木豊史, 伴野和夫, 尾関哲也

スプレードライヤーによるアセトアミノフェン/プロリン cocrystal の調製と評価

粉体工学会 第 4 回中部談話会 2012 年 8 月 31 日 (高山)

水迫英己, 田上辰秋, 服部憲治郎, 尾関哲也

葉酸 7 分岐修飾 β シクロデキストリン/ドキシソルビシン結合体の調製と有用性の評価

第 29 回シクロデキストリンシンポジウム 2012 年 9 月 6 日 (品川)

亀谷晋央, 酒匂川 徹, 染谷亮太, 田上辰秋, 深水啓朗, 鈴木豊史, 伴野和夫, 尾関哲也

スプレードライヤーによるアセトアミノフェン Cocrystal の調製

第 29 回製剤と粒子設計シンポジウム 2012 年 10 月 26 日 (豊橋)

尾形哲夫, 尾関哲也

2 液混合型スプレードライヤーを用いたプロピペリン塩酸塩の苦味マスキング製剤の設計

第 29 回製剤と粒子設計シンポジウム 2012 年 10 月 26 日 (豊橋)

田上辰秋, 羽倉文史, 尾関哲也

イマチニブ封入リポソーム製剤の開発と骨芽・破骨前駆細胞に対する骨形成効果
創剤フォーラム第18回若手研究会 2012年11月17日 (徳島)

田上辰秋, 柳井浩志, 伊藤涼平, 尾関哲也

Development of liposomal drug delivery system against malaria-infected erythrocyte using phosphatidylserine-exposed erythrocytes
第6回次世代を担う若手医療薬科学シンポジウム 2012年11月24日 (京都)

Toshiro Fukami, Tatsuaki Tagami, Toyofumi Suzuki, Tetsuya Ozeki and Kazuo Tomono.
Effect of Ambient Temperature on Formulation of Paracetamol Cocrystals During Temperature Controlled Cogrounding Process.

8th World Meeting on Pharmaceutics, Biopharmaceutics and Pharmaceutical Technology
2012年3月20日 (Istanbul, Turkey)

Tatsuaki Tagami, Rhohei Ito, Hiroshi Yanai and Tetsuya Ozeki.

Simple and Effective Targeting for Programmed Erythrocyte Death by using Cationic Liposomes.
Controlled Release Society (CRS) Annual Meeting 2012年7月16日 (Quebec City, Canada)

Tomohiro Takahashi, Tatsuaki Tagami, Soichiro Iwaki, Satoshi Fujii and Tetsuya Ozeki.

A Novel HDL-like Gold Nanoparticles Formulation with Anti-inflammatory Effect on Vascular Endothelial Cells.
2012 American Association of Pharmaceutical Scientists (AAPS) Annual Meeting 2012年10月16日
(Chicago, USA)

Tetsuya Ozeki, Midori Nishio, Tatsuaki Tagami.

Preparation and Characterization of Simvastatin Nano-composite Produced by a Novel Two-solution Mixing Type Spray Nozzle.
2012 American Association of Pharmaceutical Scientists (AAPS) Annual Meeting 2012年10月17日
(Chicago, USA)

Tatsuaki Tagami, Hiroshi Yanai, Tetsuya Ozeki.

Development of Eryptosis-targeted Peptide-conjugated Liposomes for Novel Drug Delivery System of Malaria.
2012 American Association of Pharmaceutical Scientists (AAPS) Annual Meeting 2012年10月17日
(Chicago, USA)

【生薬学分野】

(原報)

Mai Nagatoshi, Kazuyoshi Terasaka, Miki Owaki, Makiko Sota, Tatsunori Inukai, Akito Nagatsu, Hajime Mizukami

UGT75L6 and UGT94E5 mediate sequential glucosylation of crocetin to crocin in *Gardenia jasminoides*

FEBS Letters **586**(7): 1055-1061 (2012).

Fan Bai, Toshiaki Makino, Takahiko Ono, Hajime Mizukami

Anti-hypertensive effects of shichimotsukokato in 5/6 nephrectomized Wistar rats mediated by DDAH-ADMA-NO pathway

J. Nat. Med. **66**(4): 583-590 (2012).

Toshiaki Makino, Kyoko Okajima, Rie Uebayashi, Nobuhiro Ohtake, Katsuhisa Inoue, Hajime Mizukami

3-Monoglucuronyl-glycyrrhretinic acid is a substrate of organic anion transporters expressed in tubular epithelial cells and plays important roles in licorice-induced pseudoaldosteronism by inhibiting 11 β -hydroxysteroid dehydrogenase 2

J. Pharmacol. Exp. Ther. **342**(2): 297-304 (2012).

Yasuhiro Horita, Takemasa Takii, Tetsuya Yagi, Kenji Ogawa, Nagatoshi Fujiwara, Emi Inagaki, Laurent Kremer, Yasuo Sato, Ryuji Kuroishi, YooSa Lee, Toshiaki Makino, Hajime Mizukami, Tomohiro Hasegawa, Ryuji Yamamoto, Kikuo Onozaki

Anti-tubercular activity of disulfiram, an anti-alcoholism drug, against multi-drug and extensively drug-resistant *Mycobacterium tuberculosis* isolates

Antimicrob. Agents Chemother. **56**(8): 4140-4145 (2012).

Jialin Qu, Jie Gao, Jiahong Sun, Lin Zhang, Toshiaki Makino, Dan Yuan

Pharmacokinetics of conjugated metabolites in rat plasma after oral administration of tectoridin

J. Chromatogr. B **902**(1): 61-69 (2012).

Yoshihisa Kamimoto, Kazuyoshi Terasaka, Masafumi Hamamoto, Kojiro Takanashi, Shoju Fukuda, Nobukazu Shitan, Akifumi Sugiyama, Hideyuki Suzuki, Daisuke Shibata, Bangjun Wang, Stephan Pollmann, Markus Geisler, Kazufumi Yazaki

Arabidopsis ABCB21 is a facultative auxin importer/exporter regulated by cytoplasmic auxin concentration

Plant Cell Physiol. **53**(12): 2090-2100 (2012).

Kazuyoshi Terasaka, Yuki Mizutani, Akito Nagatsu, Hajime Mizukami

In situ UDP-glucose regeneration unravels diverse functions of plant secondary product glycosyltransferases.

FEBS Lett. **586**(24): 4344-4350 (2012).

松岡尚則、栗林秀樹、別府正志、山口秀敏、中田英之、阿南多美恵、笛木司、頼建守、岡田研吉、岩井祐泉、牧角和宏、三浦於菟、並木隆雄、牧野利明、秋葉哲生
薩摩旧薬園と生薬

漢方の臨床 **59**(6): 1083-1096 (2012).

笛木司、松岡尚則、別府正志、山口秀敏、中田英之、頼建守、坂井由美、長坂和彦、牧野利明、並木隆雄、岡田研吉、岩井祐泉、牧角和宏
水質がマオウの煎液に及ぼす影響について～特に日本と中国の上水道水の比較～

日本東洋医学雑誌 **63**(5): 313-321 (2012).

(総説・著書・総合論文など)

木村孟淳、田中俊弘、水上 元
新訂生薬学

南江堂、東京 (2012).

水上 元

第16改正日本薬局方解説書 (分担執筆)

日本薬局方解説書編集委員会 (編)、廣川書店、東京 (2012).

牧野利明

漢方薬の使用上の注意と副作用

『日本伝統医学標準テキスト漢方編』(分担執筆) 医学書院、東京 (2012).

水上 元

新しい薬学教育と大学連携

薬学雑誌 **132**(1): 1 (2012).

牧野利明、三谷和男

漢方医療を支える「臨床生薬学」

phil 漢方 **37**: 3-7 (2012).

水上 元

名古屋市立大学薬学部薬用植物園

薬用植物研究 **34**(1): 49-52 (2012).

牧野利明

今さら聞けない生薬、漢方薬の話 第1回～「生薬」とは何か

医薬経済 7月1日号: 44-45 (2012).

牧野利明

今さら聞けない生薬・漢方薬 第2回～生薬の品質の確保

医薬経済 9月1日号, 52-53 (2012).

牧野利明

今さら聞けない生薬・漢方薬 第3回～食薬区分について

医薬経済 10月1日号, 52-53 (2012).

牧野利明

今さら聞けない生薬・漢方薬 第4回～生産現場から薬局へ納入されるまで

医薬経済 11月1日号, 48-59 (2012).

牧野利明

今さら聞けない生薬・漢方薬 第5回～生産が患者に提供されるまで

医薬経済 12月15日号, 46-47 (2012).

水上 元

機能性食品と食養生～生薬学の立場から

FFI ジャーナル 217(4): 433-54 (2012).

(学会発表)

牧野利明

からだの奥の熱を冷ます②・奥から温める①

漢方勉強会「基礎からの漢方60分」第5回、2012年1月18日（名古屋）

牧野利明

健康食品情報の真偽の見分け方

あるたな LIVE!2012（健康食品情報研究会特別講演会）、2012年1月20日（札幌）

牧野利明

医療用漢方エキス製剤のエビデンスについて

漢方セントレアシンポジウム、2012年1月28日（常滑）

牧野利明

女性特有の症状に使用される生薬の薬理作用に関するレビュー

日本漢方生薬製剤協会勉強会、2012年2月10日（名古屋）

牧野利明

漢方診療に役立つ臨床生薬学

第10回 東海耳鼻咽喉科漢方研究会、2012年2月19日（名古屋）

牧野利明

臨床生薬学から見た漢方医学～生薬学の知識を漢方の臨床薬学に活かす～

薬剤師のための漢方セミナー、2012年3月4日（札幌）

牧野利明

初心者のための重要漢方処方～黄連解毒湯、瀉心湯類

東海漢方協議会、2012年3月11日（名古屋）

牧野利明

和漢薬成分の体内動態とその薬理研究への応用

日本東洋医学会平成 23 年度 関東甲信越地区春期教育講演会、2012 年 3 月 20 日（東京）

牧野利明

身体の奥から温める～温裏薬と温裏剤②

漢方勉強会「基礎からの漢方 60 分」第 6 回、2012 年 3 月 21 日（名古屋）

永利麻衣、寺坂和祥、水上 元

組換え酵素カクテルを用いた zeaxanthin から crocin の生産

日本薬学会第 132 年会、2012 年 3 月 29 日（札幌）；29E11-am11S

梶田梨恵、田中基裕、佐々木琢磨、水上 元

インチンコウに含まれる細胞致死活性成分

日本薬学会第 132 年会、2012 年 3 月 29 日（札幌）；30P1-am004

牧野利明

プライマリ・ケアを実践する薬剤師のための漢方学習方法

日本薬学会第 132 年会シンポジウム、2012 年 3 月 29 日（札幌）；S38-4

牧野利明

臨床生薬学～生薬学の知識を医療現場で応用する

日生病院勉強会、2012 年 4 月 5 日（大阪）

牧野利明

初心者のための重要漢方処方～五苓散、苓桂朮甘湯、防己黄耆湯

東海漢方協議会、2012 年 4 月 11 日（名古屋）

牧野利明

お薬の話し、うそと本当～生薬、漢方薬の話題を含めて～

癒師のための北摂漢方フォーラム「右近塾」、2012 年 4 月 13 日（大阪）

牧野利明

薬用植物の解説

東海漢方協議会、2012 年 5 月 13 日（名古屋）

牧野利明

気、血の流れの滞りを解消する～理気薬と理気剤、活血化瘀薬と活血化瘀剤

漢方勉強会「基礎からの漢方 60 分」第 7 回、2012 年 5 月 16 日（名古屋）

牧野利明

臨床生薬学から見た漢方医学～生薬学の知識を漢方の臨床に活かす～

沖縄中医学研究会、2012 年 5 月 26 日（宜野湾）

白 帆、牧野利明、小野孝彦、水上 元

5/6 腎摘ラットにおける腎性高血圧に対する七物降下湯の降圧作用機序

第 55 回日本腎臓学会学術総会、2012 年 6 月 1-3 日（横浜）；P-123.

田中和貴、金丸美咲、水谷優希、寺坂和祥、牧野利明、水上 元

植物酵素による糖転移ケルセチンの生産とその消化管吸収特性

日本食品化学学会第18回総会・学術大会、2012年6月21-22日（函館）；A-4.

牧野利明

生薬の薬能と薬理～附子の低体温改善作用

日本薬剤師研修センター平成24年度漢方薬・生薬研修会、2012年6月24日（東京）

杉真由子、鍵岡明奈、牧野利明、山本昇平、大澤匡弘、小野秀樹、水上 元

オキサリプラチンによるマウス神経障害性疼痛に対する加工ブシの作用

第58回日本薬学会東海支部総会・大会、2012年7月7日（静岡）；A1630.

牧野利明

水（津液）の流れの滞りを解消する～祛湿薬と祛湿剤

漢方勉強会「基礎からの漢方60分」第8回、2012年7月18日（名古屋）

Toshiaki Makino

Effect of traditional Chinese medicines on transporters – a new research target for TCM –

The Foundation Conference of Specialty Committee of TCM Pharmaceutical Chemistry of WFCMS
&the First Annual Academic Conference、2012年7月21-22日（哈爾濱、中国）

永利麻衣（学生奨励賞受賞講演）

イリドイドおよびアポカロテノイド配糖体の生合成に関わる新規配糖化酵素の単離と機能解析

第30回日本植物細胞分子生物学会大会、2012年8月3-5日（生駒）；A-07.

犬飼竜徳、岡本隼己、寺坂和祥、水上 元

ハマボウフウ培養細胞由来クマリン配糖体糖鎖伸長酵素の機能解析

第30回日本植物細胞分子生物学会大会、2012年8月3-5日（生駒）；3Bp-08.

浅田圭祐、永利麻衣、寺坂和祥、水上 元、Atumi-Masada Sayaka、Salim Vonny、De Luca Vincenzo

セコロガニン生合成に関与する配糖化酵素の機能解析

第30回日本植物細胞分子生物学会大会、2012年8月3-5日（生駒）；3Ba-13.

牧野利明

医学生のための臨床生薬学

医学生のための漢方医学セミナー、2012年8月5日（亀岡）

牧野利明

今さら聞けない生薬・漢方薬の話題～臨床生薬学入門

京都漢方研究会、2012年8月12日（京都）

全 智揚、牧野 利明、手塚 康弘、井上 勝央、水上 元

有機アニオントランスポーターを介する漢方薬と西洋薬の相互作用

第28回和漢医薬学会学術大会、2012年9月1-2日（東京）；P-27.

牧野利明

初心者のための重要漢方処方～桂枝加芍薬湯、小建中湯、大建中湯、当帰建中湯
東海漢方協議会、2012年9月9日（名古屋）

Fan Bai, Toshiaki Makino, Takahiko Ono, Hajime Mizukami

Anti-hypertensive effect of shichimotsukokato in 5/6 nephrectomized Wistar rats is mediated by
DDAH-ADMA-NO pathway

The 16th International Congress of Oriental Medicine
2012年9月14-16日（Seoul, Korea）；OS15D-3

Mayuko Sugi, Akina Kagioka, Toshiaki Makino, Shohei Yamamoto, Masahiro Ohsawa, Hideki Ono, Hajime Mizukami

Effect of processed aconite root on oxalipratin-induced neuropathic pain

The 16th International Congress of Oriental Medicine
2012年9月14-16日（Seoul, Korea）；PS-105

Tsukasa Fueki, Takanori Matsuoka, Masashi Beppu, Hidetoshi Yamaguchi, Hideyuki Nakata, Kenshu Rai, Yumi Sakai, Kazuhiko Nagasaka, Toshiaki Makino, Takao Namiki, Kenkichi Okada, Yusen Iwai, Kazuhito Makizumi

Difference of water hardness on preparing the decoction of Ephedrae herba: especially focused on the
comparison of tap water between Japan and China

The 16th International Congress of Oriental Medicine
2012年9月14-16日（Seoul, Korea）；PS-012

高 勝莉、牧野利明、水上 元

Ginsenoside 類の消化管吸収に対するグルコーストランスポーターSGLT1 の関与

日本生薬学会第59回年会、2012年9月17-18日（木更津）；1P25.

田代雄祐、酒井玲、牧野利明、水上 元、杉浦智子、加藤将夫、高田龍平、鈴木洋史、松尾洋孝

生薬からの尿酸トランスポーターURAT1 阻害物質の探索

日本生薬学会第59回年会、2012年9月17-18日（木更津）；1Cp04.

牧野利明

「気」や「血」の不足を補う～補気薬・補血薬と補気剤・補血剤

漢方勉強会「基礎からの漢方60分」第9回、2012年9月19日（名古屋）

牧野利明

石膏の謎を探る～なぜ、不溶性塩である石膏が漢方薬の中で有効性を示すのか

日本東洋医学会関西支部2府4県合同教育講演会、2012年9月30日（神戸）

牧野利明

六味丸の製造方法

第14回日本漢方交流会漢方薬剤師育成研修会、2012年10月7日（大阪）

田中和貴、金丸美咲、水谷優希、寺坂和祥、牧野利明、水上 元

植物酵素による糖転移ケルセチンの生産とその消化管吸収特性

フォーラム2012 衛生薬学・環境トキシコロジー、2012年10月25日（名古屋）；P-019.

田代雄祐、酒井玲、牧野利明、水上 元、杉浦智子、加藤将夫、高田龍平、鈴木洋史、松尾洋孝

蛇床子の尿酸トランスポーターURAT1 阻害作用とその活性成分

第 42 回日本東洋医学会東海支部学術総会、2012 年 11 月 11 日（名古屋）；1.

高 勝莉、牧野利明、水上 元

人参成分 ginsenoside 類のグルコーストランスポーターSGLT1 阻害作用

第 42 回日本東洋医学会東海支部学術総会、2012 年 11 月 11 日（名古屋）；2.

牧野利明

初心者のための重要漢方処方～白虎加人参湯、黄連解毒湯、竜胆瀉肝湯

東海漢方協議会、2012 年 11 月 11 日（名古屋）

牧野利明

「腎」や「津液」の不足を補う～補陽剤、補陰剤、滋陰剤

漢方勉強会「基礎からの漢方 60 分」第 10 回、2012 年 11 月 21 日（名古屋）

牧野利明

漢方処方に配合される石膏の謎を探る

富山大学和漢医薬学総合研究所第 33 回特別セミナー、2012 年 11 月 22 日（富山）

牧野利明

医学生のための生薬学／漢方薬理学

大阪大学医学部特別講義、2012 年 12 月 5 日（大阪）

牧野利明

生薬学者が薬物動態学に興味を持ったわけ

第 9 回日本生薬学会若手懇話会、2012 年 12 月 29 日（京都）

【生体防御機能学分野】

(原報)

Yashuhiro Horita, Takemasa Takii T, Tetsuya Yagi, Kenji Ogawa, Nagatoshi Fujiwara, Emi Inagaki, Laurent Kremer, Yasuo Sato, Ryuji Kuroishi, Yoosa Lee, Toshiaki Makino, Hajime Mizukami, Tomohiro Hasegawa, Ryuji Yamamoto, Kikuo Onozaki.

Antitubercular Activity of Disulfiram, an Antialcoholism Drug, against Multidrug- and Extensively Drug-Resistant Mycobacterium tuberculosis Isolates.

Antimicrob Agents Chemother. 56, 4140-4145 (2012).

Ryosuke Yokoyama, Saotomo Itoh, Go Kamoshida, Takemasa Takii, Satoshi Fujii, Tsutomu Tsuji and Kikuo Onozaki

Staphylococcal superantigen-like protein 3 binds to toll like receptor 2 extracellular domain and inhibits cytokine production induced by *S. aureus*, cell wall component or lipopeptides in murine macrophages.

Infection and Immunity 80, 2816-2825 (2012).

Saotomo Itoh, Ryosuke Yokoyama, Chizuko Murase, Takemasa Takii, Tsutomu Tsuji and Kikuo Onozaki.

Staphylococcal superantigen-like protein 10 (SSL10) binds to phosphatidylserine and apoptotic cells

Microbiology and Immunology 56, 363-371 (2012).

(総説・著書・総合論文など)

Takemasa Takii, Yasuhiro Horita, Ryuji Kuroishi, Taku Chiba, Mashami Mori, Tomohiro Hasegawa, Tetsuya Ito, Tatsuaki Tagami, Tetsuya Ozeki, Saotomo Ito and Kikuo Onozaki

The Potential Therapeutic Usage of Dithiocarbamate Sugar Derivatives for Multi-Drug Resistant Tuberculosis, Understanding Tuberculosis - New Approaches to Fighting Against Drug Resistance,

Pere-Joan Cardona (Ed.), ISBN: 978-953-307-948-6, InTech, (2012).

(学会発表)

伊藤佐生智

細菌の産生する抗血液凝固タンパク質

中部公立3大学 新技術説明会 2012年1月20日 (東京)

伊藤佐生智, 横山領介, 鴨志田剛, 岡田浩美, 藤井聡, 瀧井猛将, 辻勉, 小野寄菊夫

黄色ブドウ球菌スーパー抗原様タンパク質 SSL10 の血液凝固抑制作用

日本薬学会 第132年会 2012年3月29日 (札幌)

小川翔大, 瀧井猛将, 山本龍二, 堀田康弘, 花村菜月, 小川賢二, 八木哲也, 西森敬, 大原直也, 後藤義孝, 藤原永年, 前田伸司, 伊藤佐生智, 小野寄菊夫

Mycobacterium avium subsp. *hominissuis* 特異的な菌体外 pH 上昇に関する研究

日本薬学会 第132年会 2012年3月30日 (札幌)

長谷川倫宏, 瀧井猛将, 堀田康弘, 筑比地慧, 千葉拓, 小野寄菊夫

抗結核作用を示すジチオカルバメート糖誘導体の pharmacokinetics に関する研究

日本薬学会 第 132 年会 2012 年 3 月 30 日 (札幌)

谷口恵一, 瀧井猛将, 宮竹佑治, 林大介, 伊藤佐生智, 矢野郁也, 山本三郎, 丸山光生, 小野寄菊夫

BCG ワクチン接種自然加齢マウスにおけるメモリー細胞と Th1 応答の解析

日本薬学会 第 132 年会 2012 年 3 月 30 日 (札幌)

竹野聖史, 秋田邦彦, 足達実季, 伊藤佐生智, 瀧井猛将, 早川和一, 小野寄菊夫

タバコ煙抽出物のマウスコラーゲン誘導性関節炎病態増悪に関する研究

日本薬学会 第 132 年会 2012 年 3 月 31 日 (札幌)

伊藤佐生智, 横山領介, 鴨志田剛, 村瀬千鶴子, 岡田浩美, 藤井 聡, 瀧井猛将, 辻勉, 小野寄菊夫

黄色ブドウ球菌分泌タンパク質 SSL10 は Gla ドメインを介して血液凝固因子に結合し, 血液凝固を抑制する

第 13 回 Pharmaco-Hematology シンポジウム 2012 年 6 月 15, 16 日 (東京)

小川翔大, 瀧井猛将, 伊藤佐生智, 山本龍二, 堀田康弘, 花村菜月, 宮田江里香, 小川賢二, 八木哲也, 大原直也, 後藤義孝, 藤原永年, 前田伸司, 西森敬, 山崎利雄, 小野寄菊夫

非結核性抗酸菌 *Mycobacterium avium* の pH 環境変化における arcA 遺伝子発現の解析

第 24 回微生物シンポジウム 2012 年 9 月 3, 4 日 (大阪)

横山 領介, 伊藤 佐生智, 鴨志田 剛, 瀧井 猛将, 藤井 聡, 辻 勉, 小野寄 菊夫

黄色ブドウ球菌スーパー抗原様タンパク質 SSL3 は toll like receptor 2 に結合しマクロファージのサイトカイン産生を抑制する

第 24 回微生物シンポジウム 2012 年 9 月 3, 4 日 (大坂)

花村菜月, 堀田康弘, 小川賢二, 八木哲也, 西森敬, 大原直也, 藤原永年, 前田伸司, 山崎利雄, 伊藤佐生智, 瀧井猛将

Mycobacterium avium 亜種 (*avium*・*hominissuis*) 間での酸性環境下における菌体外 pH 上昇に関与するアンモニア産生経路の研究

第 87 回結核病学会 2012 年 5 月 10, 11 日 (広島)

谷口 恵一, 林 大介, 伊藤 佐生智, 矢野 郁也, 山本 三郎, 瀧井 猛将

自然加齢マウスを用いた BCG ワクチンの有効性とブースト効果に関する研究

第 87 回日本結核病学会総会 2012 年 5 月 10, 11 日 (広島)

長谷川倫宏, 堀田康弘, 伊藤佐生智, 瀧井猛将

抗結核作用を示すジチオカルバメート糖誘導体 OCT313 の動態解析

第 87 回 日本結核病学会 2012 年 5 月 10, 11 日 (広島)

花村菜月, 瀧井猛将, 宮田江里香, 筑比地慧, 伊藤佐生智, 山本龍二, 堀田康弘, 小川賢二, 八木哲也, 西森敬, 大原直也, 藤原永年, 前田伸司, 山崎利雄, 後藤義孝, 小野寄菊夫

トリ型結核菌 *Mycobacterium avium* の増殖とアンモニア産生に関する研究

フォーラム 2012 衛生薬学・環境トキシコロジーシンポジウム
2012年10月26, 27日(名古屋)

横山領介, 伊藤佐生智, 鴨志田剛, 奥村拓也, 瀧井猛将, 藤井聡, 辻勉, 小野寄菊夫
黄色ブドウ球菌分泌毒素 Staphylococcal superantigen like 3 は toll like receptor 2 (TLR2)
に結合し, TLR2 リガンドによるマクロファージからの炎症性サイトカイン産生を抑制する
フォーラム 2012 衛生薬学・環境トキシコロジーシンポジウム
2012年10月26, 27日(名古屋)

花井朱璃, 伊藤佐生智, 瀧井猛将, 辻勉, 小野寄菊夫
黄色ブドウ球菌スーパー抗原様タンパク質 SSL5 とマトリックスメタロプ ロテアーゼ 9 の
結合様式の解析
フォーラム 2012 衛生薬学・環境トキシコロジーシンポジウム
2012年10月26, 27日(名古屋)

宮竹佑治, 瀧井猛将, 谷口恵一, 林大介, 伊藤佐生智, 藤原永年, 矢野郁也, 山本三郎, 小
野寄菊夫
BCG 亜株 (Tokyo172, connaught) 間での抗原提示能の差異に関する研究
日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部 合同学術大会 2012
2012年11月18日(岐阜)

Saotomo Itoh, Takemasa Takii, Tsutomu Tsuji, Kikuo Onozaki
Staphylococcal superantigen-like protein 3 binds to TLR2 and inhibits cytokine production from
murine macrophages in response to *S. aureus*, cell wall component or TLR2 ligand lipopeptides.
第41回日本免疫学会学術集会 2012年12月5日(神戸)

【遺伝情報学分野】

(原報)

Hashimoto, Y., Hosoda, N., Datta, P., Alnemri, ES., Hoshino, S.

Translation termination factor eRF3 is targeted for caspase-mediated proteolytic cleavage and degradation during DNA damage-induced apoptosis.

Apoptosis **17**, 1287-1299 (2012).

Osawa, M., Hosoda, N., Nakanishi, T., Uchida, N., Kimura, T., Imai, S., Machiyama, A., Katada, T., Hoshino, S., Shimada, I.

Biological role of the two overlapping poly(A)-binding protein interacting motifs 2 (PAM2) of eukaryotic releasing factor eRF3 in mRNA decay.

RNA **18**, 1957-1967. (2012).

(総説・著書・総合論文など)

Hoshino, S.

Mechanism of the initiation of mRNA decay: role of eRF3 family G proteins.

Wiley Interdiscip Rev RNA **3**, 743-757 (2012).

(学会発表)

三瓶祥子、尾上耕一、星野真一

細胞質ポリ A 鎖伸長因子 CPEB による c-myc mRNA の安定性制御

第 85 回日本生化学会大会、2012 年 12 月 15 日 (福岡)

趙理海、尾上耕一、星野真一

非正準ポリ A ポリメラーゼ PAPD5, PAPD7 の機能解析

第 85 回日本生化学会大会、2012 年 12 月 15 日 (福岡)

田中麻記子、細田直、星野真一

テロメラーゼ RNA (TLC1) の成熟化機構の解析

第 85 回日本生化学会大会、2012 年 12 月 15 日 (福岡)

細田直、星野真一

人工キメラ遺伝子 ZFN 安定発現系の構築

厚生労働科研費 B 型肝炎創薬実用化等研究事業研究会、2012 年 12 月 3 日 (東京)

Ogami, K., Hosoda, N., Funakoshi, N., Hoshino, S.

Anti proliferative protein Tob directly regulates c-myc proto-oncogene expression through cytoplasmic polyadenylation element-binding protein CPEB.

EMBO/EMBL symposium 'The complex life of mRNA', 2012 年 10 月 7-10 日
(ドイツ、ハイデルベルク)

Hashimoto, Y., Hosoda, N, Datta, P., Alnemri, ES., Hoshino, S.

Translation termination factor eRF3 is targeted for caspase-mediated proteolytic cleavage and degradation during DNA damage-induced apoptosis.

EMBO/EMBL symposium 'The complex life of mRNA', 2012年10月7-10日
(ドイツ、ハイデルベルク)

星野真一

人工キメラ遺伝子 ZFN 安定発現系の構築

厚生労働科研費 B 型肝炎創薬実用化等研究事業研究会、2012年7月18日 (東京)

尾上耕一、市川史、星野真一

非正準ポリ(A)ポリメラーゼ PAPD7 の新規アイソフォームの同定と機能解析

第14回日本RNA学会年会、2012年7月18-20日 (仙台)

尾上耕一、細田直、船越祐司、星野真一

癌抑制遺伝子産物 Tob による転写後の c-myc 遺伝子発現調節機構

第58回日本薬学会東海支部大会、2012年7月9日 (静岡)

橋本芳史、細田直、星野真一

翻訳終結因子 GSPT/eRF3 のカスパーゼ依存的切断の生理的意義の解析

第76回日本生化学会中部支部例会・シンポジウム、2012年5月26日 (岡崎)

尾上耕一、細田直、船越祐司、星野真一

癌抑制遺伝子産物 Tob による c-myc 遺伝子の発現調節機構

第132回薬学会年会、2012年3月29日 (札幌)

星野真一

mRNA3' 末端プロセッシングを標的とした遺伝子発現制御・RNA品質管理機構の解明

平成23年度新学術領域研究『RNA制御学』班会議、2012年1月6-7日 (神戸)

【細胞分子薬効解析学分野】

(原報)

Hisao Yamamura, Yuji Imaizumi

Total internal reflection fluorescence imaging of Ca^{2+} -induced Ca^{2+} release in mouse urinary bladder smooth muscle cells.

Biochem Biophys Res Commun., **427(1)**,54-9 (2012).

Hisao Yamamura, Chikako Ikeda, Yoshiaki Suzuki, Susumu Ohya, Yuji Imaizumi

Molecular assembly and dynamics of fluorescent protein-tagged single $\text{K}_{\text{Ca}}1.1$ channel in expressionsystem and vascular smooth muscle cells.

Am J Physiol Cell Physiol., **302(8)**,C1257-68 (2012).

Masato Fujii, Susumu Ohya, Hisao Yamamura, Yuji Imaizumi

Development of recombinant cell line co-expressing mutated Nav1.5, Kir2.1, and hERG for the safety assay of drug candidates.

J Biomol Screen., **17(6)**,773-83 (2012).

Satomi Niwa, Susumu Ohya, Yoshiyuki Kojima, Shoichi Sasaki, Hisao Yamamura, Motomu Sakuragi, Kenjiro Kohr, Yuji Imaizumi

Down-regulation of the large-conductance Ca^{2+} -activated K^{+} channel, $\text{K}_{\text{Ca}}1.1$ in the prostatic stromal cells of benign prostate hyperplasia.

Biol Pharm Bull., **35(5)**,734-44 (2012).

Hisao Yamamura, Susumu Ohya, Katsuhiko Muraki, Yuji Imaizumi

Involvement of IP_3 formation in the voltage-dependent regulation of the Ca^{2+} concentration in porcine coronary arterial smooth muscle cells.

J Pharmacol Exp Ther., **342(2)**,486-96 (2012).

(学会発表)

Junya Ohshiro, Hisao Yamamura, Susumu Ohya, Yuji Imaizumi

Calciumclock in smooth muscle tissues and reconstituted model of pacemakingactivity

The1st HD Physiology International Symposium: Integrative Multi-level Systems
Biology for *In silico* Cardiology and Pharmacokinetics. 2012.1.21. (Tokyo); P-28.

清田恵子、山村寿男、大矢進、今泉祐治

ラット松果体における過分極活性化環状ヌクレオチド依存性チャネル発現解析

第85回日本薬理学会年会.2012年3月14日(京都); O1B₂-3-5.

鬼頭宏彰、山崎大樹、大矢進、山村寿男、浅井清文、今泉祐治

脳血管内皮細胞の細胞増殖における CRAC チャネルの寄与

第85回日本薬理学会年会.2012年3月14日(京都); O1C₂-5-1.

丸山史登、William C. Cole、石井秀明、山村寿男、大矢進、今泉祐治

腎動脈結紮高血圧モデルマウスにおける血管径制御機構に対する内向き整流性 K^{+} チャネル

(K_{ir}2.1)の寄与

第 85 回日本薬理学会年会.2012 年 3 月 15 日 (京都) ; O2B₁-1-1.

大矢進、堀場さゆり、仲村恵梨奈、松井未来、山村寿男、今泉祐治

接触過敏症モデルマウスの耳介リンパ節 T リンパ球における Ca²⁺活性化 K⁺チャネル K_{Ca}3.1 の役割

第 85 回日本薬理学会年会.2012 年 3 月 15 日 (京都) ; O2B₂-1-1.

大城隼也、山村寿男、大矢進、今泉祐治

平滑筋細胞における TMEM16 family の発現と Ca²⁺活性化 Cl⁻チャネル活性

第 85 回日本薬理学会年会.2012 年 3 月 15 日 (京都) ; O2B₂-2-2.

鈴木良明、山村寿男、大矢進、今泉祐治

BK-Cav1.2 複合体形成と血管平滑筋細胞機能に対するカベオラの寄与

第 85 回日本薬理学会年会.2012 年 3 月 15 日 (京都) ; O2B₂-2-3.

丹羽里実、大矢進、小島祥敬、佐々木昌一、山村寿男、櫻木求、郡健二郎、今泉祐治

前立腺肥大モデルラットの移植排尿生殖洞における大コンダクタンスカルシウム活性化カリウムチャネル発現

第 85 回日本薬理学会年会.2012 年 3 月 15 日 (京都) ; O2B₂-3-5.

藤井将人、大矢進、山村寿男、今泉祐治

一発の活動電位発生により細胞死を起こす遺伝子改変導入細胞を用いた電位依存性 K⁺チャネルスクリーニング法の開発

第 85 回日本薬理学会年会.2012 年 3 月 15 日 (京都) ; O2B₂-4-6.

大羽輝弥、澤田英士、鈴木良明、山村寿男、大矢進、今泉祐治

気管上皮繊維細胞における膜電位と細胞内カルシウム濃度の関係

第 85 回日本薬理学会年会.2012 年 3 月 16 日 (京都) ; O3C₂-4-3.

今泉祐治【シンポジウム講演】

平滑筋臓器における Ca²⁺クロックとペースメーカー機能

Calcium clock and pacemaking activity in smooth muscle tissues

第 89 回日本生理学会大会.2012 年 3 月 29 日 (長野) ; 1S6G-2.

松木克仁、竹本将士、山村寿男、大矢進、竹島浩、今泉祐治

マウス子宮平滑筋における妊娠・非妊娠での Ca²⁺動員機構にかかわるイオンチャネルの発現と機能

日本薬学会第 132 年会.2012 年 3 月 30 日 (札幌) ; 30E20-am11S.

大矢進、福与由香、松井未来、山村寿男、今泉祐治

炎症性大腸炎モデルにおける T リンパ球 Ca²⁺活性化 K⁺チャネル(K_{Ca}3.1)の役割

日本薬学会第 132 年会.2012 年 3 月 30 日 (札幌) ; 30E20-am13.

藤井将人、大矢進、山村寿男、今泉祐治

細胞死測定を用いた電位依存性カリウムチャネル標的創薬スクリーニング法の開発

日本薬学会第 132 年会.2012 年 3 月 30 日 (札幌) ; 30E20-am14S.

鬼頭宏彰、山崎大樹、大矢進、山村寿男、浅井清文、今泉祐治

脳血管内皮細胞における Orai1 を介した store-operated Ca²⁺ entry の役割

第 8 回 TRP チャネル研究会.2012 年 6 月 14 日 (岡崎)

鈴木良明、加藤大樹、竹本将士、松木克仁、山村寿男、大矢進、竹島浩、今泉祐治

血管平滑筋細胞における RyR3 スプライス変異体の役割

第 121 回日本薬理学会近畿部会.2012 年 6 月 29 日 (徳島) ; B-7.

山村寿男、大矢進、村木克彦、今泉祐治

血管平滑筋細胞における電位依存のおよび Ca^{2+} 依存の IP_3 産生機構

第 121 回日本薬理学会近畿部会.2012 年 6 月 29 日 (徳島) ; B-8.

鬼頭宏彰、伊奈山宗典、大矢進、山村寿男、浅井清文、今泉祐治

脳血管内皮細胞における CRAC チャネルを介した細胞増殖機構の解明

第 121 回日本薬理学会近畿部会.2012 年 6 月 29 日 (徳島) ; B-10.

山村寿男、大矢進、村木克彦、今泉祐治

ブタ冠動脈平滑筋細胞における IP_3 シグナルの電位依存性と Ca^{2+} 依存性

第 54 回日本平滑筋学会総会、2012 年 8 月 3 日 (東京) ; 04-3.

鈴木良明、丸山史登、服部美波、山村寿男、大矢進、William C.Cole、今泉祐治

腎動脈結紮高血圧モデルマウスにおける内向き整流性 K^+ チャネル($K_{ir2.1}$)の機能変化

第 54 回日本平滑筋学会総会、2012 年 8 月 3 日 (東京) ; 04-5.

Munenori Inayama, Kenji Funabashi, Hisao Yamamura, Susumu Ohya, Yuji Imaizumi
Functional Coupling between Ca^{2+} -activated K^+ Channels and Store Operated Ca^{2+} Entry Channels in Chondrocytes.

2012 International Ion Channel Conference(IICC), 2012.8.24-27. (Korea); PS1-32.

Yoshiaki Suzuki, Hisao Yamamura, Susumu Ohya, Yuji Imaizumi

Caveolin-1 Promotes Functional Coupling Between BK Channel And Cav1.2 And Regulates Excitability In Vascular Smooth Muscle Cells.

2012 International Ion Channel Conference(IICC), 2012.8.24-27. (Korea); PS2-25.

伊奈山宗典、鈴木良明、山村寿男、大矢進、今泉祐治

軟骨細胞の小胞体 Ca^{2+} 枯渇による Orai1/STIM1 の共局在と機能解析

次世代を担う創薬・医療薬理シンポジウム、2012 年 9 月 1 日 (神戸) ; B-2.

大羽輝弥、澤田英士、鈴木良明、山村寿男、大矢進、今泉祐治

マウス気道上皮絨毛運動の細胞内 Ca^{2+} 濃度及び膜電位への依存性と K^+ チャネル開口薬の作用

次世代を担う創薬・医療薬理シンポジウム、2012 年 9 月 1 日 (神戸) ; B-1.

藤井将人、山村寿男、今泉祐治

長期持続性活動電位を発生する細胞を用いたイオンチャネル創薬における新規スクリーニング系の開発

第 11 回次世代を担う若手ファーマバイオフォーラム、2012 年 9 月 15 日 (福岡) ; B08.

清田恵子、山村寿男、大矢進、今泉祐治

ラット松果体細胞における過分極活性化環状ヌクレオチド依存性チャネルの機能解析

第 11 回次世代を担う若手ファーマバイオフォーラム、2012 年 9 月 16 日 (福岡) ; B25.

鈴木良明、山村寿男、大矢進、今泉祐治

軟骨細胞モデル細胞株(OUMS-27)由来の新規 BK α スプライスバリエント体の機能解析

第 122 回日本薬理学会近畿部会、2012 年 11 月 16 日(大阪) ; B-8.

鈴木良明、堀田真吾、加藤大樹、竹本将士、松木克仁、山村寿男、大矢進、竹島浩、今泉祐治

平滑筋細胞における RyR2 及び RyR3 の機能解析

平成 24 年度生理研研究会「イオンチャネル・トランスポーターと心血管機能
:細胞機能の分子機序とその統合的理解」、2012 年 11 月 22 日(岡崎)

鈴木良明、丸山史登、服部美波、山村寿男、大矢進、William C.Cole、今泉祐治

腎動脈結紮高血圧モデルマウス(2K1C モデルマウス)由来抵抗血管における内向き整流性 K⁺
チャネル(K_{ir}2.1)の機能変化

第 22 回日本循環薬理学会、2012 年 11 月 30 日(富山) ; B-03.

大城隼也、山村寿男、大矢進、今泉祐治

門脈平滑筋における Cacc 活性に対する TMEM16A の寄与

第 22 回日本循環薬理学会、2012 年 11 月 30 日(富山) ; YIA-08.

【病態生化学分野】

(原報)

Kidani, Y., Ohshima, K., Sakai, H., Kohno, T., Baba, A., and Hattori, H.

Differential localization of sphingomyelin synthase isoforms in neurons regulates sphingomyelin cluster formation.

Biochem. Biophys. Res. Commun. 417, 1014-1017. (2012).

Hisanaga, A., Morishita, S., Suzuki, K., Sasaki, K., Koie, M., Kohno, T., and Hattori, M.

A disintegrin and metalloproteinase with thrombospondin motifs 4 (ADAMTS-4) cleaves Reelin in an isoform-dependent manner.

FEBS Lett. 586, 3349-3353. (2012).

Sekine, K., Kawauchi, T., Kubo, K., Honda, T., Herz, J., Hattori, M., Kinashi, T., and Nakajima, K.

Reelin controls neuronal migration and positioning by promoting neuronal adhesion to extracellular matrix via the inside-out activation of integrin $\alpha 5\beta 1$.

Neuron 76, 353-369. (2012).

Lee, H.C., Inoue, T., Sasaki, J., Kubo, T., Matsuda, S., Nakasaki, Y., Hattori, M., Tanaka, F., Udagawa, O., Kono, N., Itoh, T., Ogiso, H., Taguchi, R., Arita, M., Sasaki, T., and Arai, H.

LPIAT1 regulates arachidonic acid content in phosphatidylinositol and is required for cortical lamination in mice.

Mol. Biol. Cell 23, 4689-700 (2012).

Perez-Martinez, F. J., Luque-Rio, A., Sakakibara, A., Hattori, M., Miyata, T., and Luque, J. M.

Reelin-dependent ApoER2 downregulation uncouples newborn neurons from progenitor cells.

Biol. Open 1, 1258-1263 (2012).

(総説・著書・総合論文など)

服部光治

神経難病の創薬ターゲットとしての巨大分泌タンパク質リーリン

日本薬理学会雑誌 139, 99-102(2012).

(特許申請)

出願番号：特願 2012-180354.

名称：ADAMTS-3 を用いたリーリン分解

発明者：服部光治、河野孝夫、久永有紗、鯉江真利、鈴木健太

(学会発表)

久永有紗、鯉江真利、河野孝夫、服部光治

脳の形成と機能に重要な分泌タンパク質リーリンの切断機構の解明

ファーマバイオフォーラム 2012 2012年9月15日 (福岡)

中村晃太、河野孝夫、服部光治

リーリン C 末端領域依存的シグナルの小脳形成における機能

ファーマバイオフォーラム 2012 2012年9月15日 (福岡)

中村晃太、河野孝夫、服部光治

リーリン CTR 欠損マウスを利用した、小脳形成におけるリーリンの機能解析

第 35 回日本神経科学学会 2012 年 9 月 21 日 (名古屋)

小林大地、河野孝夫、服部光治

脳におけるリーリンの C-t site 切断機構の解明

第 35 回日本神経科学学会 2012 年 9 月 21 日 (名古屋)

山本恭平、田頭大志、河野孝夫、服部光治

神経突起形成における難読症関連遺伝子産物 KIAA0319 の細胞内領域の機能

第 35 回日本神経科学学会 2012 年 9 月 21 日 (名古屋)

鈴木友美子、山本恭平、河野孝夫、服部光治

難読症関連遺伝子 KIAA0319 の生後マウス脳における局在

第 35 回日本神経科学学会 2012 年 9 月 21 日 (名古屋)

鯉江真利、久永有紗、河野孝夫、服部光治

リーリンの特異的分解部位の同定と、この分解による機能制御機構の解析

第 35 回日本神経科学学会 2012 年 9 月 21 日 (名古屋)

梅田健太郎、河野孝夫、服部光治

難読症関連遺伝子 KIAA0319 による神経細胞形態変化の分子機構

第 35 回日本神経科学学会 2012 年 9 月 21 日 (名古屋)

久永有紗、鯉江真利、河野孝夫、服部光治

リーリンの特異的切断を担うプロテアーゼに関する解析

第 35 回日本神経科学学会 2012 年 9 月 21 日 (名古屋)

河野孝夫、中村晃太、服部光治

リーリンの新規機能調節機構の解明

第 35 回日本神経科学学会 2012 年 9 月 21 日 (名古屋)

久永有紗、河野孝夫、服部光治

脳の形成と機能に重要な分泌タンパク質リーリンの切断機構の解明

第 35 回日本分子生物学会 2012 年 12 月 13 日 (福岡)

鄧夢妍、中村晃太、河野孝夫、服部光治

脳形成における、リーリン-Dab1 経路の強弱により調節される現象の解明

第 85 回日本生化学会 2012 年 12 月 15 日 (福岡)

河野孝夫、服部光治

大脳皮質上層神経細胞の樹状突起配向におけるリーリンの新規機能

第 85 回日本生化学会 2012 年 12 月 15 日 (福岡)

【薬物動態制御学】

(原報)

Sumito Ito, Hiroyuki Kusahara, Miyu Yokochi, Junko Toyoshima, Katsuhisa Inoue, Hiroaki Yuasa, Yuichi Sugiyama

Competitive inhibition of the luminal efflux by multidrug and toxin extrusions, but not basolateral uptake by organic cation transporter 2, is the likely mechanism underlying the pharmacokinetic drug-drug interactions caused by cimetidine in the kidney.

J. Pharmacol. Exp. Ther., **340**, 393-403 (2012).

Masahiko Ohkubo, Kinya Ohta, Katsuhisa Inoue, Hiroaki Yuasa

Nicotinate uptake by two kinetically distinct Na⁺-dependent carrier-mediated transport systems in the rat small intestine.

Drug Metab. Pharmacokinet., **27**, 255-262 (2012).

Sumito Ito, Hiroyuki Kusahara, Yuji Kumagai, Yoshinori Moriyama, Katsuhisa Inoue, Tsunenori Kondo, Hideki Nakayama, Shigeru Horita, Kazunari Tanabe, Hiroaki Yuasa, Yuichi Sugiyama

N-Methylnicotinamide is an endogenous probe for evaluation of drug-drug interactions involving multidrug and toxin extrusions (MATE1 and MATE2-K).

Clin. Pharmacol. Ther., **92**, 635-641 (2012).

Toshiaki Makino, Kyoko Okajima, Rie Uebayashi, Nobuhiro Ohtake, Katsuhisa Inoue, Hajime Mizukami

3-Monoglucuronyl-glycyrrhretinic acid is a substrate of organic anion transporters expressed in tubular epithelial cells and plays important roles in licorice-induced pseudoaldosteronism by inhibiting 11 β -hydroxysteroid dehydrogenase 2.

J. Pharmacol. Exp. Ther., **342**, 297-304 (2012).

(総説・著書・総合論文など)

湯浅博昭

肝臓の構造, 胆汁排泄.

「製剤学 (第6版)」, 四ッ柳智久, 檀上和美, 山本 昌編, 南江堂, pp. 291-296 (2012).

湯浅博昭

その他の排泄機構.

「製剤学 (第6版)」, 四ッ柳智久, 檀上和美, 山本 昌編, 南江堂, pp. 296-300 (2012).

湯浅博昭

バイオアベイラビリティ.

「製剤学 (第6版)」, 四ッ柳智久, 檀上和美, 山本 昌編, 南江堂, pp. 323-325 (2012).

湯浅博昭

生物学的同等性.

「製剤学 (第 6 版)」, 四ッ柳智久, 檀上和美, 山本 昌編, 南江堂, pp. 325-326 (2012).

湯浅博昭

初回通過効果.

「製剤学 (第 6 版)」, 四ッ柳智久, 檀上和美, 山本 昌編, 南江堂, pp. 326-327 (2012).

湯浅博昭

病態時における薬物動態の変動.

「製剤学 (第 6 版)」, 四ッ柳智久, 檀上和美, 山本 昌編, 南江堂, pp. 327-342 (2012).

(学会発表)

Tomoya Yasujima, Kinya Ohta, Kastuhisa Inoue, Hiroaki Yuasa

A rapid assay method for the assessment of the functionality of organic cation transporters by using a fluorescent nuclear staining agent.

International Symposium on Past, Present and Future of Molecular Pharmacokinetics.
2012 年 1 月 17 日 (東京); P2-28.

井上勝央, 西嶋千尋, 太田欣哉, 湯浅博昭

核酸塩基トランスポーター1 による urate 輸送と小腸における urate 動態への関与.

日本薬学会第 132 年会. 2012 年 3 月 31 日 (札幌); 31P1-pm150.

伊藤悠子, 太田欣哉, 片野貴大, 浦野公彦, 渡辺 淳, 井上勝央, 湯浅博昭

MDCKII 細胞に安定発現させた aquaporin 7 の glycerol 輸送機能の解析.

日本薬学会第 132 年会. 2012 年 3 月 31 日 (札幌); 31P1-pm159.

伊藤澄人, 楠原洋之, 井上勝央, 湯浅博昭, 森山芳則, 杉山雄一

カチオン性医薬品腎排泄過程における薬物間相互作用における MATE の関与.

日本薬剤学会第 27 年会. 2012 年 5 月 24 日 (神戸); 24-5-05.

湯浅博昭, 岸 英弘, 伊藤悠子, 太田欣哉, 井上勝央, 片野貴大, 浦野公彦, 渡辺 淳

MDCKII 細胞安定発現系での human aquaporin 10 の双機能的輸送機構の解析.

日本薬剤学会第 27 年会. 2012 年 5 月 26 日 (神戸); P26-05.

井上勝央, 林 里佳, 保嶋智也, 太田欣哉, 古宮 舞, 林 弥生, 湯浅博昭

蛍光性化合物を用いたプロトン依存性プロスタグランジントランスポーター (PCPT) の迅速機能評価系の確立とその阻害剤探索への応用.

日本薬剤学会第 27 年会. 2012 年 5 月 26 日 (神戸); P26-06.

全 智揚, 牧野利明, 手塚康弘, 井上勝央, 水上元

有機アニオントランスポーターを介する漢方薬と西洋薬の相互作用.

第 29 回和漢医薬学会大会. 2012 年 9 月 2 日 (東京); P-27.

伊藤澄人, 楠原洋之, 井上勝央, 湯浅博昭, 森山芳則, 杉山雄一

カチオン性医薬品の腎排泄過程における cimetidine との薬物間相互作用における Mate1 の関与.

第 27 回日本薬物動態学会年会, 2012 年 11 月 20 日 (東京); 1-C-O11-5.

青木那佳, 井上勝央, 保嶋智也, 太田欣哉, 湯浅博昭

corticosterone 結合性膜蛋白質としての OCT3 の機能解析.

第 27 回日本薬物動態学会年会, 2012 年 11 月 21 日 (東京); 2-C-O14-3.

鬼頭朋子, 伊藤澄人, 楠原洋之, 井上勝央, 湯浅博昭, 杉山雄一

トリプタン及び β -遮断薬の尿中排泄に關与する腎有機カチオントランスポーターの解析.

第 27 回日本薬物動態学会年会, 2012 年 11 月 21 日 (東京); 2-C-O14-4.

保嶋智也, 横岩沙耶, 太田欣哉, 井上勝央, 湯浅博昭

ヒト SLC10A3 の機能探索.

第 27 回日本薬物動態学会年会, 2012 年 11 月 21 日 (東京); 2-P-52.

山城貴弘, 江藤友哉, 西嶋千尋, 太田欣哉, 井上勝央, 古宮 舞, 林 弥生, 湯浅博昭

PCFT に対するミリセチンの持続性阻害効果の速度論的解析.

第 27 回日本薬物動態学会年会, 2012 年 11 月 21 日 (東京); 2-P-63.

青木那佳, 井上勝央, 保嶋智也, 太田欣哉, 湯浅博昭

OCT3 への corticosterone 結合の評価: OCT3 阻害物質探索への利用.

日本動物実験代替法学会第 25 回大会, 2012 年 12 月 9 日 (東京); P-38.

【病態解析学分野】

(原報)

Satoh H, Kawashima N, Ishimori N, Urasawa K, Fujii S, Tsutsui H.

Decreased glomerular filtration rate is a significant and independent risk for in-hospital mortality in Japanese patients with acute myocardial infarction.

Hypertens Res **35**: 463-469 (2012).

Satoh M, Andoh Y, Clingan CS, Ogura H, Fujii S, Nakayama T, Taniguchi M, Hirata N, Ishimori N, Tsutsui H, Onoé K, Iwabuchi K.

Type II NKT cells stimulate diet-induced obesity by mediating adipose tissue inflammation, steatohepatitis and insulin resistance.

PLoS ONE **7**:e30568 (1-12)(2012).

Sugiura T, Dohi Y, Yamashita S, Ohte N, Ito S, Iwaki S, Hirowatari Y, Ohkawa R, Mishima Y, Yatomi Y, Kimura G, Fujii S.

Analytical evaluation of plasma serotonin and sphingosine 1-phosphate and their clinical assessment in early atherosclerosis.

Coronary Artery Disease **23**: 234-238 (2012).

Tanaka K, Tamiya-Koizumi K, Hagiwara K, Ito H, Takagi A, Kojima, Suzuki M, Iwaki S, Fujii S, Nakamura M, Banno Y, Kannagi R, Tsurumi T, Kyogashima M, Murate T.

Role of down-regulated neutral ceramidase during all-trans retinoic acid induced neuronal differentiation in SH-SY5Y neuroblastoma cells.

J Biochem **151**:611-620 (2012).

Yokoyama R, Itoh S, Kamoshida G, Takii T, Fujii S, Tsuji T, Onozaki K.

Staphylococcal superantigen-like protein 3 binds to toll like receptor 2 extracellular domain and inhibits cytokine production induced by *S. aureus*, cell wall component or lipopeptides in murine macrophages.

Infect Immun. **80**:2816-25 (2012).

Iwaki S, Yamamura S, Asai M, Sobel BE, Fujii S.

Posttranscriptional regulation of expression of plasminogen activator inhibitor type-1 by sphingosine 1-phosphate in HepG2 liver cells.

Biochimica et Biophysica Acta **1819**: 1132-1141 (2012).

Sun X, Zhang M, Sanagawa A, Mori C, Ito S, Iwaki S, Satoh H, Fujii S.

Expression of circulating microRNA-126 in patients with coronary artery disease: correlation with LDL cholesterol.

Thromb J **10**(1):16 (2012).

(総説・著書・総合論文など)

清水嘉文, 小泉恵子, 神奈木玲児, 田中広治, 山下 純, 田中 保, 曹 科, 鈴木 元, 村手 隆, 岩城壮一郎, 藤井 聡, 徳村 彰.

ヒト大腸がん細胞における低酸素条件下でのリゾリン脂質およびエーテル型リン脂質の増加.

脂質生化学研究, **54**, 262-264, (2012).

藤井 聡

2012年版 生活管理指導手帳

東海薬剤師生涯学習センター(2012).

藤井 聡

感染・炎症を血栓止血学から考察する 炎症と線溶系

日本血栓止血学会誌, **23**: 253-258 (2012).

藤井 聡

低酸素誘導因子 (hypoxia inducible factor) HIF-1 α

Coagulation and inflammation **6**: 1-5 (2012).

水野 正子、藤井 聡 ほか

平成 23 年度厚生労働省医政局チーム医療実証事業 「チューリップ・エルシーエス地域連携チーム」一薬局薬剤師と福祉職連携による新しい居宅療養管理指導の試み—

報告書 (March): 1-42 (2012).

藤井 聡

取組みの概要 文部科学省平成 23 年度大学改革推進等補助金 (大学改革推進事業) 専門的看護師・薬剤師等医療人材養成事業チーム医療に貢献する薬局薬剤師の養成

報告書 (March): 2-5(2012).

藤井 聡

問診の技法 満足度評価・アンケート結果 文部科学省平成 23 年度大学改革推進等補助金 (大学改革推進事業) 専門的看護師・薬剤師等医療人材養成事業チーム医療に貢献する薬局薬剤師の養成

報告書 (March): 17-19(2012).

藤井 聡

既卒薬剤師リカレント教育への症候論の導入によるセルフメディケーションの向上

平成 23 年度一般用医薬品セルフメディケーション調査研究・啓発事業等報告書 **6**: 129-148 (2012).

藤井 聡

第 57 回 SSC 学術報告-7- Subcommittee on registry of exogenous hemostasis factors

2011 年度国際血栓止血学会 SSC 報告書 190-192 (2012).

朝倉 健文, 岩城 壮一郎, 岡田 浩美, Burton E Sobel, 藤井 聡

HepG2細胞におけるcAMPによるplasminogen activator inhibitor type-1 (PAI-1) の転写後調節機構の解析

生化学 **84**: 63 (2012).

藤井 聡 ジャーナルクラブ 内科疾患患者での血栓症予防におけるアピキサバンとエノキサパリンの比較

日本血栓止血学会誌 23: 58 (2012).

藤井 聡 ジャーナルクラブ Netrin-1 はプラークからのマクロファージの移出を抑制することにより動脈硬化症を促進する

日本血栓止血学会誌 23: 415 (2012).

Satoshi Fujii

Research News: Integrating research and education, opening the mysteries of drug actions, discovering new therapies.

APSTH newsletter, January, 2: 7 (2012). www.apsth.org.

(学会発表)

Fujii S 【特別講演】

PAI-1 and Thrombosis.

Invited lecture at Haematology of Singapore General Hospital. 2012年1月30日(Singapore)

Tomohiro Takahashi, Tatsuaki Tagami, Satoshi Fujii, Soichiro Iwaki, Ryohei Ito, Hiroshi Yanai, Tetsuya Ozeki

Functional Engineered Nano-sized Particles and Their Pharmaceutical Applications

10th France – Japan DDS Symposium 2012年10月11日(Bordeaux, France)

藤井 聡 【特別講演】

生理活性脂質の血液、血管での機能と血栓症

第34回日本血栓止血学会 日本血管生物医学学会ジョイントシンポジウム 2012年6月8日 (東京)

藤井 聡, 真川明将, 伊藤史織, 岩城壮一郎, 森 智恵子, Zhang Man, 杉浦知範, 土肥靖明, 山下純世, Xiao Sun, 木村玄次郎【特別講演】

マイクロ RNA:血管障害を早期に検出可能とする新しいモダリティー 高血圧 Up-to-Date2 潜在性臓器障害を検出可能とする新しいモダリティー

第35回日本高血圧学会総会 2012年9月21日(名古屋)

藤井 聡 【特別講演】

医師から見た薬剤師教育 暮らしの場における薬局薬剤師の役割

第7回一般用医薬品セルフメディケーションシンポジウム 2012年10月3日(東京)

藤井 聡、岩城 壮一郎、伊藤 史織、真川 明将、傍島 悠、渡邊 和哉、長崎 彩子、斉藤 美加、甲神 知紗登、長谷川 諒、杉浦 知範、土肥 靖明、木村 玄次郎

生理活性脂質と血栓症：S1Pの血液、血管での機能と虚血への反応

Seminar for Vascular Protection Strategy 2012 2012年6月2日(名古屋)

藤井 聡

愛知県薬剤師会生涯教育特別委員会企画「2011年度 問診の技法」第3回 発熱
名古屋市大東海薬剤師生涯学習センター 名古屋市立大学 2012年1月12日 (名古屋)

藤井 聡

愛知県薬剤師会生涯教育特別委員会企画「2012年度 問診の技法」第4回 腹痛
名古屋市大東海薬剤師生涯学習センター 名古屋市立大学 2012年1月19日 (名古屋)

藤井 聡

薬剤師に必要なフィジカルアセスメント 薬剤師のためのスキルアップセミナーフィジカルアセスメント・ベーシック

杏林堂研修会 2012年2月19日 (浜松)

藤井 聡

軟膏基剤の創傷薬理学的基盤研究マクロゴール軟膏の ALP 阻害機構の解明 平成 23 年度長寿医療研究開発費 NCGG 方式の統合的な高齢者褥瘡、皮膚潰瘍に関する学問体系の発展とそれらを基盤としたチーム医療体制の提唱

長寿医療研究センタープロジェクトミーティング 2012年2月25日 (大府)

藤井 聡

薬剤師に必要なフィジカルアセスメント 薬剤師のためのスキルアップセミナーフィジカルアセスメント・アドバンス編 コース 2 パロキシチンによるセロトニン症候群の症例、レボフロキサシンによる低血糖の症例

名古屋市立大学 2012年2月26日 (名古屋)

藤井 聡

症候論 4 胸痛をどう考えるか

平成 23 年度第 5 回愛知県女性薬剤師会学術講演会 2012年3月18日 (名古屋)

藤井 聡

名古屋市立大学における医療系学部連携による地域参加型学習

第 12 回臨床科目担当教員会議 2012年3月31日 (札幌)

藤井 聡

循環器用薬適正使用のための薬剤師によるフィジカルアセスメント

第 37 回臨床薬剤師循環器フォーラム 2012年5月11日 (札幌)

藤井 聡

薬剤師に必要なフィジカルアセスメント

薬剤師のためのスキルアップセミナーフィジカルアセスメント・ベーシック Class 1 名古屋市立大学 2012年6月10日 (名古屋)

藤井 聡

コンビニ弁当はなぜおいしい？学生の食生活で知ってほしい塩と薬の話

夢ナビ ライブ 2012 ポートメッセなごや 2012年7月19日 (名古屋)

藤井 聡

糖尿病治療の最前線

薬剤師のためのスキルアップセミナーフィジカルアセスメント・ベーシック Class II 名古屋
市立大学 2012年9月9日(名古屋)

藤井 聡

くらしの中で生かしたい 新薬の飲み方、使い方
名古屋市地域女性団体連絡協議会平成24年度課題別リーダー研修
「未来を拓く健康医療セミナー」名古屋市教育館 2012年9月13日(名古屋)

藤井 聡

最新! 元気に過ごすためのくすりの話 名古屋市職員共済組合
「年金制度説明会」名古屋市 ウィンクあいち 2012年10月25日(名古屋)

藤井 聡

薬剤師に必要なフィジカルアセスメント 清水薬剤師会
薬剤師のためのスキルアップセミナーフィジカルアセスメント・ベーシック Class I 静岡県立
大学 2012年11月11日(静岡)

藤井 聡

大学出前授業 いっしょに考えよう: くすりをつくる、細胞や動物から学ぶ、病気をなおす
—名古屋市立大学薬学部の紹介 三重県立四日市高校 2012年11月21日(四日市)

藤井 聡

糖尿病薬の重大な副作用 薬剤師のためのスキルアップセミナー
フィジカルアセスメント・ベーシックセミナーClass II 名古屋市立大学 2012年12月9日
(名古屋)

藤井 聡

愛知県薬剤師会生涯教育特別委員会企画「2012年度 問診の技法」第1回 頭痛
名市大東海薬剤師生涯学習センター 名古屋市立大学 2012年12月6日(名古屋)

藤井 聡

愛知県薬剤師会生涯教育特別委員会企画「2012年度 問診の技法」第2回 胸痛
名市大東海薬剤師生涯学習センター 名古屋市立大学 2012年12月13日(名古屋)

野田康弘、藤井聡、古田勝経

浅い褥瘡に有効なリフラップ・テラジアブレンド軟膏の製剤特性
第8回日本褥瘡学会中部地方会学術集会 2012年2月11-12日(名古屋)

杉浦知範, 土肥靖明, 大手信之, 木村玄次郎, 廣渡祐史, 藤井聡

早期動脈硬化症患者における血漿セロトニンと血管内皮機能の関連—喫煙の影響を中心とし
て—

第2回血管傷害とセロトニンフォーラム 2012年2月25日(名古屋)

藤井 聡, 鈴木 匡, 川辺 祐子

女性薬剤師の生涯学習への症候論の導入によるセルフメディケーションへの教育効果
日本薬学会第131年会 2012年3月29日(札幌)

伊藤 史織, 近藤 理恵, 岩城 壮一郎, 岩渕 和也, 藤井 聡
スフィンゴシン 1-リン酸は活性化 NKT 細胞の TNF- α 発現を調節する
日本薬学会第 131 年会 2012 年 3 月 29 日 (札幌)

伊藤 佐生智, 横山 領介, 鴨志田 剛, 岡田 浩美, 藤井 聡, 瀧井 猛将, 辻 勉, 小野寄 菊夫
黄色ブドウ球菌スーパー抗原様タンパク質 SSL10 の血液凝固抑制作用
日本薬学会第 131 年会 2012 年 3 月 29 日 (札幌)

長崎 彩子, 湯田 雄一郎, 小池 慶子, 岩城 壮一郎, 藤井 聡
低酸素環境における脂肪細胞の S1P 輸送機構の解析
日本薬学会第 131 年会 2012 年 3 月 29 日 (札幌)

山村 周平, 岩城 壮一郎, 真川 明将, 朝倉 健文, 藤井 聡
HepG2 細胞における S1P による PAI-1 転写後調節機構の解析
日本薬学会第 131 年会 2012 年 3 月 29 日 (札幌)

高橋 朋弘, 田上 辰秋, 岩城 壮一郎, 藤井 聡, 尾関 哲也
金ナノ粒子を核とした人工 HDL ナノ粒子の調製と物性評価
日本薬剤学会 第 27 回年会 2012 年 5 月 24 日 (神戸)

清水 嘉文, 小泉 恵子, 神奈木 玲児, 田中 広治, 山下 純, 田中 保, 曹 科, 鈴木 元, 村手 隆, 岩城 壮一郎, 藤井 聡, 徳村 彰
ヒト大腸がん細胞における低酸素条件下でのリゾリン脂質およびエーテル型リン脂質の増加
第 54 回日本脂質生化学会 2012 年 6 月 8 日 (福岡)

Shuhei Yamamura, Soichiro Iwaki, Daisuke Sakakibara, Moyoko Asai, Satoshi Fujii.
Post-transcriptional Regulation of Plasminogen Activator Inhibitor Type-1 by Sphingosine 1-phosphate
第 34 回日本血栓止血学会学術集会 2012 年 6 月 9 日 (東京)

伊藤 史織, 近藤 理恵, 岩城 壮一郎, 岩渕 和也, 藤井 聡
Sphingosine 1-phosphate および α -galactosylceramide は NKT 細胞ハイブリドーマの TNF- α 産生を増加させる
第 13 回 Pharmaco-Hematology シンポジウム 2012 年 6 月 16 日 (東京)

伊藤 佐生智, 横山 領介, 鴨志田 剛, 村瀬 千鶴子, 岡田 浩美, 藤井 聡, 瀧井 猛, 辻 勉, 小野寄 菊夫
黄色ブドウ球菌分泌タンパク質 SSL10 は Gla ドメインを介して血液凝固因子に結合し, 血液凝固を抑制する
第 13 回 Pharmaco-Hematology シンポジウム 2012 年 6 月 16 日 (東京)

高橋 朋弘, 田上 辰秋, 岩城 壮一郎, 藤井 聡, 尾関 哲也
S1P/ApoA1 搭載金ナノ粒子による血管内皮細胞に対する抗炎症効果の検討
第 28 回日本 DDS 学会年会 2012 年 7 月 4 日 (札幌)

齊藤美加, 真川明将, 野田康弘, 藤井聡

褥瘡治療に用いられるブレンド軟膏の吸水性と展延性に関する研究

第 58 回日本薬学会東海支部大会 2012 年 7 月 7 日 (静岡)

傍島悠、野田康弘、藤井聡

マクロゴールの ALP 活性に与える影響の酵素学的解析

第 58 回日本薬学会東海支部大会 2012 年 7 月 7 日 (静岡)

伊藤史織、近藤理恵、岩城壮一郎、岩渕和也、大川龍之介、矢富 裕、藤井聡.

スフィンゴシン 1-リン酸は NKT 細胞の TNF- α 産生を増強する.

免疫サマースクール 2012 2012 年 7 月 23-26 日 (那須) .

水野正子, 鈴木匡, 藤井聡, 飯田耕太郎, 東茂生

薬剤師活用による在宅支援の新しい試みの有用性~H23 年度厚生労働省チーム医療実証事業~

第 3 回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 2012 年 9 月 1 日 (福岡)

横山 領介, 伊藤 佐生智, 鴨志田 剛, 瀧井 猛将, 藤井 聡, 辻 勉, 小野寄 菊夫

黄色ブドウ球菌スーパー抗原様タンパク質 SSL3 は toll like receptor 2 に結合しマクロファージのサイトカイン産生を抑制する

第 24 回微生物シンポジウム 2012.年 9 月 3-4 日 (大阪)

Yasuhiro Noda, Satoshi Fujii

NOVEL BLENDED OINTMENTS DEVELOPED FOR PRESSURE ULCERS PROPERLY REGULATE AMOUNT OF EXUDATES IN WOUNDS

The 4th Congress of the World Union of Wound Healing Societies 2012 年 9 月 4 日
(Yokohama, Japan)

Satoshi Fujii, Shiori Ito, Yuichiro Yuda, Erika Matsui, Soichiro Iwaki, Kazuya Iwabuchi
EFFECTS OF S1P ON COLLAGEN AND CYTOKINE EXPRESSION IN SKIN FIBROBLAST AND NKT HYBRIDOMAS

The 4th Congress of the World Union of Wound Healing Societies 2012 年 9 月 6 日
(Yokohama, Japan)

真川 明将、Xiao Sun、Zhang Man、森 智恵子、伊藤 史織、岩城 壮一郎、藤井 聡

マイクロ RNA-126 と LDL コレステロールの関係：冠動脈疾患での影響

第 35 回日本高血圧学会 2012 年 9 月 21 日 (名古屋)

伊藤 史織、岩城 壮一郎、大川 龍之介、矢富 裕、古本 智夫、筒井 裕之、藤井 聡

高血圧症および脂質異常症患者における血中スフィンゴシン 1-リン酸濃度の解析

第 35 回日本高血圧学会 2012 年 9 月 21 日 (名古屋)

鳶田 理佳, 明石恵子, 藤井聡, 土肥靖明, 木村和哲

高血圧患者を対象とした服薬アドヒアランス尺度の信頼性・妥当性の検証 高得点演題

第 35 回日本高血圧学会 2012 年 9 月 22 日 (名古屋)

渡辺優美, 水野正子, 鈴木匡, 藤井聡, 飯田耕太郎, 東茂生

在宅医療での薬剤師関与の新しい試み (在宅医療におけるフィジカルアセスメントと処方設

計への介入) ~H23 年度厚生労働省チーム医療実証事業~

第 45 回日本薬剤師会学術大会 浜松市 2012 年 10 月 7-8 日 (浜松)

Tomohiro Takahashi, Tatsuaki Tagami, Soichiro Iwaki, Satoshi Fujii, Tetsuya Ozeki.

A novel HDL-like gold nanoparticles formulation with anti-inflammatory effect on vascular endothelial cells.

AAPS Annual Meeting and Exposition 2012 年 10 月 14-18 日 (Chicago, USA)

横山 領介, 伊藤 佐生智, 鴨志田 剛, 奥村 拓也, 瀧井 猛将, 藤井 聡, 辻 勉, 小野寄 菊夫

黄色ブドウ球菌分泌毒素 Staphylococcal superantigen like 3 は toll like receptor 2 (TLR2) に結合し, TLR2 リガンドによるマクロファージからの炎症性サイトカイン産生を抑制する

日本薬学会フォーラム 2012 : 衛生薬学・環境トキシコロジー 2012 年 10 月 25-26 日 (名古屋)

鈴木 匡、藤井 聡、明石恵子、大原弘隆、木村和哲、金兌勝

医療系学部・附属病院連携による地域チーム医療に貢献する薬局薬剤師養成研修 : 1 年目の成果と課題

日本医療薬学会第 22 回年会 2012 年 10 月 27-28 日 (新潟)

Shiori Ito, Rie Kondo, Soichiro Iwaki, Kazuya Iwabuchi, Ryunosuke Ohkawa, Yutaka Yatomi, Satoshi Fujii.

Induction of TNF- α Expression in NKT Cells by sphingosine-1-phosphate and α -galactosylceramide.

7Th Congres of the Asian-Pacific Society on Thrombosis and Hemostasis. 2012 年 10 月 29 日 (Melbourne, Australia)

Ayako Nagasaki, Yuichiro Yuda, Keiko Koike, Soichiro Iwaki, Satoshi Fujii.

ABC transporters can mediate extracellular release of S1P in adipocytes under hypoxia: implications for atherothrombosis in obesity.

7th Congres of the Asian-Pacific Society on Thrombosis and Hemostasis. 2012 年 10 月 29 日 (Melbourne, Australia)

Fujii S, Nagasaki A, Ito S, Iwaki S, Sobel B, Ohkawa R, Mishima Y, Yatomi Y, Furumoto T
Increased plasma sphingosine-1-phosphate (S1P) and its capacity to increase expression of PAI-1 in adipocytes and obese subjects.

Scientific Session of the American Heart Association. 2012 年 11 月 6 日 (Los Angeles, USA)

Sugiura T, Dohi Y, Yamashita S, Ohte N, Sanagawa A, Ito S, Iwaki S, Fujii S, Ohkawa R, Yatomi Y, Kimura G.

Circulating MicroRNA-126 as a Potential Biomarker for Recovery from Smoking-Related Endothelial Damage.

Scientific Session of the American Heart Association. 2012 年 11 月 7 日 (Los Angeles, USA)

安本美貴、小笠原美沙、草原ゆり、岩城壮一郎、藤井聡

一般人と高校生の血圧に対する知識の違いからみた高血圧予防戦略

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会 2012 年 11 月 18 日 (岐阜)

渡邊和哉、野田康弘、真川明将、傍島悠、岩城壮一郎、藤井聡

褥瘡治療に用いられる軟膏の吸水性及び細胞増殖に与える影響の解析

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会 2012年11月18日(岐阜)

真川明将、岩城壮一郎、浅井萌子、榊原大輔、山村周平、藤井聡

HepG2細胞においてS1Pは低酸素誘導因子1を介して線溶系を調節する

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会 2012年11月18日(岐阜)

清水 嘉文、小泉 恵子、岸野 恵理佳、神奈木 玲児、田中 広治、山下 純、田中 保、鈴木 元、
村手 隆、岩城 壮一郎、藤井 聡、徳村 彰

ヒト大腸がん細胞でのリゾリン脂質代謝に対する低酸素の影響

第85回 日本生化学大会 2012年12月15日 (福岡)

小泉 恵子、清水 嘉文、神奈木 玲児、田中 広治、山下 純、田中 保、鈴木 元、村手 隆、
岩城 壮一郎、藤井 聡、徳村 彰

ヒト大腸がん細胞において低酸素下で誘導されるエーテル型リン脂質の著しい増加とそのメカニズム

第85回 日本生化学大会 2012年12月15日 (福岡)

井上みなみ、水谷直貴、西田弥生、鈴木 元、小泉恵子、高木 明、小嶋哲人、岩城壮一郎、
藤井 聡、中村光浩、野沢義則、村手 隆

アンドロゲン反応性ヒト前立腺癌細胞株LNCaPにおける酸性セラミダーゼ発現調節機序

第85回 日本生化学大会 2012年12月15日 (福岡)

真川明将、岩城壮一郎、浅井萌子、榊原大輔、乗本裕明、長崎彩子、山村周平、藤井聡

低酸素下のHepG2細胞におけるS1Pを介したPAI-1発現制御機構の解明

第85回 日本生化学大会 2012年12月16日 (福岡)

伊藤史織、近藤理恵、岩城壮一郎、岩渕和也、藤井聡

S1P受容体を介したNKT細胞のTNF- α 発現調節機構

第85回 日本生化学大会 2012年12月15日 (福岡)

水谷 直貴、井上 みなみ、西田 弥生、鈴木 元、小泉 恵子、高木 明、小嶋 哲人、岩城 壮
一郎、藤井 聡、中村 光浩、野澤 義則、村手 隆

血清除去刺激におけるSphingosine kinaseの発現調節機序

第85回 日本生化学大会 2012年12月15日 (福岡)

【医薬品代謝解析学】

(原報)

Noriyuki Hatano, Yuka Itoh, Hiroka Suzuki, Yukiko Muraki, Hidetoshi Hayashi, Kikuo Onozaki, Ian C. Wood, David J. Beech, Katsuhiko Muraki.

Hypoxia-inducible Factor-1 α (HIF1 α) Switches on Transient Receptor Potential Ankyrin Repeat 1 (TRPA1) Gene Expression via a Hypoxia Response Element-like Motif to Modulate Cytokine Release.

J. Biol. Chem., **287**(38), 31962-31972 (2012).

Shingo Dan, Mutsumi Okamura, Yumiko Mukai, Hisashi Yoshimi, Yasumichi Inoue, Aki Hanyu, Asako Sakaue-Sawano, Takeshi Imamura, Atsushi Miyawaki, Takao Yamori.

ZSTK474, a specific phosphatidylinositol 3-kinase inhibitor, induces G1 arrest of the cell cycle *in vivo*.

Eur. J. Cancer, **8**(6), 936-943 (2012).

(総説)

Takeshi Imamura, Atsuhiko Hikita, Yasumichi Inoue

The roles of TGF- β signaling in carcinogenesis and breast cancer metastasis.

Breast Cancer, **19**(2), 118-124 (2012).

井上靖道

細胞周期とがん抑制遺伝子

がん増殖と悪性化の分子機構, 宮澤恵二・伊東進編, 化学同人, 175-190 (2012).

(学会発表)

大岡伸通, 林秀敏, 内藤幹彦, 佐藤隆一郎

ヒト肝癌細胞株におけるTRB3によるSREBP-2制御機構の解明

日本薬学会第132年会, 2012年3月29日(札幌); 29E13-pm06.

杉山和弥, 西仲駿, 伊藤友香, 井上靖道, 酒井聡, 小野寄菊夫, 林秀敏

ストレス誘導性分子TRB3によるインターロイキン2の転写制御機構の解析

日本薬学会第132年会, 2012年3月29日(札幌); 29E13-pm15.

楽怡, 伊藤友香, 井上靖道, 小野寄菊夫, 斉藤昌之, 林秀敏

TGF- β によるペリリピン1遺伝子発現抑制と脂肪滴形成の制御

日本薬学会第132年会, 2012年3月29日(札幌); 29E20-pm09.

宮嶋ちはる, 伊藤友香, 小島和香, 井上靖道, 林秀敏

T細胞におけるpseudokinase TRB1におけるインターロイキン2(IL-2)の発現制御とその機能に関する研究

第75回日本生化学会中部支部例会, 2012年5月26日(岡崎); P28.

林秀敏 【他大学講義】

小胞体ストレス・オートファジーの制御と疾患

山口大学大学院医学系研究科 特別専門講義, 2012年6月8日(宇部)

永尾優始, 井上靖道, 伊藤友香, 林秀敏

ヒストンメチルトランスフェラーゼSET8によるTGF- β シグナル伝達制御機構の解析

第57回日本薬学会東海支部大会, 2012年7月7日(静岡); G1550.

Satoshi Sakai, Yasumichi Inoue, Masatoshi Kitagawa, Makoto Nakanishi, Hidetoshi Hayashi
p53 dependent regulation of the TRB1 oncoprotein expression.

第71回日本癌学会学術総会. 2012年9月19日(札幌); P-1270.

Yuto Sakai, Katsumi Fukamachi, Mitsuru Futakuchi, Hidetoshi Hayashi, Masumi Suzui
TRB3 gene increases cell proliferation in mouse mammary carcinoma cells.

第71回日本癌学会学術総会. 2012年9月20日(札幌); J-2010.

川井麻友美, 中平桂子, 石井陽子, 石戸谷その, 伊藤友香, 井上靖道, 水谷隆治, 林 秀敏
細胞ストレス応答下における UDP glucuronosyltransferase (UGT) 1A1 の発現制御

フォーラム 2012: 衛生薬学・環境トキシコロジー
2012年10月25日(名古屋); P-068.

久保知紗希, 井上靖道, 伊藤友香, 林 秀敏

シトルリン化修飾酵素 PADI4 による TGF- β シグナル伝達制御機構の解析

フォーラム 2012: 衛生薬学・環境トキシコロジー
2012年10月25日(名古屋); P-85.

戸田洋平, 藤井拓夫, 伊藤友香, 酒井 聡, 井上靖道, 林 秀敏

ハンチントン病関連遺伝子 huntingtin-associated protein 1 (HAP1) の機能解析

フォーラム 2012: 衛生薬学・環境トキシコロジー
2012年10月25日(名古屋); P-86.

吉井由比子, 牛山小百合, 澤中美希, 井手佑子, 大岡伸通, 酒井 聡, 伊藤友香, 井上靖道,
小野寄菊夫, 林 秀敏

TRB ファミリータンパク質による TGF- β シグナルの制御

フォーラム 2012: 衛生薬学・環境トキシコロジー
2012年10月25日(名古屋); P-87.

加藤直樹, 伊藤友香, 井上靖道, 林 秀敏

TRBファミリータンパク質の細胞内局在とその機能解析

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会 2012.

2012年11月18日(岐阜); D-03.

田邊宏樹, 鈴木彩世, 中島健一, 林 秀敏, 井上 誠

天然由来 AhR アゴニストの探索研究

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会 2012.

2012年11月18日(岐阜); B-15.

宮嶋ちはる, 伊藤友香, 杉山和弥, 井上靖道, 林 秀敏

Functional Analysis of pseudokinase TRB1 in T cells.

第35回日本分子生物学会年会. 2012年12月12日(福岡); 2P-0363.

酒井 聡, 小武内渉, 藤巻信寛, 安藤昌幸, 林 秀敏, 北川雅敏, 皆川信子

ピルビン酸キナーゼのタンパク質発現制御機構とアイソフォーム変換機構の解析

第85回日本生化学会大会. 2012年12月16日(福岡); 3P-279.

楽 怡, 鈴木美沙紀, 伊藤友香, 井上靖道, 小野寄菊夫, 齋藤昌之, 林 秀敏

白色脂肪細胞における TGF- β による脂肪滴減少メカニズムの解明

第85回日本生化学会大会. 2012年12月16日(福岡); 3P-634.

【中枢神経機能薬理学分野】

(原報)

Yamamoto S, Tanabe M, and Ono H

N- and L-type voltage-dependent Ca^{2+} channels contribute to the generation of after-discharges in the spinal ventral root after cessation of noxious mechanical stimulation.

J Pharmacol Sci, **119**, 82-90 (2012).

Ohnami S, Kato A, Ogawa K, Shinohara S, Ono H, and Tanabe M

Effects of milnacipran, a 5-HT and noradrenaline reuptake inhibitor, on C-fibre-evoked field potentials in spinal long-term potentiation and neuropathic pain.

Br J Pharmacol, **167**, 537-547 (2012).

Kimura S, Niwa Y, Iwajima Y, Nagano Y, Yamamoto S, Ohi Y, Maeda Y, Kurono Y, Ono H, and Haji A

High doses of oseltamivir phosphate induce acute respiratory arrest in anaesthetized rats.

Basic Clin Pharmacol Toxicol, **111**, 232-239 (2012).

Ohsawa M, Mutoh J, Yamamoto S, Ono H, and Hisa H

Effect of spinally administered simvastatin on the formalin-induced nociceptive response in mice.

J Pharmacol Sci, **119**, 102-116 (2012).

Ohsawa M, Mutoh J, Asato M, Yamamoto S, Ono H, Hisa H, and Kamei J

Carnosine has antinociceptive properties in the inflammation-induced nociceptive response in mice.

Eur J Pharmacol, **682**, 56-61 (2012).

(学会発表)

鈴木悠馬, 山本昇平, 大澤匡弘, 小野秀樹

末梢神経障害モデルマウスにおける N および L 型カルシウムチャネル阻害薬シルニジピンの機械痛覚過敏に対する作用

第 85 回日本薬理学会年会. 2012 年 3 月 14 日 (京都); P1-7-3.

大竹沙紀, 山本昇平, 大澤匡弘, 野路雅英, 小野秀樹

オキサリプラチン誘発の機会痛覚過敏発症へのガバペンチンの予防効果

第 85 回日本薬理学会年会. 2012 年 3 月 14 日 (京都); P1-7-4.

岩嶋優依, 永野裕子, 山本昇平, 前田康博, 大澤匡弘, 小野秀樹

マウスにおけるリン酸オセルタミビル体温低下作用: 末梢交感神経系との関連性について

第 85 回日本薬理学会年会. 2012 年 3 月 14 日 (京都); P1-10-6.

倉岡聖哉, 小野秀樹, 田辺光男

マウス脊髄後角ニューロンにおけるグリシン性シナプス伝達に対するグリシン取込み阻害の影響

第 85 回日本薬理学会年会. 2012 年 3 月 15 日 (京都); P2-8-3.

柵木悠, 小野秀樹, 田辺光男

ラット脊髄後角における C-線維誘発性フィールドポテンシャルとその長期増強に対するオキシトシンの効果

第 85 回日本薬理学会年会, 2012 年 3 月 15 日 (京都); P2-8-4.

落合敏平, 高橋由香里, 朝戸めぐみ, 渡部文子, 大澤匡弘, 亀井淳三, 加藤総夫

神経障害性疼痛を伴う糖尿病マウスにおける侵害受容性扁桃体のシナプス伝達増強

第 85 回日本薬理学会年会, 2012 年 3 月 16 日 (京都); O3B₁-2-3.

山本昇平, 大澤匡弘, 小野秀樹

Oxaliplatin 誘発神経傷害モデルラットにおける神経機能変化

日本薬学会第 132 年会, 2012 年 3 月 29 日 (札幌); 29E05-am03.

川村和美, 大澤匡弘

薬剤師を真の“ゲートキーパー”とするために ~薬剤師が潜在的な精神科疾患や過量投与、自殺をピックアップできるようになるためにはどうすることが必要か~

日本薬学会第 132 年会, 2012 年 3 月 31 日 (札幌); S37.

長岡優也, 大澤匡弘, 勝弘毅, 村上友康, 山本昇平, 小野秀樹

Insulin の中枢性血糖値低下作用におけるアストロサイトの役割

第 121 回日本薬理学会近畿部会, 2012 年 6 月 29 日 (徳島); A-2.

鈴木悠馬, 山本昇平, 大澤匡弘, 小野秀樹

末梢神経障害モデルマウスにおける N および L 型カルシウムチャネル阻害薬シルニジピンの機械痛覚過敏に対する作用

次世代を担う創薬・医療薬理シンポジウム 2012, 2012 年 9 月 1 日 (神戸); A2-4.

長岡優也, 大澤匡弘, 山本昇平, 小野秀樹

Insulin の中枢性血糖値低下作用におけるアストロサイトの役割

次世代を担う創薬・医療薬理シンポジウム 2012, 2012 年 9 月 1 日 (神戸); A5-2.

大澤匡弘, 中村梨余, 井上昇, 勝弘毅, 村上友康, 山本昇平, 小野秀樹

糖尿病マウスに見られる認知機能障害に対する乳酸の改善作用

第 35 回日本神経科学大会, 2012 年 9 月 19 日 (名古屋); O2-E-22-3.

落合敏平, 高橋由香里, 朝戸めぐみ, 渡部文子, 大澤匡弘, 亀井淳三, 加藤総夫

ストレプトゾトシン誘発糖尿病モデルマウスにおける腕傍核-扁桃体のシナプス伝達の選択的増強

第 35 回日本神経科学大会, 2012 年 9 月 20 日 (名古屋); P3-f07.

【医薬品安全性評価学分野】

(原報)

Azuma Y, Hata K, Sai K, Udagawa R, Hirakawa A, Tohkin M, Ryushima Y, Makino Y, Yokote N, Morikawa N, Fujiwara Y, Saito Y, Yamamoto H.

Significant association between hand-foot syndrome and efficacy of capecitabine in patients with metastatic breast cancer.

Biol. Pharm. Bull., **35**, 717-24 (2012).

Maekawa K, Nishikawa J, Kaniwa N, Sugiyama E, Koizumi T, Kurose K, Tohkin M, Saito Y.

Development of a rapid and inexpensive assay for detecting a surrogate genetic polymorphism of HLA-B*58:01: a partially predictive but useful biomarker for allopurinol-related Stevens-Johnson syndrome/toxic epidermal necrolysis in Japanese.

Drug Metab. Pharmacokinet., **27**, 447-50(2012).

(学会発表)

杉山永見子, 鹿庭なほ子, 池田浩子, 相原道子, 松永佳世子, 黒瀬光一, 前川京子, 頭金正博, 古谷博和, 村松正明, 木下茂, 矢上晶子, 安倍正通, 外園千恵, 上田真由美, 池澤善郎, 斎藤嘉朗, 高橋幸

日本人におけるラモトリギン誘因性重症薬疹発症と HLA タイプとの相関解析

第 132 年会 日本薬学会 2012 年 3 月 28 日 (札幌) ; 31P2-am090.

鹿庭なほ子, 斎藤嘉朗, 杉山永見子, 高橋幸利, 古谷博和, 村松正明, 木下茂, 久保充明, 筵田泰誠, 黒瀬光一, 頭金正博, 前川京子, 矢上晶子, 外園千恵, 上田真由美, 池田浩子, 池澤善郎, 鎌谷直之, 松永佳世子, 相原道子

ゾニサミドおよびフェノバルビタール誘因性スティーブンス・ジョンソン症候群/中毒性表皮壊死症の危険因子

第 132 年会 日本薬学会 2012 年 3 月 28 日 (札幌) ; 31P2-am091.

頭金正博, 鹿庭なほ子, 斎藤 嘉朗, 杉山永見子, 黒瀬光一, 西川潤, 長谷川隆一, 相原道子, 松永佳世子, 安倍正通, 古谷博和, 高橋 幸利, 池田 浩子, 村松 正明, 上田 真由美, 外園 千恵, 木下 茂, 池澤 善郎, JPDSC

アロプリノールを服用した患者でのスティーブンス・ジョンソン症候群/中毒性表皮壊死症の発症と関連するバイオマーカーの網羅的探索研究

第39回 日本毒性学会学術年会2012年7月19日(仙台);P-170.

前川京子, 西川潤 1, 鹿庭なほ子, 杉山永見子, 小泉朋子, 黒瀬光一, 頭金正博, 斎藤嘉朗
日本人におけるアロプリノール誘因性重症薬疹発症の危険因子 *HLA-B*58:01* のサロゲート
マーカー多型を対象としたタイピング系の構築

第39回 日本毒性学会学術年会2012年7月19日(仙台);P-169.

小西麻美子, 奥崎恭子, 北畠知美, 佐藤裕, 佐々木崇光, 熊谷健, 榊原 明美, 鈴木匡, 松永民秀, 頭金正博, 細川正清, 大森栄, 永田清

健康食品と医薬品における薬物相互作用解明を目指した健康食品使用実態調査

第 22 回日本医療薬学会年会 2012 年 10 月 27 日 (新潟)

花谷忠昭, 佐井 君江, 頭金正博, 瀬川勝智, 木村通男, 堀雄史, 川上純一, 斎藤嘉朗

医療情報データベースを用いたヘパリン起因性血小板減少症 (HIT) 検出アルゴリズムの構築

日本薬剤疫学会第 18 回学術総会 2012 年 11 月 10 日 (東京)

Masahiro Tohkin

Contribution of Pharmacokinetics Study to the Global Clinical Trials

27th Japanese Society for the Study of Xenobiotics Annual Meeting 2012 年 11 月 22 日 (千葉)

萩原 宏美、山田 健人、菅谷 真紀、藤原 由季子、頭金 正博、川合 眞一

日米韓におけるスタチン類の処方量の比較

第 33 回日本臨床薬理学会学術総会 2012 年 12 月 2 日 (沖縄)

【病院薬剤学】

(原報)

Yuji Hotta, Risa Ohno, Tomoya Kataoka, Mayumi Mikumo, Yu Takahata, Masae Ohno, Yasuhiro Maeda, Kazunori Kimura

Effects of chronic vardenafil treatment persist after end of treatment in rats with acute arteriogenic erectile dysfunction.

J. Sex. Med., **9**, 1782-1788 (2012).

Yuko Abe, Yuji Hotta, Kana Okumura, Tomoya Kataoka, Yasuhiro Maeda, Kazunori Kimura
Temporal changes in erectile function and endothelium dependent relaxing response of corpus cavernosal smooth muscle after ischemia by ligation of bilateral internal iliac arteries in rabbit

J. Pharmacol. Sci., **120**, 250-253 (2012).

Satoko Kimura, Yuka Niwa, Yui Iwajima, Yuko Nagano, Shohei Yamamoto, Yoshiaki Ohi, Yasuhiro Maeda, Yukihisa Kuroono, Hideki Ono, Akira Haji

High Doses of Oseltamivir Phosphate Induce Acute Respiratory Arrest in Anaesthetized Rats.

Basic Clin. Pharmacol. Toxicol., **111**, 232-239 (2012).

Sayaka Kato, Yasuhiro Maeda, Yoko Nakajima, Naruji Sugiyama, Yukihisa Kuroono, Tetsuya Ito, Shinji Saitoh

Tissue specificity of pivaloylcarnitine and short-chain acylcarnitine profiles after administration of pivalate-containing antibiotics in rat.

Nagoya Med. J., **52**, 171-183 (2012).

近藤勝弘、黒田純子、猪飼誉友、林留美子、上垣史緒理、吉田達哉、吉田篤博、小松弘和、木村和哲

実測AUC値モニタリングによって安全かつ有効にCarboplatin併用化学療法を実施し得た維持透析中の原発不明がんの1例

癌と化学療法, **39**, 1749-1752 (2012).

(総説・著書・総合論文など)

堀田祐志、木村和哲

性機能 up date 血管内皮機能からEDをみる

自律神経, **49**, 71-73, (2012).

木村和哲

慢性腎臓病におけるメチルアルギニンを介した内皮機能障害

薬学雑誌, **132**, 443-448, (2012).

木村和哲

排尿困難・尿閉をきたす薬剤 (特集 薬剤投与と泌尿器科的副作用 : 泌尿器科医の必須知識)

臨床泌尿器科, **66**, 567-570, (2012).

杉山洋介、木村和哲

尿路結石をきたす薬剤（特集 薬剤投与と泌尿器科的副作用：泌尿器科医の必須知識）

臨床泌尿器科, 66, 603-607, (2012).

(学会発表)

塩田有史、中村敦、脇山直樹、江崎哲夫、木村和哲

抗菌薬の適正使用に向けた長期投与例に対する多職種協議の有用性

第27回日本環境感染学会総会 2012年2月4日（福岡）；2-P12-5.

平野世織、山本清司、加藤弘子、小島基嗣、松尾一典、浅野知子、近藤勝弘、黒田純子、

江崎哲夫、木村和哲

「持参薬チーム」による業務効率化がもたらした薬剤管理指導への影響

日本薬学会第132年会 2012年3月29日（札幌）；29E14-pm11.

前田徹、鈴木匡、飯塚成志、酒々井真澄、浅井清文、明石恵子、木村和哲、早野順一郎

医療系学部連携地域参加型学習におけるピア(相互)評価を用いたチーム力評価の試み

日本薬学会第132年会 2012年3月29日（札幌）；29P1-pm015.

黒田純子、石田曜子、中口智博、小松弘和、明智龍男、木村和哲

新規制吐剤は予期性悪心・嘔吐および患者のQOLを改善させるか

日本薬学会第132年会 2012年3月30日（札幌）；30E15-am11S.

種村妃紗、山本清司、杉山洋介、近藤勝弘、黒田純子、江崎哲夫、木村和哲

投与順序が複雑な長期レジメン監査の新しい取り組み

日本薬学会第132年会 2012年3月30日（札幌）；30E15-pm08.

村上里奈、鈴木匡、前田徹、明石恵子、木村和哲、浅井清文、酒々井真澄、飯塚成志、

大原弘隆、早野順一郎

1年間の課題解決型学習における学生チームの状況把握のためのピア評価尺度

第44回日本医学教育学会大会 2012年7月27-28日（東京）

早野順一郎、鈴木匡、前田徹、木村和哲、浅井清文、酒々井真澄、飯塚成志、村上里奈、

大原弘隆、明石恵子

活動計画に対するreview systemの導入による1年次の地域参加型チーム学習の充実

第44回日本医学教育学会大会 2012年7月27-28日（東京）

飯塚成志、鈴木匡、前田徹、明石恵子、木村和哲、浅井清文、酒々井真澄、村上里奈、

大原弘隆、早野順一郎

医薬看連携による「地域参加型学習」カリキュラムの開発とその評価

第44回日本医学教育学会大会 2012年7月27-28日（東京）

堀田祐志

【教育講演】PDE5阻害薬無効例に対する対応 最新の知見を交えて

『シトルリンによるED改善の効果について』

第22回日本性機能学会中部総会 2012年8月4日（大阪）；S-3.

Hotta Y, Shiota A, Kataoka T, Morita M, Hara T, Maeda Y, Kimura K

A novel therapy, combination of L-citrulline and vardenafil, for erectile dysfunction with hypogonadism in rat study.

World Meeting on Sexual Medicine 2012 (Cicago, USA). 2012 年 8 月 26-30 日; #227.

Kataoka T, Yamamoto Y, Shiota A, Hotta Y, Maeda Y, Kimura K

Effects of androgen replacement therapy for erectile function of OLETF metabolic syndrome rats.

World Meeting on Sexual Medicine 2012 (Cicago, USA). 2012 年 8 月 26-30 日; #145.

Maeda Y, Oda H, Nakajima Y, Kato S, Saito S, Sugiyama N, Kimura K, Ito T

DETAIL ANALYSIS OF ACYLCARNITINES AND AMINO ACIDS FOR INBOEN ERROR OF METABOLISM USING UPLC/MS/MS.

Annual Symposium of the Society for the Study of Inborn Errors of Metabolism (Birmingham, UK)
2012 年 9 月 4-7 日; P-441.

Kato A, Maeda Y, Nakajima Y, Kato S, Sugiyama N, Saito S, Kimura K, Ito T

DETERMINATION OF PYRIMIDINE METABOLITES FOR INBORN ERROR OF METABOLISM IN PYRIMIDINE SYNTHESIS AND DEGRADATION SYSTEM BY USING UPLC/MS/MS.

Annual Symposium of the Society for the Study of Inborn Errors of Metabolism (Birmingham, UK)
2012 年 9 月 4-7 日; P-097.

Oda H, Maeda Y, Ito T, Nakajima Y, Kato S, Kimura K, Saito S, Sugiyama N

SIMULTANEOUS DETERMINATION OF ACYLCARNITINES AND AMINO ACIDS FOR INBORN ERROR OF METABOLISM USING UPLC/MS/MS.

19th International Mass Spectrometry Conference (Kyoto)
2012 年 9 月 15-21 日; PTh-106.

堀田祐志、片岡智哉、塩田有史、森田匡彦、神村彩子、前田康博、木村和哲

去勢ラットに対するシトルリン飲水による勃起機能の改善メカニズムの解明 内因性 NOS 阻害物質 ADMA 関連因子に着目した検討

日本性機能学会第 23 回学術総会 2012 年 9 月 21 日 (東京); 3.

片岡智哉、堀田祐志、山本侑佳、塩田有史、前田康博、木村和哲

肥満ラットに対する Androgen 補充療法の効果

日本性機能学会第 23 回学術総会 2012 年 9 月 21 日 (東京); 8.

前田康博、堀田祐志、縣優介、橋爪博隆、漸井美穂、小川洋史、木村和哲

維持血液透析患者における血圧と血清 ADMA 濃度との関連性

第 35 回日本高血圧学会総会 2012 年 9 月 21 日 (名古屋); PB-2-050.

木村和哲

【コメディカル・メディカル合同ワークショップ】

治療アドヒアランス向上と服薬指導 「CKD診療ガイド2012」改訂に伴うCKD合併時の服薬指導

第35回日本高血圧学会総会 2012年9月22日 (名古屋); WS3-2.

薦田理佳、明石恵子、藤井聡、土肥靖明、木村和哲

高血圧患者を対象とした服薬アドヒアランス尺度の信頼性・妥当性の検証

第35回日本高血圧学会総会 2012年9月22日（名古屋）；HP4-2.

丹村貴之、杉山洋介、坂本雅樹、奥山徹、内田恵、古賀和子、伊藤嘉規、明智龍男、黒田純子、江崎哲夫、木村和哲

緩和ケアチーム活動において薬剤師が主体的に介入した事例の検討

第6回日本緩和医療薬学会 2012年10月6日（神戸）

黒田純子、石田曜子、中口智博、小松弘和、明智龍男、木村和哲

予期性悪心・嘔吐に対する新規制吐剤の有用性の検証

第50回日本癌治療学会学術集会 2012年10月25日（横浜）；PS1-647.

前田康博、加藤あゆみ、伊藤哲哉、中島葉子、加藤沙耶香、齋藤伸治、木村和哲

UPLC-MS/MSによるピリミジン代謝経路における代謝物の同時定量と応用

第37回日本医用マススペクトル学会年会 2012年10月25日（名古屋）；P-11.

那須徹也、前田康博、堀田祐志、伊藤哲哉、中島葉子、加藤沙耶香、齋藤伸治、木村和哲

UPLC-MS/MSを用いたメチルマロニル-CoA ムターゼの活性測定

第37回日本医用マススペクトル学会年会 2012年10月26日（名古屋）；O2-2.

服部由香、堀田祐志、高畑 裕、前田康博、木村和哲

シクロホスファミド誘発性出血性膀胱炎発症機序の解明 -内因性一酸化窒素合成酵素阻害物質 ADMA に着目した検討-

第22回日本医療薬学会年会 2012年10月27日（新潟）；P1-235.

久野亜耶奈、大野雅恵、堀田祐志、前田康博、近藤勝弘、木村和哲

シスプラチン誘発性腎障害に対する新規診断マーカーとしての尿中 ADMA の検討

第22回日本医療薬学会年会 2012年10月27日（新潟）；P1-236.

黒井美晴、黒田純子、近藤勝弘、竹本将士、鬼頭典子、江崎哲夫、木村和哲

抗がん剤調製業務効率化への取り組み[1]～抗がん剤自動調製装置「サイトケア」および陰圧式アイソレーター「ケモシールド」導入による経費削減効果～

第22回日本医療薬学会年会 2012年10月27日（新潟）；P1-111.

鬼頭典子、黒田純子、竹本将士、黒井美晴、山本清司、江崎哲夫、木村和哲

抗がん剤調製業務効率化への取り組みと検討[3]～サイトケア®およびケモシールド®導入による抗がん剤調製者の待機時間の変化とアンケート調査～

第22回日本医療薬学会年会 2012年10月27日（新潟）；P1-112.

竹本将士、前田康博、山本清司、鬼頭典子、黒井美晴、黒田純子、近藤勝弘、木村和哲

抗がん剤調整業務効率化への取り組み②～陰圧式アイソレーター「ケモシールド」使用時の閉鎖式調整補助具の必要性の検討～

第22回日本医療薬学会年会 2012年10月27日（新潟）；P1-113.

早川智章、木村理恵、杉山洋介、近藤勝弘、黒田純子、江崎哲夫、木村和哲
デノスマブ投与例における低Ca血症発現状況と重症化回避に関する検討
第22回日本病院薬剤師会東海ブロック学術大会 2012年11月18日（岐阜）；C-03.

早川英子、手崎世織、加藤弘子、小島基嗣、上野朋子、浅野知子、近藤勝弘、黒田純子、
江崎哲夫、木村和哲
入院支援センターにおける持参薬確認業務について
第22回日本病院薬剤師会東海ブロック学術大会 2012年11月18日（岐阜）；C-10.

小川修平、渡辺美里、黒井美晴、山本清司、黒田純子、江崎哲夫、木村和哲
外来化学療法施行患者に対する自己管理日記を用いた副作用モニタリング
第22回日本病院薬剤師会東海ブロック学術大会 2012年11月18日（岐阜）；A-25.

佐伯憲一、雀 欣鶴、五十鈴川和人、小松 一、江口素子、田島雄太、木村和哲
キノリン類のヒト肝ミクロソームによる蛍光代謝産物の生成に対する置換基の影響
第22回日本病院薬剤師会東海ブロック学術大会 2012年11月18日（岐阜）；F-21.

【臨床薬学】

(原報)

Matsuzawa N, Nakamura K, Matsuda M, Ishida F, Ohmori S

Effect of *CYP2C19* gene variations on thalidomide treated patients in Japanese.

Biol. Pharm. Bull. **35(3)**, 317-320 (2012).

Nakamura K, Obayashi K, Araki T, Aomori T, Fujita Y, Okada Y, Kurabayashi M, Hasegawa A, Ohmori S, Nakamura T, Yamamoto K

CYP4F2 gene polymorphism as a contributor to warfarin maintenance dose in Japanese subjects.

J Clin. Pharm. Ther. **37(4)**, 481-485 (2012).

Suzuki E, Matsunaga T, Aonuma A, Sasaki T, Nagata K, Ohmori S

Effects of hypoxia-inducible factor-1 α chemical stabilizer, CoCl₂ and hypoxia on gene expression of CYP3As in human fetal liver cells.

Drug Metab. Pharmacokinet. **27(4)**:398-404 (2012).

Takezawa T, Matsunaga T, Aikawa K, Nakamura K, Ohmori S

Lower expression of HNF4 α and PGC1 α might impair rifampicin-mediated CYP3A4 induction under conditions where PXR overexpressed in human fetal liver cells.

Drug Metab. Pharmacokinet. **27(4)**, 430-438 (2012).

Tsuchiya H, Matsunaga T, Aikawa K, Kamada N, Nakamura K, Ichikawa H, Sasaki K, Ohmori S

Evaluation of human embryonic stem cells-derived hepatocytes to detection system of CYP1A inducer.

Drug Metab. Pharmacokinet. **27(6)**, 598-604 (2012).

Matsunaga T, Maruyama M, Matsubara T, Nagata K, Yamazoe Y, Ohmori S

Mechanisms of CYP3A induction by glucocorticoids in human fetal liver cells.

Drug Metab. Pharmacokinet. **27(6)**:653-657 (2012).

Hashita T, Katsuyama Y, Nakamura K, Momose Y, Komatsu D, Koide N, Miyagawa S, Nakamura T, Yamamoto K, Ohmori S

A patient with GIST modified dose by measurement of plasma concentration of sunitinib.

Oncol. Lett. **4(3)**, 501-504 (2012).

(総説・著書・総合論文など)

鈴木 匡

薬局薬剤師の新たな可能性と職能開発

APOLetter **57** (2012).

鈴木 匡

薬学教育から見渡す，薬剤師の未来

月刊マーチャンダイジング 2012年12月号

中村克徳，大森 栄

【個別化薬物療法-始まっている臨床応用】 薬物代謝酵素遺伝子多型と臨床的意義.

薬事 54(6), 907-910 (2012).

岩尾岳洋，松永民秀

薬物動態研究におけるヒト多能性幹細胞の活用.

薬剤学 72(2), 88-94 (2012).

(その他の著書)

編集 鈴木 匡 他

わかりやすい薬局実務実習テキスト「第3版」(じほう)

監修 鈴木 匡、水野正子

薬剤師が取り組む在宅業務<職能進化への挑戦> (第一三共エスファ株式会社)

鈴木 匡，松永民秀

今後の病院や薬局での業務を見据え濃密な事前学習カリキュラムを構築.

Kawaijuku Guideline (9): 66-67 (2012).

監修 鈴木 匡，水野正子

薬剤師が取り組む在宅業務<職能進化への挑戦> (第一三共エスファ株式会社)

(特許申請)

出願日：平成24年11月9日

出願番号：特願2012-247010

名称：人工多能性幹細胞を肝細胞へ分化誘導する方法

発明者：松永民秀，岩尾岳洋，近藤祐樹，吉橋幸美

特許出願人：公立大学法人名古屋市立大学

出願日：平成24年6月8日

出願番号：特願2012-131240，特願2012-247010

名 称：人工多能性幹細胞を肝細胞へ分化誘導する方法
発 明 者：松永民秀，岩尾岳洋，近藤祐樹，吉橋幸美
特許出願人：公立大学法人名古屋市立大学

(学会発表)

前田 徹，鈴木 匡，飯塚成志，酒々井真澄，浅井清文，明石恵子，木村和哲，早野順一郎
医療系学部連携地域参加型学習におけるピア（相互）評価を用いたチーム力評価の試み
日本薬学会第 132 年会，3 月 29 日（札幌）

菊池千草，永味千枝，梶栗潤子，伊藤猛雄，松永民秀
プラバスタチンによる糖尿病血管障害の治療効果の機序
日本薬学会第 132 年会，2012 年 3 月 30 日（札幌）；30E14-pm12.

鈴木 匡，飯田耕太郎，水野正子
在宅医療における薬局薬剤師フィジカルアセスメント実施有用性の検証
日本薬学会第 132 年会，3 月 31 日（札幌）

菊池千草，永味千枝，坂明 展，渡邊幹哉，福田頼子，鐵野敦司，川原 淳，松永民秀，
鈴木 匡
患者教育技術の向上を目指した薬局薬剤師の糖尿病薬物療法体験学習
第 55 回日本糖尿病学会年次学術集会，2012 年 5 月 17 日（横浜）；I-17-16.

永味千枝，菊池千草，坂明展，渡邊幹哉，福田頼子，鐵野敦司，川原 淳，松永民秀，
鈴木 匡
糖尿病薬物療法の模擬体験を通じたアドヒアランスに影響を与える要因の解明
第 55 回日本糖尿病学会年次学術集会，2012 年 5 月 17 日（横浜）；I-17-17.

Takahiro Iwao, Kiyoshi Nagata, Tamihide Matsunaga
Differentiation into functional enterocyte-like cells from human induced pluripotent stem cells.
19th Microsomes and Drug Oxidations (MDO) and 12th European Regional International Society for
the Study of Xenobiotics (ISSX) Meeting, Jun. 17–21, 2012 (Noordwijk aan Zee, The Netherlands);
P152.

鈴木 匡，外ノ池文乃
保険薬局における生活習慣病予防へのアプローチ
日本社会薬学会第 31 年会，2012 年 9 月 15–16 日（鈴鹿）；P121.

鈴木 匡
シンポジウム 3 6 年制薬学教育—「薬剤師教育」の現状と課題
東海地区の薬学実務実習の現状と課題（シンポジスト発表）
日本社会薬学会第 31 年会，2012 年 9 月 15–16 日（鈴鹿）

菊池千草，永味千枝，梶栗潤子，伊藤猛雄，松永民秀
糖尿病の大血管障害における酸化ストレスの PKC を介した産生亢進機序
第 35 回日本高血圧学会総会，2012 年 9 月 22 日（名古屋）；PB-3-088.

菊池千草, 永味千枝, 松永民秀, 武田佳司美, 榊原幹夫, 鈴木 匡

薬局薬剤師を対象とした継続的糖尿病薬物療法模擬体験学習の患者指導に及ぼす効果の検証
日本社会薬学会第31年会, 2012年9月16日(鈴鹿); 55.

永味千枝, 堀 英生, 菊池千草, 竹内正義, 松永民秀

糖尿病における終末糖化産物(AGEs)によるスーパーオキシド産生増加とプラバスタチンによる抑制効果機序の解明

第22回日本医療薬学会年会, 2012年10月28日(新潟); P2-529.

菊池千草, 松永民秀, 鈴木 匡

事前学習における糖尿病薬物療法体験学習の実務実習後の評価

第22回日本医療薬学会年会, 2012年10月28日(新潟); P2-537.

鈴木 匡, 藤井 聡, 明石恵子, 大原弘隆, 木村和哲, 金 允勝

医療系学部・附属病院連携によるチーム医療に貢献する薬局薬剤師の養成研修:1年目の成果と課題

日本医療薬学会年会 第22回, 2012年10月27-28日(新潟); P2-649.

佐藤大介, 前田 徹, 伊藤哲哉, 松村治穂, 中村克徳, 絵野沢伸, 齋藤伸治, 松永民秀

糖原病Ib型患者肝非実質由来iPS細胞の樹立と肝臓, 好中球への分化誘導及び機能評価

日本人類遺伝学会 第57回大会, 2012年10月(東京)

岩尾岳洋, 中村克徳, 永田 清, 松永民秀

Generation of human induced pluripotent stem cell derived enterocytes with peptide transport function
(ペプチド輸送機能を有するヒトiPS細胞由来腸管細胞の作製)

日本薬物動態学会第27回年会, 2012年11月20日(千葉); 1-P-05.

近藤祐樹, 岩尾岳洋, 吉橋幸美, 三森佳代, 杉山留理, 佐々木崇光, 永田 清, 黒瀬光一, 丹羽卓朗, 山折 大, 大森 栄, 中村克徳, 松永民秀

Small molecule compounds enhance differentiation to hepatocytes from human induced pluripotent stem cells (低分子化合物はヒト人工多能性幹細胞から肝細胞への分化を促進する)

日本薬物動態学会第27回年会, 2012年11月20日(千葉); 1-P-06.

川本鈴子, 青山智佳臣, 菊池千草, 小原博一, 椿井信仁, 新美德洋, 原 和子, 福井恵子, 宮島 永, 山田和正, 中村一仁, 廣瀬君江, 勝見章男

一般市民における健康食品についての意識調査

第45回東海薬剤師学術大会, 2012年12月2日(名古屋)

青山智佳臣, 小原博一, 川本鈴子, 菊池千草, 椿井信仁, 新美德洋, 原 和子, 福井恵子, 宮島 永, 山田和正, 中村一仁, 廣瀬君江, 勝見章男

勤務薬剤師からの要望と愛知県薬剤師会の活動について

第45回東海薬剤師学術大会, 2012年12月2日(名古屋)

三森佳代, 近藤祐樹, 吉橋幸美, 荻原留理, 岩尾岳洋, 松永民秀

ヒトiPS細胞由来肝細胞の剥離・凍結保存法の検討

第35回日本分子生物学会年会, 2012年12月12日(福岡); 2P-0533.

吉橋幸美, 近藤祐樹, 三森佳代, 荻原留理, 岩尾岳洋, 金濱吉範, 牧与志幸, 松永民秀
ヒト人工多能性幹細胞の肝細胞への分化における変法 L-15 培地及び血清の効果

第 35 回日本分子生物学会年会. 2012 年 12 月 12 日 (福岡) ; 2P-0532.

Daisuke Sato, Akane Ukai, Mariko Ohte, Hiroki Okumura, Katsunori Nakamura, Tamihide
Matsunaga

The construction of the GSDIb-hepatocytes model derived from iPSCs for the purpose of the
examination of the gene transduction effect

第 35 回 日本分子生物学会. 2012 年 12 月 (福岡) ; 4P-0527

5 科学研究費等補助金

(平成24年度)

代表者

補職名	氏名	研究種目	研究課題名	金額 (千円)
教授	星野 真一	新学術領域研究	mRNA3'末端プロセッシングを標的とした遺伝子発現調節・RNA品質管理機構の解明	11000
准教授	中川 秀彦	新学術領域研究	活性酸素シグナル解明のための光制御ピンポイントNO類ドナー	2600
准教授	佐藤 匡史	新学術領域研究	GPI アンカー型タンパク質の輸送シグナルの提示と検知の構造生物学	1800
教授	服部 光治	新学術領域研究	大脳新皮質層構造の形成と維持におけるリーリン機能の解明	4100
教授	今泉 祐治	新学術領域研究	再構築系による平滑筋組織ペースメーカーモデル細胞の作製とシミュレーション	3200
助教	矢木 宏和	新学術領域研究	神経系におけるキシロース含有N型糖鎖の高次機能およびその分子基盤の解明	3200
教授	加藤 晃一	基盤研究(A)	糖鎖認識系を標的とする創薬を目指した複合糖質機能の構造基盤の解明と分子設計	9800
教授	星野 真一	基盤研究(B)	eRF3ファミリーG蛋白質によるmRNA品質管理機構の解明	3500
教授	今川 正良	基盤研究(B)	脂肪細胞分化のひきがねとして機能する因子群のシグナル伝達関連の機構解明	3400
教授	服部 光治	基盤研究(B)	脳における神経細胞層構造の、「形成」と「維持」を制御する分子メカニズム	3800
教授	今泉 祐治	基盤研究(B)	新規創薬標的としての細胞内カルシウム正帰還制御機構と関連イオンチャネル分子群	3000
教授	松永 民秀	基盤研究(B)	胚盤胞補完法による100%サル肝臓を持つラット-サル異種動物間キメラの作出	3700
准教授	田中 正彦	基盤研究(C)	小脳プルキンエ細胞が複雑かつ秩序立った形態の樹状突起を形成する分子機構の解析	800
准教授	近藤 和弘	基盤研究(C)	枯渇危惧なレアメタルを用いない、高クラーク数元素を用いる触媒の合成反応の開発	900
教授	水上 元	基盤研究(C)	植物糖転移酵素を利用した機能性化合物の糖鎖構築と消化管吸収性の改善	1200
教授	尾関 哲也	基盤研究(C)	悪性脳腫瘍および結核治療のための新規ナノ粒子製剤の設計	1000
准教授	中川 秀彦	基盤研究(C)	新規TEMPO誘導体をMRI造影剤とするオルガネラ酸化ストレスイメージング	1100
准教授	瀧井 猛将	基盤研究(C)	結核菌生菌特異的な宿主細胞傷害活性におけるインターロキン1産生誘導機構の解析	1100
教授	藤井 聡	基盤研究(C)	新規S1P供与体を用いた初期動脈硬化病変の先駆的治療法の開発	1100
教授	中村 精一	基盤研究(C)	抗腫瘍性サポニン類の完全化学合成と生物活性評価	1300
教授	平嶋 尚英	基盤研究(C)	開口放出部位を模した脂質平面膜法を用いた分泌小胞局在CaチャネルOrai2の解析	1100
准教授	長田 茂宏	基盤研究(C)	発がん初期に発現上昇するクロマチン関連因子の細胞がん化・防御に与える影響	1300
講師	菊池 千草	基盤研究(C)	持続高血糖と食後高血糖による糖尿病血管障害発症機序の解明と治療法の開発	600

准教授	奥菌 透	基盤研究(C)	弱電解質の拡散によって駆動される荷電コロイドのダイナミクス	1600
教授	山中 淳平	基盤研究(C)	球面上での荷電コロイド結晶化を用いた正多面体状微粒子クラスターの構築	2300
教授	林 秀敏	基盤研究(C)	ストレス誘導性分子 TRB1、TRB3 によるストレス制御と疾患発症の分子メカニズム	1700
准教授	梅澤 直樹	基盤研究(C)	ペプチド機能を光制御する新手法の開発: 環状化戦略	1700
准教授	井上 勝央	基盤研究(C)	核酸代謝調節の臓器間ネットワークにおける核酸塩基トランスポーターの役割	1700
准教授	中村 克徳	基盤研究(C)	ヒト iPS 細胞を利用したビタミンKサイクルを標的とする発がん予防機構の研究	200
教授	頭金 正博	基盤研究(C)	レセプト等の大規模医療情報を用いた医薬品による副作用の検出方法に関する研究	1700
講師	鈴木 孝禎	挑戦的萌芽研究	C-H...O相互作用の基礎と医薬化学への応用	600
教授	星野 真一	挑戦的萌芽研究	酵母を利用したアミロイドーシス治療薬のハイスループットスクリーニング系の開発	1200
教授	今泉 祐治	挑戦的萌芽研究	1発の活動電位発生により細胞死に至る細胞の作製と新規創薬スクリーニング系の開発	1100
教授	樋口 恒彦	挑戦的萌芽研究	カテナン・ロタキサン構造の導入による生理活性分子の活性制御新手法	1600
教授	湯浅 博昭	挑戦的萌芽研究	樹状細胞に高発現する小胞体膜局在性トランスポーターの機能と免疫系における役割	1400
教授	服部 光治	挑戦的萌芽研究	巨大分泌蛋白質リーリンの「機能増強」は、精神神経疾患の革新的改善法になり得るか?	1700
教授	宮田 直樹	挑戦的萌芽研究	細胞内局在性を有するヒストン脱アセチル化酵素阻害剤の合成	1000
講師	伊藤 佐生智	若手研究(B)	創薬に指向した黄色ブドウ球菌免疫かく乱タンパク質ファミリーSSLの機能解析	900
助教	田所 哲	若手研究(B)	細胞サイズのプロテオリポソームを用いた人工分泌細胞の刺激一分泌連関	1600
講師	山村 寿男	若手研究(B)	血管平滑筋のカルシウムマイクロドメインを安定化させる新規足場構造の同定	1300
准教授	大澤 匡弘	若手研究(B)	グリア細胞の遠隔活性化に着目した慢性疼痛発現メカニズムの解明とその治療法の確立	1200
准教授	牧野 利明	若手研究(B)	甘草による偽アルドステロン症発症メカニズムの解明とその予防のための検査方法の開発	1000
講師	井上 靖道	若手研究(B)	TRB3によるがん抑制遺伝子 p53 機能制御と発がん機構の解明	1700
助教	豊玉 彰子	若手研究(B)	荷電コロイド結晶を用いた不純物粒子拡散素過程の視覚化	2500
准教授	佐藤 匡史	若手研究(B)	好熱性真核生物のゲノム情報を基盤とした小胞体関連分解装置の構造生物学研究	1800
講師	細田 直	若手研究(B)	ストレス環境下において現れる損傷 mRNA を選択的に分解する分子機構	1800
助教	河野 孝夫	若手研究(B)	精神神経疾患の診断・治療を目指した、巨大分泌蛋白質リーリンの特異的分解機構の解明	2000
助教	岩城 壮一郎	若手研究(B)	エクソソーム由来分泌型 miRNA を用いた新規動脈硬化評価法の開発	2100

(平成24年度 厚労科研費)

事業名	研究者	職名	分担配分金 (円)	課題名	代表者
食品の安全確保推進研究事業	松永 民秀	教授	2,000,000	いわゆる「健康食品」と医薬品との併用に関わる 安全性評価に関する研究	東北薬科大学 永田 清
食品の安全確保推進研究事業	頭金 正博	教授	2,000,000	いわゆる「健康食品」と医薬品との併用に関わる 安全性評価に関する研究	東北薬科大学 永田 清
地球規模保健課題推進研究事業 (国際医学協力研究事業))	瀧井 猛将	准教授	465,000	国際共同基盤研究に応用する抗酸菌感染症研究 の整備	国立感染症研 究所ハンセン 病研究セン ター
食品の安心・安全確保推進研究 事業	水上 元	教授	1,500,000	既存添加物の品質評価と規格試験法の開発に関 する研究	国立医薬品食 品衛生研究所 種山 浩
創薬基盤推進研究事業	牧野 利明	准教授	4,000,000	漢方薬の作用機序を解明するための研究	東京大学医学 部付属病院・ 薬学部 鈴木 洋史
医薬品・医療機器等レギュラ トリーサイエンス総合研究事業	牧野 利明	准教授	500,000	一般用医薬品における、化学合成品等のリスク区 分の見直しと漢方製剤の安全性確保に関する研究	国立医薬品食 品衛生研究所 合田幸広
地球規模保健課題推進研究事業	頭金 正博	教授	5,000,000	医薬品の国際共同開発及び臨床データ共有の 推進に向けた東アジアにおける民族的要因に関 する研究	東邦大学 川合 眞一
医薬品・医療機器等レギュラ トリーサイエンス総合研究事業	頭金 正博	教授	1,200,000	医薬品等の市販後安全対策のための医療情報 データベースを活用した薬学疫学的手法の確 立及び実証に関する研究	浜松医科大学 川上 純一
化学物質リスク研究事業	津田 洋幸	特任教授	5,000,000	ナノマテリアルの健康影響評価手法の総合的開 発および体内動態を含む基礎的有害性情報の集 積に関する研究	国立医薬品食 品衛生研究所 安全性生物試 験研究セン
化学物質リスク研究事業	津田 洋幸	特任教授	33,500,000	カーボンナノマテリアルによる肺障害と発がん作 用の中期評価法とその作用の分子機序解析法の 開発に関する研究	代表者
化学物質リスク研究事業	今泉 祐治	教授	2,300,000	カーボンナノマテリアルによる肺障害と発がん作 用の中期評価法とその作用の分子機序解析法の 開発に関する研究	津田特任教授 研究室 津田 洋幸
B型肝炎創薬実用化等研究事業	星野 真一	教授	10,000,000	人工キメラ遺伝子と肝臓特異的な輸送担体の開 発を基盤とした肝臓内HBVDNA不活化を目指し た新規治療法の開発	国立国際医療 研究センター 溝上 雅史 (岡田ひろみ)
B型肝炎創薬実用化等研究事業	松永 民秀	教授	7,000,000	B型肝炎ウイルスの持続感染を再現する効率的 な培養細胞評価系の開発に関する研究	名古屋市立大 学 田中 靖人 (秋田京子)
政策創薬マッチング研究事業	松永 民秀	教授	2,500,000	ヒトiPS細胞を用いた小腸上皮・成熟肝細胞の作 成	国立医薬品食 品衛生研究所 医薬安全科学 部 黒瀬
政策創薬マッチング研究事業	松永 民秀	教授	2,000,000	ヒトiPS細胞の肝細胞への効率的な分化誘導法の 確立	国立成育医療 研究センター 絵野沢 伸
政策創薬マッチング研究事業	水上 元	教授	1,000,000	育薬を指向した生薬の標準化と品質評価に関す る研究	国立医薬品食 品衛生研究所 合田 幸広 (大屋のぞみ)

「その他の研究補助金」

科学技術振興機構 戦略的創造研究推進事業 さきがけ（平成 24 年度）

研究課題名 二光子励起で発生させるガス状細胞情報伝達分子を駆使したストレス計測（代表）

氏名 中川 秀彦

金額（千円） 12,660

公益財団法人 蓬庵社平成 24 年度研究助成（平成 24 年度）

研究課題名 光制御可能な NO・活性酸素ドナー化合物の開発（代表）

氏名 中川 秀彦

金額（千円） 500

創薬等支援技術基盤プラットフォーム

研究課題名 【合成領域】 C-H 結合活性化を活用する独創的リード化合物高度化

氏名 樋口 恒彦（代表）

金額（千円） 6,000

特別研究奨励費（学長奨励）

研究課題名

氏名 加藤 信樹

金額（千円） 600

上原記念生命科学財団 平成 23 年度研究推進特別奨励金

研究課題名 抗腫瘍活性を持つサポニンの完全化学合成（代表）

氏名 中村 精一

金額（千円） 4,000

公益財団法人 成長科学協会研究助成

研究課題名 好塩基球を用いた成長ホルモンの合成・貯蔵・送達システムの開発（代表）

氏名 平嶋 尚英

金額（千円） 500

JST 研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム A-STEP

フェージビリティスタディステージ 探索タイプ

研究課題 イオン性界面活性剤を用いた温度誘起コロイド結晶化による光学材料の創成

氏名 山中 淳平

金額（千円） 795

財団法人 日本宇宙フォーラム

JEM 利用テーマの準備業務

研究課題 レーザー光回折による微小重力下でのコロイド分散系の構造解析と粒子間相互作用の研究

氏名 山中 淳平

金額（千円） 578

平成24年度名古屋市立大学特別研究奨励費

量子ドット含有荷電コロイド粒子を用いたコロイド結晶格子振動の視覚化の研究

氏名 豊玉 彰子

金額(千円) 400

先駆的医薬品・医療機器研究発掘支援事業

研究課題 抗体医薬品等のバイオ医薬品の合理的開発のための医薬品開発支援技術の確立を目指した研究(分担)

担当課題 NMR を利用した抗体の高次構造解析

氏名 加藤 晃一

金額(千円) 9,350

かなえ医薬振興財団研究助成金

研究課題 糖鎖とタンパク質の特定の組み合わせによって制御される神経幹細胞の分化制御機構の解明

氏名 矢木 宏和

金額(千円) 1,000

公益財団法人 中富健康科学振興財団 平成23年度研究助成金

研究題目 骨分化を阻害する新規遺伝子 fad104 の発現調節機構の解析と骨粗鬆症発症における役割の解明

氏名 西塚 誠

金額(千円) 1,000

名古屋市立大学 平成24年度特別研究奨励費

研究題目 tandem pore (K2P) 型カリウムチャンネルによる脂肪細胞の分化と機能制御機構の解明

氏名 西塚 誠

金額(千円) 600

浦上食品・食文化振興財団研究助成金

委託研究事業名 特殊なスプレーノズルによる健康食品の苦味有効成分マスキング技術の研究(代表)

氏名 尾関 哲也

金額(千円) 1,000

東洋医学研究財団平成24年度研究調査助成

研究課題名 漢方薬の副作用、偽アルドステロン症発症予防のためのマーカーの開発

氏名 牧野利明

金額(千円) 300

名古屋市立大学平成24年度特別研究奨励費

研究課題名 瀋陽薬科大学との学術交流

氏名 牧野利明

金額(千円) 200

山崎香辛料振興財団平成24年度助成金

研究課題名 合成生物学的手法によるクロシンの生産

氏名 寺坂和祥

金額(千円) 1,000

名古屋市立大学平成24年度特別研究奨励費

研究課題名 イリドイド生合成系解明に向けた新規イリドイド配糖化酵素の単離と機能解析

氏名 寺坂和祥

金額(千円) 500

国立国際医療センター国際医療研究開発事業

研究課題「結核菌によって宿主細胞より誘導される抗結核菌活性因子の探索と同定」(分担)

氏名 瀧井 猛将

金額(千円) 2,000

武田科学振興財団 薬学系研究奨励

黄色ブドウ球菌スーパー抗原様タンパク質の免疫・生体恒常性かく乱作用を応用した創薬

氏名 伊藤 佐生智

金額(千円) 3,000

独立行政法人 科学技術振興機構

研究課題名 イオンチャネル標的創薬のための新規スクリーニング系実用化

氏名 今泉 祐治

金額(千円) 11,700

有限会社 チャネロサーチテクノロジー

研究課題名 スギ生物科学研究所との連携に基づく創薬スクリーニング技術開発と技術移転

氏名 今泉 祐治

金額(千円) 294

公益財団法人 臨床薬理研究振興財団 平成24年度(第37回)研究奨励金

研究課題名 変形性膝関節症とイオンチャネル創薬

氏名 山村 寿男

金額(千円) 2,000

平成24年度(第25回)中富健康科学振興財団・研究助成金

研究課題名 軟骨細胞におけるカルシウムシグナル経路の一分子可視化解析

氏名 山村 寿男

金額(千円) 1,000

名古屋市立大学特別研究

大学間交流協定締結校である南カリフォルニア大学 (University of Southern California, USC) との交流拡充

(代表)

氏名 藤井 聡

金額 (千円) 500

財団法人一般用医薬品セルフメディケーション振興財団 調査研究助成

既卒薬剤師リカレント教育への症候論の導入によるセルフメディケーションの向上

(代表)

氏名 藤井 聡

金額 (千円) 800

東邦薬品

薬剤師のフィジカルアセスメントの能力向上に関する教育手法の開発

(代表)

氏名 藤井 聡

金額 (千円) 1000

名古屋市立大学特別研究 1,000 千円

腎機能の新規バイオマーカーの有用性とその測定意義についての研究

(分担)

氏名 藤井 聡

金額 (千円) 50

長寿医療研究開発費 NCGG 方式の統合的な高齢者褥瘡、皮膚潰瘍に関する学問体系の発展
とそれらを基盤としたチーム医療体制の提唱

(分担)

氏名 藤井 聡

金額 (千円) 1500

平成 24 年度 持田記念医学薬学振興財団 研究助成金

研究課題名 原がん遺伝子 Ski 阻害ペプチドによる新規がん治療法の開発 (代表)

氏名 井上 靖道

金額 (千円) 3, 0 0 0

平成 24 年度 名古屋市立大学 特別研究奨励費

研究課題名 新規免疫制御候補分子 TRB1 による活性化 T 細胞の機能制御 (代表)

氏名 伊藤 友香

金額 (千円) 5 0 0

2 0 1 2 年度 公益財団法人武田科学振興財団 薬学系研究奨励

研究課題名 グリア細胞に着目した糖尿病性認知機能障害の機序解明と治療への応用 (代表)

氏名 大澤 匡弘

金額 (千円) 3, 0 0 0

平成 24 年度 名古屋市立大学特別研究奨励費

研究課題 腎機能の新規バイオマーカーの有用性とその測定意義についての研究

氏名 木村 和哲

金額 (千円) 500

平成 24 年度 名古屋市立大学特別研究奨励費

研究課題 タンデムマスを用いた先天性代謝疾患の診断と臨床応用

-薬物が惹起するカルニチン代謝異常と脳症の関連-

氏名 前田 康博

金額 (千円) 500

研究成果最適展開支援プログラム (A-STEP)

研究課題 アナフィラトキシン阻害ペプチドを用いた敗血症治療薬 (分担)

氏名 前田 康博

金額 (千円) 800

平成 24 年度名古屋市立大学病院医学研究助成

研究課題 シクロフォスファミドによる膀胱炎発症と一酸化窒素の関係

氏名 堀田 祐志、前田 康博、木村 和哲

金額 (千円) 500

平成 24 年度政策創薬マッチング研究事業：継続

創薬研究における人由来初代細胞および幹細胞の利用円滑化に向けた研究

分担研究課題名： ヒト iPS 細胞の肝細胞への効率的な分化誘導法の確立

研究代表者：絵野沢 伸，研究分担者：松永 民秀他

金額 (千円) 2,000

平成 24 年度政策創薬マッチング研究事業：新規

非臨床開発における評価・予測系の開発

分担研究課題名： ヒト iPS 細胞を用いた小腸上皮・成熟肝細胞の作製

研究代表者：黒瀬 光一，研究分担者：松永 民秀他

金額 (千円) 2,500

平成 24 年度特別研究奨励費 (学内公募分)

研究課題名：創薬研究に利用可能なヒト iPS 細胞由来小腸上皮細胞および成熟肝細胞の作製

研究代表者：岩尾 岳洋，研究分担者：松永 民秀

金額 (千円) 600

6 学外との共同研究等

「学外との共同研究等」

共同研究

(共同研究)

宮田 直樹, 鈴木 孝禎

「新規生理活性化合物の創製研究」

(小野薬品工業株式会社, 京都府立医科大学大学院医学研究科)

山中 淳平

「コロイド結晶の新規光学素子応用に関する研究」

(富士化学株式会社)

加藤 晃一

「ヒト IgG1 とヒト Fcγ受容体 IIIa との結合状態の構造解析」

(協和発酵キリン株式会社 バイオ医薬研究所)

加藤 晃一

「たんぱく質の安定同位体標識技術の開発」

(太陽日酸株式会社)

尾関 哲也

「IMRA レーザーによって調製した金・磁性・有機物ナノ粒子の評価」

(アイシン精機株式会社)

尾関 哲也

「医薬品の品質特性に X 線照射が与える影響調査」

(アンリツ産機システム株式会社)

牧野利明、水上 元

「漢方エキスの薬効評価及び活性成分の探索」

(ロート製薬株式会社)

牧野利明、水上 元

大建中湯含有成分の体内動態に関する研究

(株式会社ツムラ)

牧野利明、水上 元

「附子の低温ストレス負荷マウスに対する拮抗作用に関するメタボロミクス解析研究」

(ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社)

今泉 祐治、大矢 進

「前立腺肥大症の細胞増殖機構の解明」

(大鵬薬品工業株式会社, 名古屋市立大学大学院医学研究科腎・泌尿器科学分野)

湯浅博昭、井上勝央

「トランスポーター安定発現細胞株の作製及び機能解析」
(小野薬品工業株式会社)

井上勝央、湯浅博昭

「Na⁺-Citrate transporter の臨床応用に関する研究」
(日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社)

藤井 聡

医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進のための薬剤師によるフィジカルアセスメント教育プログラムの開発
(東邦薬品)

木村 和哲

「食品成分の経口投与が性機能におよぼす影響に関する研究」
(協和発酵バイオ株式会社 ヘルスケア商品開発センター)

松永 民秀, 岩尾 岳洋

「幹細胞およびこれから分化した諸細胞の評価法」
(株式会社プライマリーセル)

菊池 千草, 堀 英生, 松永 民秀

「2型糖尿病病患者におけるスタチン投与による血中アディポネクチン濃度変化とその要因としての性差とスタチン種類別の相互的影響」
(信州大学医学部加齢病態制御学分野, 笠寺病院, 三重厚生連菰野厚生病院)

鈴木 匡

「薬局薬剤師の効果的な研修の開発」
(㈱スズケン)

藤井 聡, 鈴木 匡

「薬剤師フィジカルアセスメントセミナーの企画・実施」
(東邦薬品株)

連携研究

中川 秀彦

「二光子励起 NO ドナーの開発研究」
(東邦大学理学部, 自然科学研究機構生理学研究所)

樋口 恒彦

「電場形成分子-色素複合体の Stark 分光学による電場評価」
(橋本 秀樹 教授 大阪市立大学 大学院理学研究科)

樋口 恒彦

「車両等工業製品の合成 DNA による汎用性の高い標識化」
(日産自動車 (株)、オペロンバイオテクノロジー (株))

樋口 恒彦、梅澤 直樹

「 γ -セクレターゼ阻害剤と酵素機能探索分子の開発」
(東京大学大学院薬学研究科)

樋口 恒彦

「シトクロム P450, NO 合成酵素モデル錯体の共鳴ラマン分光による解析」
(石森 浩一郎 教授、北海道大学大学院理学研究院)

平嶋 尚英、田中 正彦

「メラノサイトからケラチノサイトへのメラノソーム移行の研究」
(日本メナード化粧品株式会社)

田中 正彦

「小脳発達研究における GABA 作動性神経細胞可視化技術の応用」
(群馬大学大学院医学系研究科)

加藤 晃一、佐藤 匡史、水島 恒裕、廣本 武史

「ユビキチンプロテアソームシステムの構造生物学」
(東京都臨床医学総合研究所)

加藤 晃一、栗本 英治

「自己組織化ナノ内面の化学」
(東京大学大学院工学系研究科)

佐藤 匡史、矢木 宏和

「920MHz 超高磁場 NMR 装置を用いたタンパク質・複合糖質の構造解析」
(分子科学研究所分子スケールナノサイエンスセンター)

加藤 晃一、佐藤 匡史、矢木宏和

「抗体医薬品の合理的開発のための医薬品開発支援技術の確立を目指した研究」
(国立医薬品食品衛生研究所)

加藤 晃一

「安定同位体利用NMR法による複合糖質の構造解析技術の開発」
(理化学研究所ゲノム科学総合研究センター)

加藤 晃一、神谷 由紀子
「ペプチド：N-グリカナーゼの構造解析」
(理化学研究所)

加藤 晃一、神谷 由紀子
「プロテインジスルフィドイソメラーゼの立体構造変化に関する研究」
(慶応大学理工学部、九州大学生体防御医学研究所)

加藤 晃一、栗本 英治、神谷 由紀子、矢木 真穂
「コラーゲン特異的分子シャペロン Hsp47 および小胞体関連分解に関わる酵素・レクチンの構造・機能解析」
(京都大学再生医科学研究所)

加藤 晃一、矢木 真穂
「アミロイドβペプチドとガングリオシド GM1 の相互作用解析」
(国立長寿医療センター研究所)

加藤 晃一、矢木 宏和、水島 恒裕
「ユビキチンリガーゼ HOIL-1 の高次構造解析」
(大阪市立大学大学院医学研究科)

加藤 晃一、矢木 宏和
「糖鎖-糖鎖相互作用にかかわるN型糖鎖の構造解析」
(University of Washington)

加藤 晃一、山口 拓実
「NMRを利用したN型糖鎖の立体構造解析」
(マックス・プランク生物物理化学研究所)

加藤 晃一、矢木 宏和
「中性子小角散乱測定によるタンパク質複合体の構造解析」
(京都大学原子炉研究所)

加藤 晃一
「超遠心分析法を利用したタンパク質の相互作用解析」
(大阪大学大学院工学研究科)

加藤 晃一、神谷 由紀子
「酵母を利用した糖鎖の安定同位体標識法の開発」
(独立行政法人産業技術総合研究所)

加藤 晃一、矢木 宏和
「神経幹細胞における糖鎖の機能解析」
(Georgia Health Science University)

今川 正良
「細胞分化の分子機構」
(名古屋市立大学大学院医学研究科)

今川 正良
「脂肪細胞分化の分子機構」
(大阪大学微生物研究所附属遺伝情報実験センター)

今川 正良
「脂肪細胞分化の分子機構」
(東京大学大学院農学生命科学研究科)

今川 正良
「脂肪細胞分化の分子機構と糖尿病治療薬の開発」
(日水製薬株式会社)

長田 茂宏
「肝化学発がん腫瘍マーカー陽性細胞における遺伝子発現変化の解析」
(名古屋市立大学大学院医学研究科)

長田 茂宏
「前立腺がんにおける HDAC 阻害剤の効果」
(名古屋市立大学大学院医学研究科)

長田 茂宏
「HDAC 阻害剤の解析」
(京都府立医科大学大学院医学研究科)

長田 茂宏
「HDAC9 相互作用因子の解析」
(山口大学大学院医学系研究科)

尾関 哲也
「Cocrystal の製剤設計」
(日本大学薬学部、薬剤学研究室)

尾関 哲也
「リピデュアをベースとしたエマルションの製剤学的検討」
(日油株式会社)

尾関 哲也
「スプレードライヤーによるナノ粒子設計」
(大川原化工機株式会社)

水上 元、牧野利明
「漢方薬の副作用発現因子成分／バイオマーカーの探索と患者側リスク要因に関する基礎研

究」
(株式会社ツムラ)

小野寄菊夫
「喫煙と関節リウマチに関する研究」
(金沢大学大学院自然科学研究科, キッセイ薬品工業)

小野寄菊夫
「IL-1 の大量調製に関する研究」
(鹿児島大学農学部)

瀧井猛将
「加齢における BCG 接種の有効性に関する研究」
(国立長寿医療センター研究所、日本BCG研究所)

瀧井猛将
「*Mycobacterium avium* 亜種に関する研究」
(名古屋大学医学部附属病院、国立病院機構東名古屋病院、名城大学薬学部、宮崎大学農学部、大阪市立大学医学部、結核予防会結核研究所)

伊藤 佐生智
「黄色ブドウ球菌の免疫回避に関する研究」
(星薬科大学)

星野 真一
「RNA 代謝機構の物理化学的解析」
(東京大学大学院薬学系研究科)

星野 真一
「翻訳終結因子とアポトーシス制御に関する研究」
(Thomas Jefferson University)

星野 真一
「翻訳終結因子 eRF3 による翻訳制御機構の研究」
(東京大学大学院薬学系研究科)

星野 真一
「ポリ(A)鎖分解酵素の構造生物学的解析」
(東京大学大学院薬学系研究科)

星野 真一
「Psi+プリオンの生物学的意義の解明」
(Georgia Tech)

星野 真一
「人工キメラ遺伝子 ZFN 安定発現系の構築」
(国立国際医療研究センター、肝炎・免疫研究センター)

星野 真一

「人工キメラ遺伝子 ZFN 安定発現系の構築」
(東京大学大学院工学研究科)

今泉 祐治

「心血管系におけるイオンチャネルに関する分子薬理学的研究」
(カナダ・カルガリー大学運動生理学部 Wayne R. Giles 教授)

今泉 祐治

「リアノジン受容体に関する分子薬理学的研究」
(カナダ・カルガリー大学医学部 Wayne Chen 教授)

今泉 祐治

「リアノジン受容体に関するトランスポートソーム研究」
(京都大学大学院薬学研究科 竹島 浩教授)

今泉 祐治

「血液-脳関門のイオンチャネルに関する分子薬理学的研究」
(名古屋市立大学大学院医学研究科 浅井 清文教授)

今泉 祐治

「Na⁺-Ca²⁺交換輸送体に関する分子薬理学的研究」
(福岡大学医学部 岩本 隆宏教授)

服部 光治

「脳の層構造形成を司る巨大分泌タンパク質リーリンのトラフィックに関する研究」
(東京大学薬学部)

服部 光治

「脳の層構造形成を司る巨大分泌タンパク質リーリンの構造に関する研究」
(大阪大学蛋白質研究所)

服部 光治

「脳の層構造形成に関する研究」
(慶應義塾大学医学部)

服部 光治

「リーリンの細胞内情報伝達に関する研究」
(理化学研究所脳総合研究センター)

服部 光治

「脳の層構造に関する分子メカニズムの研究」
(理化学研究所脳発生再生研究センター)

服部 光治

「リーリンの分解に関する研究」

(国立生理学研究所)

服部 光治

「小脳プルキンエ細胞の樹状突起形成に関するメカニズムの研究」
(早稲田大学先進理工学部)

服部 光治

「難読症関連遺伝子の機能に関する研究」
(東京大学理学部)

服部 光治

「血管と神経細胞層の関係に関する研究」
(同志社大学大学院)

藤井 聡、岩城 壮一郎

「TMSによる虚血再還流障害抑制機構の解析」
(北海道大学、国立感染症研究所)

藤井 聡、岩城 壮一郎

「インフルエンザウイルスの感染に関わる細胞表面糖鎖の解析」
(中部大学)

藤井 聡、岩城 壮一郎

「低酸素環境における癌細胞の生存機序と脂質代謝」
(名古屋大学)

藤井 聡、岩城 壮一

「スフィンゴシン 1-リン酸による NKT 細胞の免疫応答調節機構および肥満者における血中スフィンゴシン 1-リン酸濃度の解析」
(北里大学、東京大学、北海道大学)

藤井 聡、岩城 壮一郎

「スフィンゴ脂質による線溶系抑制因子の発現制御機序の解析」
(米国 バーモント大学)

林 秀敏

「ストレスと疾患に関する研究」
(山口大学大学院医学研究科, 国立長寿医療センター研究所, 浜松医科大学, 新潟薬科大学, 天使大学)

林 秀敏

「イオンチャネルと免疫・炎症に関する研究」
(愛知学院大学薬学部, キッセイ薬品)

大澤 匡弘

「臨床と基礎の橋渡しのための研究」
(国立がん研究センター)

頭金 正博

「医療情報データベースを活用した薬剤疫学的手法の確立及び実証に関する研究」
(国立医薬品食品衛生研究所、浜松医科大学)

頭金 正博

「いわゆる「健康食品と医薬品との併用に関わる安全性評価に関する研究」
(信州大学、東北薬科大学)

頭金 正博

「東アジアでの臨床データにおける民族的要因に関する研究」
(東邦大学、日本大学、国立医薬品食品衛生研究所)

7 新聞報道等

加藤晃一

研究戦略 YAKU 学 No.38 —研究現場から臨床へ—
「創薬ターゲットとしての糖鎖」
薬事日報 平成 24 年 5 月 25 日（金）

加藤晃一

「人工ナノカプセル たん白質を閉じ込め」
化学工業日報 平成 24 年 10 月 3 日（水）

加藤晃一

「たんぱく質 1 分子 人工カプセルで包む」
日刊工業新聞 平成 24 年 10 月 3 日（水）

加藤晃一

「たんぱく質 丸ごと包む」
日経産業新聞 平成 24 年 10 月 3 日（水）

牧野利明

東洋医学の知識を深めよう、漢方のいいところ
中日新聞ショッパー南エリア版 No. 565、2012 年 2 月 16 日

全 智揚、牧野 利明、手塚 康弘、井上 勝央、水上 元

「有機アニオントランスポーターを介する漢方薬と西洋薬の相互作用」和漢医薬学会で発表
薬日新聞、第 3714 号、2012 年 10 月 10 日

藤井 聡

「薬剤師発・臨床研究 チーム医療における薬剤師の必要性について—デイサービスでの現状調査と研修機会の提供—」
Pharma Tribune 4:21-23 (2012)

藤井 聡

「効果的な服薬指導で治療アドヒアランス向上に期待」
Japan Medicine Monthly 2012 年 9 月 22 日 号外 （じほう）

藤井 聡

「くらしの中で生かしたい新薬の飲み方、使い方」
女性なごや 2012 年 10 月 20 日号

藤井 聡

「医師の目から見た薬剤師教育」
一般用医薬品セルフメディケーション振興財団 第 7 回一般用医薬品セルフメディケーションシンポジウム実施報告書 2012 年 10 月 2 日 10 ページ

藤井 聡

「地域・チーム医療に貢献する薬剤師養成事業開始」
創新 2012 Vol 4 page 4

頭金正博

「がん細胞「標的遺伝子」で絞る」
中日新聞 平成 24 年 7 月 13 日

鈴木匡

「平野対談シリーズ」
月刊マーチャンダイジング 2012 年 8 月号

鈴木匡

「慢性疾患へのファーマシューティカル・ケアを考える。」
薬事日報 2012 年 10 月 1 日

鈴木匡

「注目の学部・学科 実務実習事前学習」
Guideline (河合塾) 2012 年 9 月

鈴木匡

「チーム医療に貢献する薬局薬剤師養成」
レトレ 2012 年 vol.15

8 進路および就職状況

平成24年度学部卒業者の進路

進路状況（生命薬科学科）

	就職	進学	その他	未定	合計
男	1	28	0	0	29
女	0	9	1	0	10
合計	1	37	1	0	39

進路状況（薬学科）

	就職	進学	その他	未定	合計
男	19	1	0	1	21
女	35	0	0	0	35
合計	54	1	0	1	56

学部卒業生就職先一覧（生命薬科学科）

産業及び職業分類	男	女	小計	市内	県内	県外
製造業						
化学工業						
持田製薬株式会社		1				1
合計		1				1

学部卒業生就職先一覧（薬学科）

産業及び職業分類	男	女	小計	市内	県内	県外
製造業	2	4	6	0	0	6
化学工業	2	3	5	0	0	5
Meiji Seika ファルマ株式会社	1		1			1
興和株式会社		1	1			1
マルホ株式会社	1		1			1
東洋紡株式会社		2	2			2
学術・開発・研究	0	1	1	0	0	1
シミック株式会社		1	1			1
卸売・小売業	6	6	12	4	1	7
小売業	6	6	12	4	1	7
クオール調剤薬局	1		1			1
株式会社高田薬局	1		1			1
協和ケミカル株式会社		1	1	1		
ウェルシア関西株式会社	1		1			1
株式会社 回生薬局		1	1			1
オリーブ薬局		1	1		1	
株式会社 ファーコス		1	1			1
たんぼほ薬局株式会社	1		1			1
株式会社 マツモトキヨシ	1		1			1
ヘルスプランニング名古屋 すこやか薬局	1		1	1		
株式会社ジップドラッグ		1	1	1		
ハマダ調剤薬局		1	1	1		

医療・福祉	7	22	29	8	11	10
医療業	7	22	29	8	11	10
名古屋市立大学病院	2	2	4	4		
名古屋第二赤十字病院	1	1	2	2		
社会医療法人 宏潤会 大同病院		1	1	1		
豊橋市民病院		1	1		1	
西尾市民病院		1	1		1	
豊川市民病院		1	1		1	
岡崎市		1	1		1	
医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院		1	1		1	
愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院	2		2		2	
愛知県厚生農業協同組合連合会 豊田厚生病院		1	1		1	
愛知県厚生農業協同組合連合会 海南病院		1	1		1	
愛知県厚生農業協同組合連合会 渥美病院		1	1		1	
医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院	1		1		1	
国立病院機構（東海・北陸ブロック）		1	1	1		
岐阜県総合医療センター		1	1			1
社会医療法人 蘇西厚生会 松波総合病院		1	1			1
社会医療法人 厚生会 木沢記念病院		1	1			1
東京医科歯科大学医学部附属病院		1	1			1
NTT東日本関東病院	1		1			1
公立昭和病院		1	1			1
北里大学病院		1	1			1
大阪大学医学部附属病院		1	1			1
医療法人 協和会 協立病院		1	1			1
医療法人 住友別子病院		1	1			1
公務	2	3	5	2	1	2
地方公務	2	3	5	2	1	2
名古屋市（衛生職）	1	1	2	2		
愛知県	1		1		1	
香川県		1	1			1
富山県		1	1			1
その他	2	0	2	0	0	2
今治補道株式会社（実家の家業）	1		1			1
株式会社日本経営（専門コンサル）	1		1			1
合計	19	35	54	14	13	27

平成24年度博士前期課程修了者の進路

進路状況

	就職	進学	その他	未定	合計
男	16	5	0	1	22
女	8	4	0	0	12
合計	24	9	0	1	34

平成24年度博士前期課程修了者の進路

産業及び職業分類	男	女	小計	市内	県内	県外
製造業	16	3	19	2	0	17
化学工業	16	3	19	2	0	17
興和株式会社	1		1	1		
小野薬品工業株式会社	2		2			2
浜理薬品工業株式会社	1		1			1
ダイト株式会社	1		1			1
日東薬品工業株式会社		1	1			1
日本臓器製薬株式会社	1		1			1
エーザイ株式会社		1	1			1
久光製薬株式会社	1		1			1
第一三共株式会社	2		2			2
沢井製薬株式会社	1		1			1
株式会社ヤクルト本社	1		1			1
田辺三菱製薬株式会社	1		1			1
大日本住友製薬株式会社	1		1			1
大日本明治製糖株式会社	1		1			1
松浦製薬株式会社	1		1	1		
ユニリーバジャパン株式会社		1	1			1
花王株式会社	1		1			1
学術・開発・研究	0	3	3	0	0	3
株式会社中外臨床研究センター		1	1			1
株式会社ACRONET		1	1			1
株式会社エシック		1	1			1
公務	0	1	1	0	0	1
国家公務	0	1	1	0	0	1
独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 (PMDA)		1	1			1
医療・福祉	0	1	1	1	0	0
医療業	0	1	1	1	0	0
名古屋大学医学部附属病院		1	1	1		
合計	16	8	24	3	0	21

平成24年度博士後期課程修了者（満期退学者含）の進路

進路状況

	就職	進学	その他	未定	合計
男	8	0	1	0	9
女	1	0	0	0	1
合計	9	0	1	0	10

平成24年度博士後期課程修了者（満期退学者含）の進路

産業及び職業分類	男	女	小計	市内	県内	県外
製造業	3	1	4	0	0	4
化学工業	3	1	4	0	0	4
科研製薬株式会社	1		1			1
ツキオカフィルム製薬株式会社	1		1			1
大鵬薬品株式会社（社会人）	1		1			1
アピ株式会社（社会人）		1	1			1
公務	2		2			2
地方公務	2		2			2
三重県警察 科学捜査研究所	1		1			1
愛媛県（社会人）	1		1			1
医療・福祉	1		1	1		
医療業	1		1	1		
名古屋市立大学病院薬剤部	1		1	1		
学校教育	2	0	2	2	0	0
名古屋市立大学（助教）	1		1	1		
日本学術振興会特別研究員	1		1	1		
合計	8	1	9	3	0	6

9 薬学部在籍者名簿

「在籍者名簿」

[2013年1月1日現在]

薬学研究科長・薬学部長：宮田 直樹（薬化学分野教授兼務）

副 研 究 科 長：平嶋 尚英（生体超分子システム解析学分野教授兼務）

副 研 究 科 長：小野 秀樹（中枢神経機能薬理学分野教授兼務）

分野名の後の（ ）内は学部学科目名に対応する。

創薬生命科学専攻

医薬化学講座

薬化学分野（薬化学）

教 授：宮田 直樹
准 教 授：中川 秀彦
助 教：家田 直弥
客 員 教 授：鈴木 孝禎
大学院博士後期課程1年：荒井 卓也
大学院博士前期課程2年：會澤 和之，川合 洸大，小笠原 大介，後藤 仰
大学院博士前期課程1年：伊藤 芳，小島 理奈，福島 直樹
卒 業 研 究 生 6 年：平石 龍大，武藤 伸輔
卒 業 研 究 生 5 年：杉本 賢俊
卒 業 研 究 生 4 年：薄井 佑奈，喜多村 佳委，真庭 大介，山田 創太
卒 業 研 究 生 3 年：河中 宏樹，曾根 佑登，山内 啓雅

精密有機反応学分野（薬品製造化学）

教 授：樋口 恒彦
准 教 授：梅澤 直樹
助 教：加藤 信樹
大学院博士後期課程3年：今村 優希
大学院博士後期課程1年：渡辺 二規
大学院博士前期課程2年：稲垣 秀樹，白川 慶典
大学院博士前期課程1年：天野 祐一
卒 業 研 究 生（6年生）：坂田 陽輔，中田 康敬
卒 業 研 究 生（5年生）：高田 将史
卒 業 研 究 生（4年生）：國枝 一輝，寶来 侑平，本間 紘次郎，河内 功三
卒 業 研 究 生（3年生）：神野 隼大
研 究 員：小林 由布子

薬品合成化学分野（薬品合成化学）

教 授：中村 精一
准 教 授：近藤 和弘
大学院博士後期課程2年：赤堀 禎紘
大学院博士後期課程1年：戸井田 明憲
大学院博士前期課程2年：坂崎 美香
大学院博士前期課程1年：鈴木 恵介，外川 貴史
卒業 研 究 生（6年生）：古川 崇，古田 愛果
卒業 研 究 生（5年生）：中西 知弘
卒業 研 究 生（4年生）：本田 清高，渡邊 健斗
卒業 研 究 生（3年生）：澤山 侑季

機能分子構造学分野（物理分析化学）

准 教 授：池田 慎一
講 師：白井 直洋
大学院博士前期課程1年：森田 有香
卒業 研 究 生（6年生）：森 みな美
卒業 研 究 生（5年生）：平野 忍
森本 論
卒業 研 究 生（4年生）：長縄 遼太郎
卒業 研 究 生（3年生）：柴田 郁弥

生命分子薬学講座

生体超分子システム解析学分野（薬品分析化学）

教 授：平嶋 尚英
准 教 授：田中 正彦
助 教：田所 哲
客 員 准 教 授：古野 忠秀（愛知学院大学）
大学院博士前期課程2年：亀川 沙知，堀江 侑季
大学院博士前期課程1年：猪飼 千晴，田中 順一，宮地 克真
卒業 研 究 生（6年生）：石川 万里子，笹野 綾乃，西川 心，原田 広翔
卒業 研 究 生（5年生）：大橋 一輝，日下部 美帆，近藤 祐太，三浦 愛美
卒業 研 究 生（4年生）：中野 勝真，藤田 真弥，望月 雄司，柴田 哲大，
瀬尾 拓也，千田 知美，内藤 安紗美
卒業 研 究 生（3年生）：大嶽 修一，奥田 梨花，八木 孝樹
研 究 員：伊納 義和（愛知学院大学），井上 悠，足立 浩章

コロイド・高分子物性学 (薬品物理化学)

教授：山中 淳平
准教授：奥菌 透
講師：豊玉 彰子
大学院博士後期課程1年：菅生 行紘, 谷地 知大, 中村 友紀
大学院博士前期課程2年：村門 愛,
大学院博士前期課程1年：沖塚 翔太
卒業研究生6年：伊藤 昌美, 野村 茉由
卒業研究生5年：増田 竜大
卒業研究生4年：柿原 千穂, 関 友崇, 飛永 あゆみ, 松田 あゆみ,
山崎 千鶴
卒業研究生3年：大橋 良章, 岡地真奈美
研究員：今井 宏起 (富士化学株式会社),
今井 佐和子 (富士化学株式会社),
堀井 晴奈 (富士化学株式会社)

生命分子構造学分野 (薬品製造工学)

特任教授：加藤 晃一
准教授：佐藤 匡史
助教：矢木 宏和
客員教授：山口 芳樹
大学院博士後期課程1年：雲井健太郎
大学院博士前期課程2年：大川 慶輔
大学院博士前期課程1年：稲垣 宏弥
卒業研究生(6年生)：大鹿 高史, 齋藤 拓也
卒業研究生(5年生)：柘植 信吾
卒業研究生(4年生)：鈴木 康介
卒業研究生(3年生)：年森 隆泰
研究員：栗本 英治 (名城大学)
水島 恒裕, 高木 賢治 (兵庫県立大学)
植草 義徳, 山口 拓実, 柳 浩太郎, (分子科学研究所)
矢木 真穂 (岡崎統合バイオサイエンスセンター)
榎原 朋子, Zhang Ying (総合研究大学院大学)
近藤 幸子, 竹内 英明, 矢部 宇一郎 (グライエンス)
千田 紀代美, 服部 久美子, 平松 佳永

分子生物薬学分野（微生物薬品学）

教授：今川 正良
准教授：長田 茂宏
講師：西塚 誠
大学院博士後期課程3年：林 孝弘
大学院博士課程 1年：落合なつき
大学院博士前期課程2年：有江 瑞洋，加藤 大輝
大学院博士前期課程1年：舟木ゆかり
卒業研究生（6年生）：桐村 拓也，新海 大智，山田 博久，若林 まい
卒業研究生（5年生）：栗津 輝彦，新美 有希，長谷川 郁恵，堀之内 渉
卒業研究生（4年生）：佐藤 友亮，芝田 裕一，山口 光，中村 真也，山口 桃子
卒業研究生（3年生）：和木 雅宏

薬物送達学分野（薬物送達学）

教授：尾関 哲也
特任講師：田上 辰秋
大学院博士後期課程3年：尾形 哲夫，野田 剛弘
大学院博士後期課程1年：福重 香，照喜名 孝之
大学院博士前期課程2年：伊藤 竜也，水迫 英己
大学院博士前期課程1年：高橋 朋弘，久保田 雅仁
生命薬科学科
卒業研究生（4年生）：竹内 堂朗
卒業研究生（3年生）：安藤 裕太，瀧 萌子，前田 了
薬学科
卒業研究生（6年生）：亀谷 晋央，羽倉 丈史
卒業研究生（5年生）：今尾 ゆき乃，上原 一彰，後藤 薫，柳井 浩志
卒業研究生（4年生）：三間 健裕，駄栗毛 美緒

構造薬学分野（放射薬品学）

講師：黒田 良孝

医療機能薬学専攻

医療分子機能薬学講座

生薬学分野（生薬学）

教授：水上 元
准 教授：牧野 利明
助 教：寺坂 和祥
客 員 教 授：小野 孝彦
大学院博士後期課程2年：趙 伯陽
大学院博士後期課程1年：梶田 梨恵
大学院博士前期課程2年：浅田 圭祐，春日谷友英，吉田 貴光，高 勝莉
大学院博士前期課程1年：田中 和貴，南 安依里，張 伏子
卒業 研 究 生（6年生）：小杉 加奈，山田 容子，犬飼 竜徳，田代 雄祐，杉 真由子，堀場亜佐子
卒業 研 究 生（5年生）：鮎川美奈子，立岩 千佳，山本 彩乃，横山 尚美
卒業 研 究 生（4年生）：伊藤菜奈子，木村 雪乃，近藤 沙耶，小西 里枝，篠田祐布香，鈴木 俊章，全 智揚
卒業 研 究 生（3年生）：足立 拓海，大北 剛司，北林 大侖
研 究 員：井上 誠，永津 明人，大野 高政，田邊 宏樹，安井 敏洋，加藤 哲夫，山下 弘高，呉 春珍，中西 宏文，角谷 盛夫，白 帆

生体防御機能学分野（衛生化学）

教授：小野寄 菊夫
准 教授：瀧井 猛将
講 師：伊藤 佐生智
大学院博士前期課程2年：足達 実季，長谷川 倫宏
大学院博士前期課程1年：小川 翔大，竹野 聖史，花井 朱璃
卒業 研 究 生（6年）：花村 菜月，林 亜季，村瀬 千鶴子
卒業 研 究 生（5年）：奥村 拓也，筑比地 慧，寺本 真弓，宮田 江里香
卒業 研 究 生（4年）：川島 直己，斎藤 彩子，貞廣 暁利，高見 篤郎，宮竹 佑治
卒業 研 究 生（3年）：高辻良文

遺伝情報学分野（生物薬品化学）

教 授：星野 真一
准 教 授：藤井 陽一
講 師：細田 直
大学院博士後期課程3年：岡本 淳志, 尾上 耕一, 山岸 良多
大学院博士後期課程2年：橋本 芳史
大学院博士前期課程2年：杉山 遥, 田中 麻記子
卒業 研 究 生（薬6年生）：三瓶 祥子, 木村 悠平, 光永 紘子
卒業 研 究 生（薬5年生）：木寺 絵美, 前川 彩乃, 脇田 恵里, 門屋 恵理
卒業 研 究 生（薬4年生）：奥苑 朱加, 千布 高太郎, 釣 真由美, 野木森 拓人
卒業 研 究 生（生命4年生）：趙 理海, 松本 彩希
卒業 研 究 生（生命3年生）：奥村 真由, 青木 啓将, 西浦 久達
研 究 員：山本 肇

細胞分子薬効解析学分野（薬品作用学）

教 授：今泉 祐治
准 教 授：山村 寿男
客 員 教 授：村木 克彦（愛知学院大学）
大学院博士後期課程3年：鈴木 良明, 藤井 将人
大学院博士後期課程2年：大城 隼也, 鬼頭 宏彰
大学院博士前期課程2年：伊奈山 宗典, 清田 恵子, 高橋 瀬奈
大学院博士前期課程1年：梅田 俊太郎, 大羽 輝弥, 松木 克仁
卒業 研 究 生（6年生）：足立 大和
卒業 研 究 生（5年生）：近藤 るびい, 服部 美波, 松井 未来
卒業 研 究 生（4年生）：川崎 桂輔, 栗田 卓, 西村 歌織, 林 恵介, 宮本 達也,
横井 一輝
卒業 研 究 生（3年生）：佐伯 尚紀, 野田 さゆり, 山田 茜
研 究 員：AZIZIEH Regis（外国人特別研究員）

病態生化学分野

教 授：服部 光治
助 教：河野 孝夫
大学院博士課程1年：水谷 健二
大学院博士前期課程2年：鈴木 友美子, 鄧 夢妍, 中村 晃太
大学院博士前期課程1年：久永 有紗
卒業 研 究 生（6年生）：鯉江 真理, 松丸 沙織, 山本 恭平
卒業 研 究 生（5年生）：尾上 文, 水上 智晴, 森下 駿介
卒業 研 究 生（4年生）：梅田 健太郎, 小林 大地, 牧野 誠, 高嶋 悠
卒業 研 究 生（3年生）：奥村 恭子

医療薬学講座

薬物動態制御学分野（薬剤学）

教 授：湯浅 博昭
准 教 授：井上 勝央
助 教：太田 欣哉
大学院博士後期課程3年：石丸 宗徳, 片野 貴大, 古宮 舞
大学院博士前期課程2年：竹原 一成, 古川 純士
大学院博士前期課程1年：伊藤 悠子, 稲岡 枝梨菜, 田島 健太郎
卒業研究生（6年生）：青木 那佳, 平賀 由佳, 横岩 沙耶
卒業研究生（5年生）：為平 翔太, 福井 佑実, 三村 佳久, 宗重 克
卒業研究生（4年生）：伊藤 美紀, 村田 康晴, 安田 敬亮, 柳川 亜由美
卒業研究生（3年生）：石山 高範, 山城 貴弘, 山田 知美
研 究 員：庄司 大介, 鈴木 祐稀, 水野 加奈子
石黒 雅江, 井上 健, 川出 義浩, 近藤 徹, 佐野 直也,
鈴木 成樹, 保嶋 智也

病態解析学分野（製剤学）

教 授：藤井 聡
准 教 授：樫本 紀夫
講 師：岩城 壮一郎
客 員 准 教 授：野田 康弘（金城学院大学）
大学院博士後期課程2年：伊藤 史織
大学院博士前期課程1年：郭 威, 長崎 彩子
卒業研究生（6年生）：真川 明将, 傍島 悠, 渡邊 和哉
卒業研究生（5年生）：齊藤 美加
卒業研究生（4年生）：甲神 知紗登, 長谷川 諒, 小笠原 美沙, 草原 ゆり,
安本 美貴
卒業研究生（3年生）：吉川 優
研 究 員：小泉 惠子（名古屋大学）, 鈴木 元（名古屋大学）,
水谷 直貴（名古屋大学）, 隅田 師玄（東邦薬品）

医薬品代謝解析学分野（薬品代謝）

教 授：林 秀敏
准 教 授：井上 靖道
助 教：伊藤 友香
大学院博士後期課程3年：坂井 勇斗
大学院博士後期課程2年：西川 佐紀子
大学院博士後期課程1年：宮嶋 ちはる
大学院博士前期課程2年：石井 陽子，加藤 直樹
大学院博士前期課程1年：永尾 優始
薬 学 科 6 年：久保 知紗希，川井 麻友美，戸田 洋平，吉井 由比子
薬 学 科 5 年：川原田 祐貴，鈴木 美沙紀，西尾 愛梨紗，松平 厚蔵
生命薬科学科 4 年：澤中 美希，野原 匠，宮田 和弥
薬 学 科 4 年：今井 和弘，岩中 広美，川地 志緒里，松野 薫
生命薬科学科 3 年：鳴海 斐路人
研 究 員：酒井 聡（新潟薬大），吉田 康子（名古屋大学），中田 佳宏

中枢神経機能薬理学分野（薬物治療学）

教 授：小野 秀樹
准 教 授：大澤 匡弘
助 教：山本 昇平
大学院博士後期課程1年：矢野 裕恭
大学院博士前期課程2年：鈴木 悠馬
大学院博士前期課程1年：長岡 優也，森 優作
卒 業 研 究 生（6年生）：加藤 篤博，茶藪 かおり，中村 梨余
卒 業 研 究 生（5年生）：池原 繁之，井上 昇，勝 弘毅，讚井 しおり，
橋本 裕一
卒 業 研 究 生（4年生）：倉谷 亮佑（薬学）
村上 友康（生命）
卒 業 研 究 生（3年生）：山田 彬博

医薬品安全性評価学分野（レギュラトリサイエンス分野）

教 授：頭金 正博
特 任 助 教：長部 誠，安部 賀央里，田島 陽子
客 員 准 教 授：前川 京子（国立医薬品食品衛生研究所）
大学院博士後期課程1年：萩原 宏美，花谷 忠昭
卒 業 研 究 生（5年生）：岡田 佑輔，渡邊 崇
卒 業 研 究 生（4年生）：小川 喜寛，藤原 由季子，脇田 真実子，中野 駿，山田 健
人
卒 業 研 究 生（3年生）：横田 俊
研 究 員：菅谷 真紀（東海薬学教育連携センター）

病院薬剤学

教 授：木村 和哲
講 師：前田 康博
助 教：内藤 敏子
助 教：堀田 祐志
大学院博士後期課程3年：塩田 有史
大学院博士後期課程2年：片岡 智哉，山本 清司，高木 三千代
大学院博士前期課程2年：那須 徹也
卒業研究生（6年生）：小川 修平，小田 晴香，加藤 あゆみ，久野 亜耶奈，
服部 由香
卒業研究生（5年生）：後藤 佳奈，本間 崇正，山本 侑佳，渡辺 美里
卒業研究生（4年生）：中村 大智，皆川 真理

臨床薬学分野（臨床薬学教育研究センター）

教 授：松永 民秀，鈴木 匡
准 教 授：中村 克徳
講 師：菊池 千草
助 教：岩尾 岳洋
客 員 教 授：神村 秀隆（積水メディカル株式会社）
大学院博士後期課程2年：近藤 祐樹，佐藤 大介
大学院博士後期課程1年：小玉 菜央，榊原 明美
卒業研究生（6年生）：牛田 英里，永味 千枝，三森 佳代，吉橋 幸美，渡辺 陽子
卒業研究生（5年生）：荻原 留理，外ノ池 文乃，新原 浩太
卒業研究生（4年生）：鶴飼 茜，大手 万理子，奥村 啓樹，小野里 太智，
壁谷 知樹，野田 雅人，松村 治穂
客 員 研 究 員：前田 徹（金城学院大学薬学部），坡下 真大（群馬大学医学部
附属病院薬剤部）
研 究 員：小枝 暁子（株式会社イナリサーチ），堀 英生（笠寺病院），吉
川 英佑（キョーワ調剤薬局），畠山 和久（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科）

連携大学院

腫瘍制御学

客員教授：鶴見 達也（愛知県がんセンター研究所）
客員准教授：笠原 広介（愛知県がんセンター研究所）

加齢病態制御学

客員准教授：竹下 淳（国立長寿医療センター研究所）
客員准教授：杉本 昌隆（国立長寿医療センター研究所）

医薬品質保証学

客員教授：奥田 晴宏（国立医薬品食品衛生研究所）
客員教授：佐藤 陽治（国立医薬品食品衛生研究所）
大学院博士前期課程1年：城 しおり

環境・発生生物学

客員教授：井口 泰泉（自然科学研究機構岡崎統合バイオサイエンスセンター）
客員准教授：東島 眞一（自然科学研究機構岡崎統合バイオサイエンスセンター）

施設・事務・図書

総合機器分析施設

衛生技師：加藤 節子，岩澤 加奈

薬学部事務室

事務	長：三浦 伸介
学務係	長：黒野 正裕
主事	事：内木 篤，山田 治夫
業務	士：山田 俊也
事務系職	員：藤井 華子、松永 佳子、水野 栄子
再雇用職	員：水野 久美子

総合情報センター田辺通分館-薬学部

分館 長：樋口 恒彦（精密有機反応学分野教授兼務）
司 書：政谷 浩子，佐藤 由季

教職員の異動（2012年1月1日～2012年12月31日）

教員

退職：菊畷 孝太郎 助教（2012年7月1日：岡山大学異分野融合先端研究コアへ）
黒野 幸久 教授（2012年3月31日）
大野 雅恵 特任助教（2012年3月31日）

採用：家田 直弥 助教（2012年7月1日）
長部 誠 特任助教（2012年12月1日）
安部 賀央里 特任助教（2012年12月1日）
田島 陽子 特任助教（2012年12月1日）
堀田 祐志 助教（2012年4月1日）

昇進：岩城 壮一郎 講師（助教より，2012年10月1日）

職員

退職：森長 宏樹（事務系職員）（2012年3月31日）
採用：藤井 華子（事務系職員）（2012年4月1日）
松永 佳子（事務系職員）（2012年4月1日）
水野 栄子（事務系職員）（2012年4月1日）

異動：竹本 浩一（守山区役所へ、2012年3月31日）
堀田 佑以子（学生課へ、2012年3月31日）
三浦 伸介 事務長（2012年4月1日）